第9章

自由回答にみる住民意識

9-1　自由回答における住民意識の集計
9-2　自由回答における住民意見の一覧

ここでは、回答者のフリーアンサー(自由回答)における住民意識を把握する。調査票内の設定項目のほかに、欄外にも回答者が今回の洪水や洪水ハザードマップなどに関する意見、感想、不満などを記入している場合が多数見られたため、これらを全てフリーアンサー(自由回答)として集計した。

9-1では、この自由回答を69個のカテゴリーに分類して集計した結果を示す。また、この自由回答をさらに11個のカテゴリーに統合して、自由回答でみる住民意識における地域の違いによる影響などを把握する。本調査における全ての自由回答の一覧は、9-2に示してある。

９－１　自由回答における住民意識の集計

point
- **アンケート票に記入されている回答者の意見、感想、不満などを全て入力しそれをカテゴリーに分類して集計した結果を示す。**
- **値の大小は、カテゴリー分類の仕方により多少異なることも考えられるが、自由回答の多くは、「内水対策」「堤防整備」「防災スピーカー」「避難経路」などに集中している。**
- **自由回答に見る住民の意見の傾向は、地域によって異なる。**

【自由回答における住民意識のカテゴリー分類による集計】

・次頁に、自由回答における住民意識を69カテゴリーに分類した集計結果を示す。
・これによると、住民の自由回答にみる意見、感想、不満は、「内水対策」「堤防整備」「治水整備状況の改善」などのハード面での治水対策だけでなく、「防災スピーカー」「避難経路」などのような、洪水時における情報伝達や避難行動に関わるソフト面での治水対策に関するものも多く挙げられている。

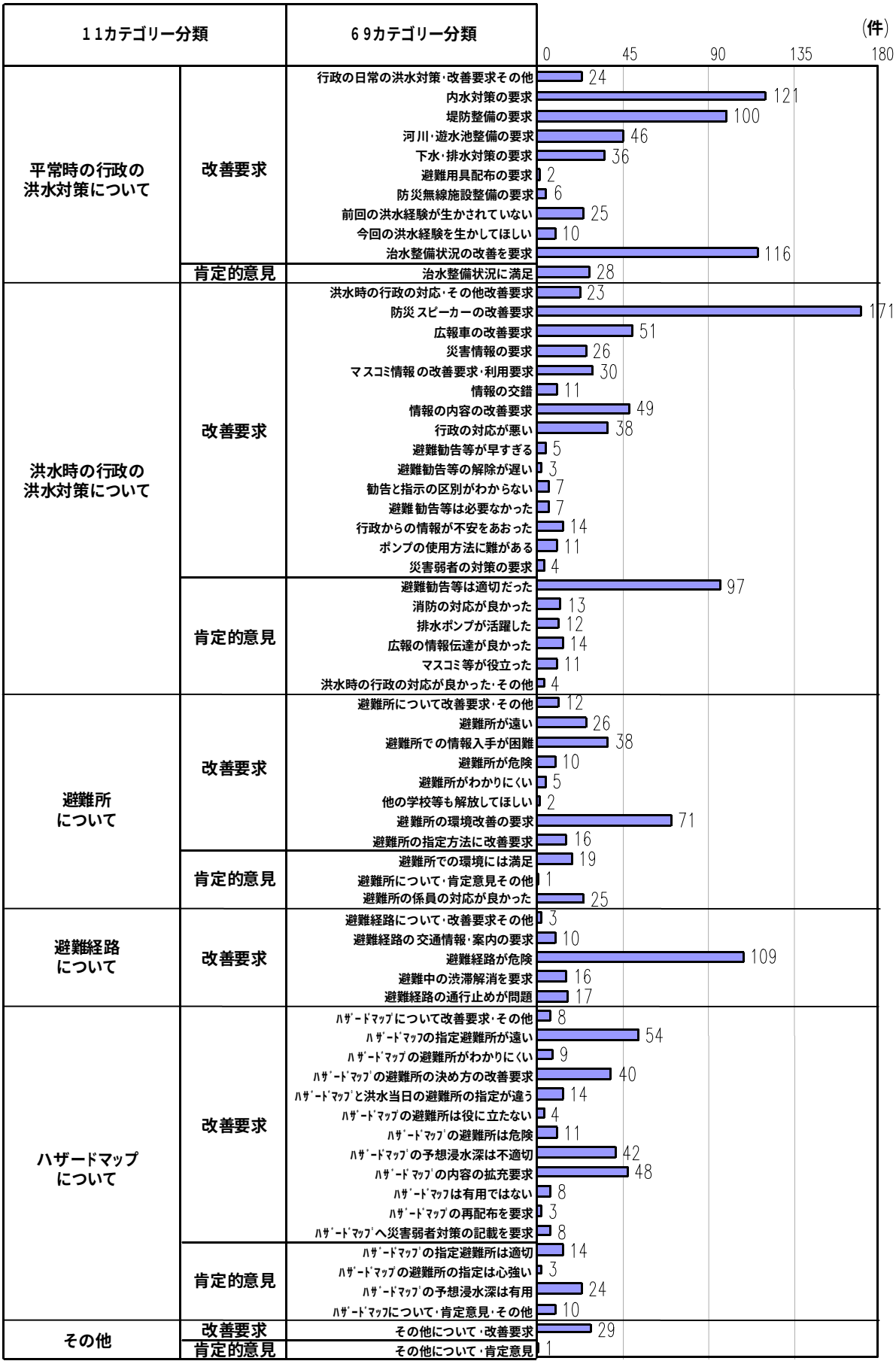


図９－１　自由回答のカテゴリー分類による集計

【自由回答における住民意識の11カテゴリー分類による集計】

『地域（ブロック）別』

・ここでは、自由回答の内容別に11個のカテゴリーに統合した自由回答における住民意識を、地域ブロック別にみてみる。図９－２のグラフの横軸の番号は、表９－１の自由回答の項目番号に対応している。

・今回の水害で浸水被害がひどかったＢブロックでは、「１：平常時の行政の洪水対策について改善要求」「２：洪水時の行政の行動について改善要求」が特に多く挙がっている。Ｂブロックは、61.8.5水害における甚大な浸水被害の後、堤防の漏水対策などの改修工事が行われたにも関わらず、今回の水害でも漏水が著しく、また、各箇所の水門・樋門が閉鎖されたことも重なって、内水による甚大な浸水被害を再び被ることとなった地域である。このような地域の浸水履歴が、自由回答に反映されたものと考えられる。

・阿武隈川と谷田川に挟まれた地域であるＤブロックとＦブロックでは、「４：避難経路について」の意見が多く見られる。

・Ｄブロックは、61.8.5水害では、谷田川が破堤したため甚大な浸水被害を被っているが、今回の水害においては排水ポンプが極めて有効に機能し、浸水被害は全く生じていない地域である。このようなことが反映してか、他のブロックに比べて、肯定的意見が多くなっており、Ｄブロックの住民は、今回の水害や平常時における行政対応を比較的高く評価している。

表９－１　地域別にみた住民の自由回答（11カテゴリー）

			Aブロック (54世帯)		Bブロック(浸水) (50世帯)		Bブロック(非浸水) (47世帯)		Cブロック (174世帯)	
			度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)
改善要求	1	平常時の行政の洪水対策について･改善要求	21	38.9%	39	78.0%	27	57.4%	77	44.3%
	2	洪水時の行政の行動･改善要求	28	51.9%	31	62.0%	30	63.8%	85	48.9%
	3	避難所について･改善要求	6	11.1%	12	24.0%	10	21.3%	32	18.4%
	4	避難経路について･改善要求	3	5.6%	7	14.0%	5	10.6%	24	13.8%
	5	ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟについて･改善要求	11	20.4%	6	12.0%	10	21.3%	39	22.4%
	6	その他･改善要求	4	7.4%	7	14.0%	1	2.1%	5	2.9%
肯定意見	7	平常時の行政の洪水対策･肯定意見	1	1.9%	2	4.0%	1	2.1%	7	4.0%
	8	洪水時の行政の行動･肯定意見	6	11.1%	7	14.0%	4	8.5%	33	19.0%
	9	避難所について･肯定意見	0	0.0%	3	6.0%	5	10.6%	10	5.7%
	10	ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟについて･肯定意見	2	3.7%	3	6.0%	3	6.4%	12	6.9%
	11	その他･肯定意見	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

			Dブロック (95世帯)		Eブロック (106世帯)		Fブロック (179世帯)	
			度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)
改善要求	1	平常時の行政の洪水対策について･改善要求	48	50.5%	41	38.7%	88	49.2%
	2	洪水時の行政の行動･改善要求	28	29.5%	38	35.8%	82	45.8%
	3	避難所について･改善要求	19	20.0%	10	9.4%	53	29.6%
	4	避難経路について･改善要求	27	28.4%	5	4.7%	58	32.4%
	5	ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟについて･改善要求	14	14.7%	26	24.5%	44	24.6%
	6	その他･改善要求	1	1.1%	3	2.8%	4	2.2%
肯定意見	7	平常時の行政の洪水対策･肯定意見	11	11.6%	1	0.9%	4	2.2%
	8	洪水時の行政の行動･肯定意見	26	27.4%	16	15.1%	38	21.2%
	9	避難所について･肯定意見	9	9.5%	2	1.9%	13	7.3%
	10	ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟについて･肯定意見	10	10.5%	2	1.9%	12	6.7%
	11	その他･肯定意見	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%

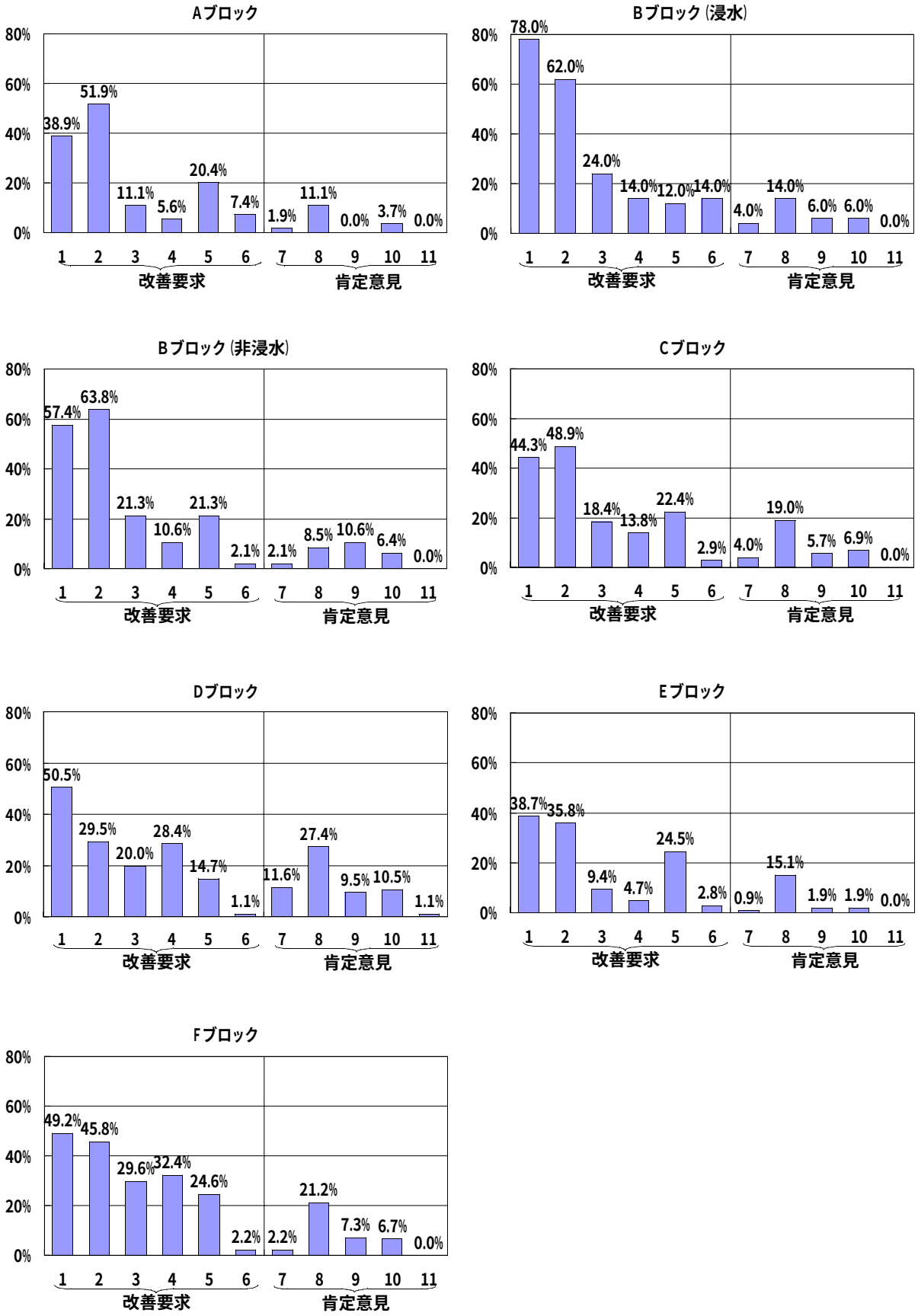


図９－２　地域別にみた住民の自由回答（11カテゴリー）

『主な項目別にみた地域の住民意識(自由回答)の違い』

・ここでは、自由回答における住民意識の内容別に69個のカテゴリーに統合したものの中で、多く挙げられた項目に関して、地域ブロック別にみてみる。自由回答を69カテゴリーに統合したものの中で多く挙げられた項目としてここで取り上げる項目は、以下のとおりである。

「内水処理の要望」、「堤防整備の要望」、「治水整備改善の要求」、
「防災スピーカー改善の要望」、「避難勧告等に対する肯定的評価」、
「避難経路の危険度」

・内水処理の要望に関しては、61.8.5水害と今回の水害の両方で被害が甚大であったＢブロックにおいて多く、その一方で、61.8.5水害では谷田川が破堤したため甚大な浸水被害を被たが今回の水害においては排水ポンプが有効に機能し浸水被害は全く生じていないＤブロックでは、０％となっているのが特徴的である。

・堤防整備についての意見は、Ｄブロックの住民で多く挙がっている。

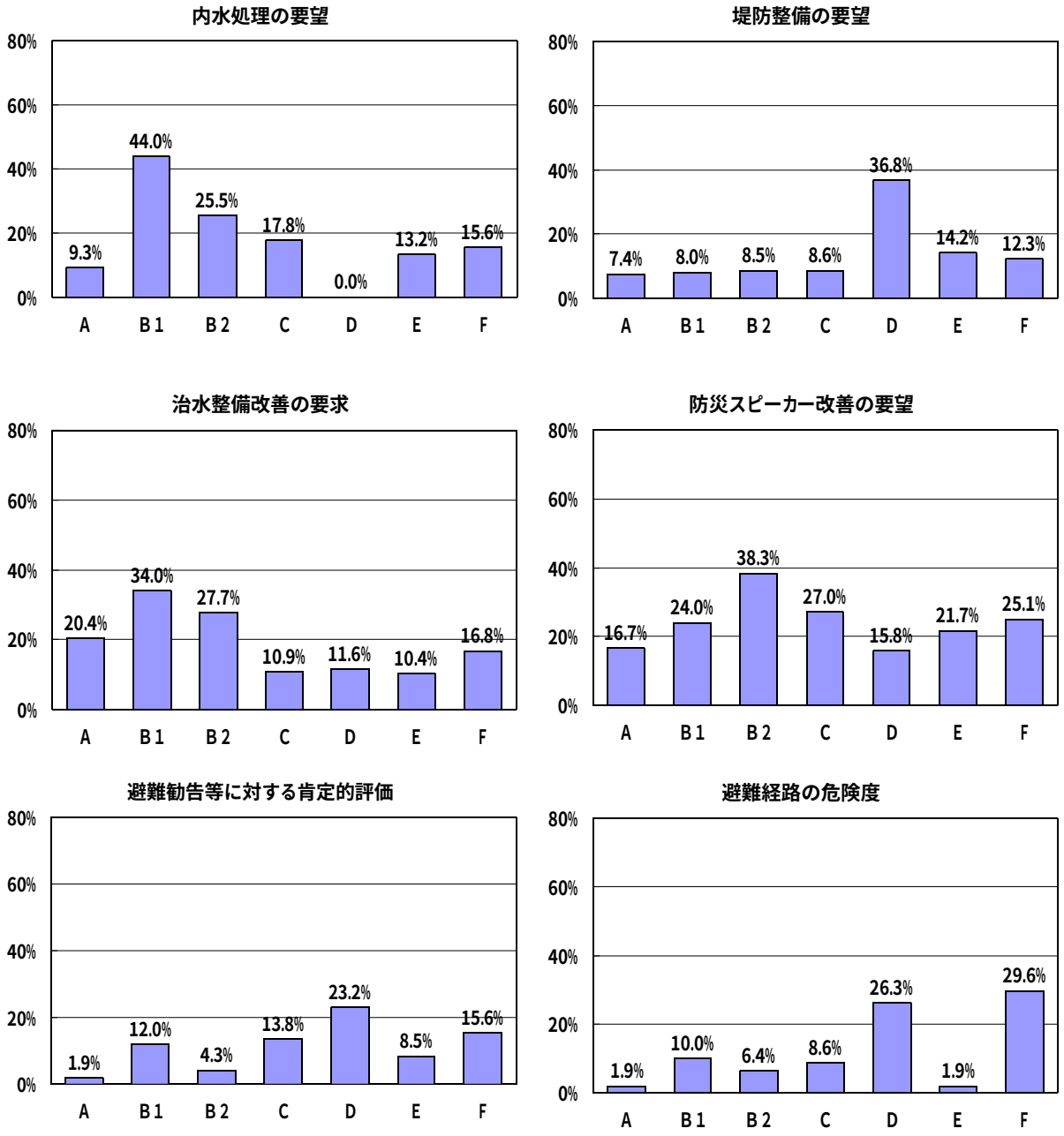
・治水整備改善の要求、防災スピーカーの改善についての意見は、Ｂブロックで多く見られる。

・避難経路の危険に関しては、やはり、川に挟まれているＤブロックとＦブロックで多くなっている。

表９－２　自由回答に多く見られた意見（地域ブロック別）

		Ａブロック (54世帯)		Ｂブロック(浸水) (50世帯)		Ｂブロック(非浸水) (47世帯)		Ｃブロック (174世帯)	
		度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)
多かった主な自由回答項目	内水処理の要望	5	9.3%	22	44.0%	12	25.5%	31	17.8%
	堤防整備の要望	4	7.4%	4	8.0%	4	8.5%	15	8.6%
	治水整備改善の要求	11	20.4%	17	34.0%	13	27.7%	19	10.9%
	防災スピーカー改善の要望	9	16.7%	12	24.0%	18	38.3%	47	27.0%
	避難勧告等に対する肯定的評価	1	1.9%	6	12.0%	2	4.3%	24	13.8%
	避難経路の危険度	1	1.9%	5	10.0%	3	6.4%	15	8.6%

		Ｄブロック (95世帯)		Ｅブロック (106世帯)		Ｆブロック (179世帯)	
		度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)	度数 (世帯)	構成比(%)
多かった主な自由回答項目	内水処理の要望	0	0.0%	14	13.2%	28	15.6%
	堤防整備の要望	35	36.8%	15	14.2%	22	12.3%
	治水整備改善の要求	11	11.6%	11	10.4%	30	16.8%
	防災スピーカー改善の要望	15	15.8%	23	21.7%	45	25.1%
	避難勧告等に対する肯定的評価	22	23.2%	9	8.5%	28	15.6%
	避難経路の危険度	25	26.3%	2	1.9%	53	29.6%



※ B1：Ｂブロック(浸水)
B2：Ｂブロック(非浸水)

図９－３　自由回答に多く見られた意見（地域ブロック別）

「自由回答にみる住民意識」

・自由回答における住民の意見、感想、不満等は、アンケート票の設問だけでは捉えきれない、被災地住民の生の声である。ここで得られた住民意見から抽出された災害時対応に関する問題点や課題は、防災行政に携わる者や災害研究に携わる者など、それぞれの立場から真剣に取り組んでいかなければならない重要な検討課題であり、今後の災害対応策に反映させていくことが重要であると考える。

９－２　自由回答における住民意見の一覧

ここでは、自由回答（フリーアンサー）において挙げられた住民の意見の一覧を、地域ブロック別に示す。

■ブロックＡ

１．冨久山町久保田　伊賀河原・大久保・乙高

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
4		●					●		・１回目も２回目も避難勧告が出されたかどうか分からなかった。翌日になって当地区に全く勧告が出されていないことを知って憤慨した。町内会長レベルまでは連絡が入っていたようだが、当地区の住民には全く知らされていなかった。みんなかなり怒っていた。
					●				・洪水ハザードマップについて、冨久山地区の避難場所の見直し必要。地域の実情にミスマッチがある。当地区の学区外なので、地区住民はあまり行ったことがない。
	●								・郡山市の治水整備の現状は最低である。若葉地区の逢瀬川の堤防は、無意味な改修やくだらない「せせらぎ小径」の整備などに金をかけるばかりで、必要な整備を怠っている。怒りを禁じ得ない。（例）昭和６１年水害で破壊された幕内橋は、住民の再三の要望にも関わらず、復旧しないまま放置され、車輌の通行ができない状況にある。また、せせらぎ小径は、税金の無駄遣いそのもので、住民の評判最悪。
	●	●					●		・避難勧告などの発令について、逢瀬川沿い防災行政無線設備の整備を是非お願いしたい。逢瀬川の堤防沿いには、防災行政無線設備が皆無のため、当地区住民は災害の状況を全く知ることができなかった。川沿いに無線設備を設置しないで、どうやって洪水の危険を知らせることができるのか。せめて、広報車などを利用して、住民に必要な情報を伝えてほしい。町内会を通じての連絡は、タイムラグがあり無理。今回の当地区のように全く機能しないことあり。
								●	・逢瀬川の傍らにある乙高、伊賀河原地区を、冨久山町の一部にしておくことは無理である。学区、生活圏、文化そのものが完全に別である。両地区は、冨久山行政センターから切り離し、旧市内と同様な行政サービスを受けられるようにしてほしい。
5		●					●		・学校の休校など、朝スピーカーで情報を流していたようだが、風向き、建物のせいか聞き取れない。
		●					●		・広報車も狭い道には入ってこないので、なかなか聞き取れない。
6	●								・逢瀬川に対しての整備を早く進めてほしい。
		●					●		・逢瀬川地区の勧告については、３０日の夕方頃、広報車が通ったが、もう少し早めが良いと思う。
9					●				・洪水ハザードマップについて、指定されている避難所は遠すぎるし、途中の道は低くなっていて、荷物や子供を連れて行く気は全くありません。
10	●								・郡山市の治水整備状況は、悪い。
		●					●		・避難勧告や避難指示の出し方も悪い。
12					●				・洪水ハザードマップが配られていたのに、見なかったのが残念。
	●								・郡山市の治水整備状況は悪い。
		●					●		・防災スピーカーが聞き取りにくく、外に出てもはっきり聞こえないのでかえって不安になった。
14			●		●				・市が指定した避難所は行健小学校でしたが、広報車の指示は冨久山公民館でした。３Ｋｍほどあり遠くて行きませんでした。
		●					●		・避難について市からの連絡なし。テレビニュースで知った。
	●								・（逢瀬川について？）４号線から下流の堤防は完成し、上流のかさ上げ、川幅拡張の区画整理は、平成１５年完成となっているが、早く着工できないものか。
	●								・川底の土さらいは、昭和６１年より１回実施したのみで、水が出る度に不安でなりません。
	●								・増水のため水門を閉めることを消防車で放送した後、小型のポンプで排水をするだけ。それだけで排水はできませんので、２，３台のポンプで排水できると良いと思います。
15				●					・避難所に向かうとき、車が混雑していた。
		●					●		・防災スピーカーの内容が聞き取れない。

17		●					●		・広報車も走行しながらの発声では聞き取れない。一時停止しての発声が望まれる。
		●					●		・ふれあいファックス情報に当地区の避難勧告が伝達され、心の準備ができた。
	●								・長期洪水に対処が望まれる。特に浸水地域の住居の高層化の推進、排水施設の増設、住宅地の嵩上げ。
18	●								・逢瀬川の治水整備を早くしてください。
					●				・ハザードマップに指定される避難所が遠い。
19		●					●		・防災スピーカーが聞き取りにくかった。
20					●				・洪水などは予測もしない状況でやってくるので洪水ハザードマップなどはあてにならない。
	●								・住民が不利益を被ることは改善してください。昭和６１年洪水の時に生活橋が流され（逢瀬川）、そのままになっているため、住民は毎日約２キロも下流の橋を利用している。市長、作業服を着て巡回してはどうですか。見たことがあるのですか。
22		●					●		・（避難しなかった理由、その他）第１回目は避難勧告なし。第２回目（の避難勧告）は水が引いてからの勧告で意味なし。
		●					●		・避難勧告指示情報の発令については的確なる指示を望む。
30		●					●		・（避難しなかった理由、その他）町名ごとの避難勧告であって実状に適した処置でなかったから。
				●	●				・（HMの指定避難所について）初めて知った地域の実情からやむを得ないと思うが、道路が狭く自動車で避難は困難と思う
					●				・（HM予想浸水深について）逢瀬川の増水は意外だった。
31	●								・61年の洪水から災害地区の対象となり逢瀬川久保田伊賀河原側の家は、区画整理と一緒にされたため遅れ、今回の水害で被害を被ったらみんなで市役所の方に怒りをぶつけに行こうと話をしていた。
		●					●		・（今回発令された避難勧告・指示について）初めてのことで、市役所からFAXが送られてきたのをコピーした紙を１軒につき１枚送られてきました。
		●					●		・スピーカーで回ってきて知りました。もっとみんなで区で集まって、熱の冷めないうちに話し合いをした方がいいと感じています。
32	●								・逢瀬川の河川工事をできるだけ早く進めてほしい。
		●	●				●		・十把ひとからげにせず、もっとその他の地域に沿った指示をしてほしい。避難場所も近いところを考えてほしい。
34	●								・以前から思っていましたが、役に立たない建物ばかり力を入れて少し雨が降るとそこら中の道路の治水が悪く、排水処理が悪い。河川工事もしっかりした計画で早く施工してもらいたいものです。
		●					●		・（今回発令された避難勧告・指示について）以前よりずいぶん良くなりました。洪水に対する対処・対応が早くなり、通知・通達がFAX等を使い、より合理的になり、町内の周知撤去しました。
	●								・最近役所の建設する建物は派手で機能性が悪く、無駄遣いが多すぎる。役人のための建物では困る。人民のため、人民が必要とする事業を優先して施工するよう強く望みます。
		●					●		・自宅近くの川でも町内会で危険を感じ、対策として土手の低い部分に土嚢を約500袋ほど積みました。その際の消防の対応はすばらしいものでした。感謝します。
36		●					●		・市のスピーカーがつけてあるところから私たちの土地には話が聞こえてこない。不安が募るばかり。
41	●								・市全般についての争論について述べる知識はない。伊賀河原地区は区画整理事業として全般的に地盤の嵩上げが計画されているのでそれに期待しているが、実行が遅々としているように感じられる。
	●								・逢瀬川へ排水する支流の水門を閉めたために、支流の水が浸水した家があったようだ。大を生かすために小を殺したのかもしれぬが殺される方は大変だ。もうちょっと適切な対策はとれなかったか。（ただし現場を見てそう判断しただけで、真剣に原因の究明をしたわけではない。
44		●					●		・曖昧なことおびただしい．勧告されても（避難）しなかったのが半数以上あったようだ．
					●				・避難場所が適当でないところ多し．
45		●	●				●		・広報車や消防車のスピーカーがあまり聞き取りにくく，なにを言っているのがわからず，ただ気持ちの焦りを感じました．だいぶ時間がたってから避難所の案内について町会の人より連絡がありましたが，遠いので行きませんでした．避難先は知人宅と決めていましたが，実際は避難しませんでした．初めての経験でしたのでとても心配しました．
46					●				・HMの指定避難場所は行徳小だが，実際の指定は冨久山公民館だった．なぜか．
	●								・伊賀河原地区の区画整備が計画されているとか．水害の防災の上からも，早急な遂行を期待する．
			●						・東北歯科大の開放をお願いする．
48			●						・避難場所近くに安全な場所があったらいいと思います．
51		●					●		・１度目の避難勧告については，川の様子を見に行って，大丈夫と思ったので家に帰った．

２．桜木町一丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
2	●								・堤防の高さはあるので、内水の処理について考えるべきである。
		●							・避難勧告の対象地域をもっとはっきり伝えるべき。
	●								・昭和６１年洪水の経験を活かしていない。
	●								・今回の洪水は異常気象ばかりでなく、治水整備の遅れも原因となっている。

8	●								・自然災害の少なかった郡山が１２年に２回も災害に見舞われた。１級河川の整備はされているが、小河川の治水整備はまだまだのような気がします。
		●					●		・災害情報の指示系統が多岐にわたり、どの情報をもとに行動したらよいかわからなかった。
16		●					●		・避難命令・避難指示について、全くそれらの命令が出ていることを知らなかった。近くに知人がいないため、どういう状況になっているのかが分からず、不安であった。
23				●					・（避難中に感じた危険）咲田橋が壊れるのではないかと思った。
								●	・（避難中に感じた危険）避難する車の運転手が周囲の危険な状況に注意を奪われ集中力に欠けており、、事故を起こされそうになった。
		●					●		・桜木一丁目は防災スピーカーの音が非常に聞こえにくい。TVを消して耳を澄まして内容の1/2～2/3が聞き取れるかどうか、そのくらいで不安でした。聞こえやすい工夫を期待します。また、反響で音が重なります。ゆっくりと間をおいて放送をお願いします。
24		●					●		・（避難しなかった理由、その他）29～30日に消防自動車のマイクで避難勧告が出されましたが、本部に聞きましたら若葉町には出ているが桜木町には出ていないとのこと。勧告と命令の区別がわからず、第五中に避難した家族がいましたが、しっかりした情報の訓練ができていず、どちらを信用していいのかわからず、自分で判断しました。
		●					●		・正確な情報が、きちんと地域に徹底するような配慮が必要。
33					●				・（治水整備の状況について）危険水位の表示されたものが必要と思う。
					●				・（今回発令された避難勧告・指示について）町会町よりのお話と、見回りの消防署長のお話が違っていた。どちらが正しいのか迷う。
		●					●		・伝達方法の改善必要。無線公報は聞き取り難い。
50		●					●		・市の避難勧告でなく消防署の避難勧告で,町内の役員の人が回ってきた．町内の人たちに迷惑がかかるので避難した．
		●					●		・勧告は適切に出して欲しい．自分たちで水位を確かめて大丈夫と思っていたのに…．消防の勧告はもう少し確かめてからにして欲しい．
			●			●			・勧告が出て，老人がいるので避難をしたが，避難先での川の状況が分からない．
52	●								・治水整備については，昭和６１年の洪水以降かなり整備されたと思う．
		●					●		・川の水を見ていたら消防の人に避難勧告が出たので，避難するように言われ避難した．しかし，この町内には避難勧告が出ていなかったことを後で知った．
		●					●		・避難勧告の出ていない町内の人たちが避難しては困ると言われた．どこで避難発令を出しているのか知らないが，今後このようなことがないようにして欲しい．

３．若葉町

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
3	●								・昭和６１年洪水の経験を活かしていない。今年の水害以前にもこの地域は何度も水害にあっています。大雨が降る度に住民は心配しています。下流が改修されたので、今度決壊するのはこの地域であると常に思っています。早期に改修を願いたい。
		●					●		・防災無線のスピーカーの近くに住んでいるが、音が反響して良く聞き取れなかった。
		●					●		・避難勧告などの情報が町内会長の所に届いたようだが、今回はあまり効果的に住民に伝えることができなかったようです。結局、広報車と自己判断で行動を取った。
								●	・地域に防災組織があり、私もその一員であったが、今回はそれが機能しているとは思えなかった。
7		●					●		・避難の広報(広報車)は、大通りだけを広報してもわからなかった。路地にも入って広報してもらいたい。
11	●								・郡山市の治水整備について、４号線より上流の整備を早く進めてもらいたい。
		●				●	●		・老人や病人の避難場所及び対応の連絡を早めにしてほしい。
26					●				・（HMの指定避難所について）身の回りのものを持って歩いていける距離、もう少し近い方がいいと思います。近所が70代くらいの町なので。
					●				・（HM予想浸水深について）36年ほど前、畳を上げる浸水があった。
	●								・天野光晴大臣の時堤防工事をすることに決まって、途中大町方面のところまで工事ができたところでのどもとを過ぎたのかその後若葉町方面は半端な状態になっています。
		●					●		・富久山町八山田の自宅にいたのでサイレンで異常を知り、Tel（消防）で確認をした。TVで情報の概ねは知ったが市内の情報はラジオがいち早く、明確な情報収集になった。
								●	今後の結果に期待します。ありがとうございました。
37	●								・“ふるさとの川”事業のため、（堤防の拡幅、嵩上げ）用地の買収に応じたが、未だに工事が行われず残念である。
		●					●		・防災スピーカーが各所から鳴り、ビルに共鳴し内容が聞き取れない。ラジオを多用してはどうか。
38	●								・S61の洪水において逢瀬川下流は整備されたが、（国道４号以東）若葉町内会の部分も早急に整備する必要性を感じる。（毎年出水のたびに思う）
39		●					●		・広報車からの知らせが聞き取れず、本当に困りました。
43					●				・（HMの指定避難場所について）避難所の指定があると心強いと思います。
					●				・（HMの予想浸水深について）雨が降るたびに心配になりました。
					●				・HMの全体図を見ると、ここまで調査されて本当にご苦労さまでした。これからもがんばって下さい。
	●								・下水道の整備を望みます。
		●					●		・早めに避難勧告が発令されたのが良かったと思います。

■ブロックＢ（浸水エリア）

４．冨久山町久保田　南田

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
5		●					●		・避難指示が早い。広報車の方は「あと何mで決壊するので、避難してください。」などと詳しく放送してほしい。
6	●								・（ハザードマップについて）地域全域の徹底的な改良工事、又は移転希望者に対する後援。
	●								・浸水地域は浸水外地域の雨水等が集まることに着目して、自然体の問題として優先的に治水整備に当たり、被害地域の減少に努めるべき。
		●					●		・防災スピーカーは実に聞きづらい。
		●					●		・床下浸水についても、床上浸水に準じた対応をしてほしい。
7			●			●			・（避難所での生活について）私は一人暮らしだが、家族連ればかりで入りづらかった。
8		●					●		・避難勧告・避難指示の知らせが分からず、不安であった。自主的に避難した。
		●					●		・洪水の時、一番知りたいのは、自宅の状況（どのあたりが浸水しているか川の水位は…・）であり、それらが知ることが出来る手段がほしい（遠く離れていても）。Ex.（出来れば郡山市内すべての）浸水している地域の名前、具体的な建物の名前をあげて、知らせるとか…・。
9		●					●		・冨久山町の浸水被害は、排水ポンプの不動作が原因であり、人的被害の可能性が大である。
		●					●		・防災スピーカーによる発令は、音が風などで聞き取りづらく、また数も少ないのではないでしょうか。
10	●								・（治水整備の状況について）下水の排水作業
35								●	・前の水害を経験していたので，危険を感じた．
	●								・（治水整備について）排水からの水が多く困った．川に流すポンプがあれば，床下浸水はなかった．
		●					●		・（避難勧告・指示について）市からのスピーカーの音がよく聞こえない．
		●					●		・２度も水害が起きた地域のわりには注意が足りない．人間が住むところですからもう少し考えて欲しい．
36								●	・逢瀬川の堤防上端と，アパートの位置が低く水がどこから来るのかわからなかった．
								●	・住み始めての日が浅く，周りの地形がよくわからないため危険を感じた．
								●	・自動車に家財を積めるだけ積んで逃げた．
					●				・ハザードマップを見て，住んでいるアパートが冠水するところと知った．
	●								・河川改修事業に対する地域住民の認識不足と治水に対する怖さを積極的に訴えていく努力が必要である．
		●					●		・出来ることであれば行政側からアパートの管理人に情報を入れ，管理人から我々の方に連絡があってもいいのでは…
37			●						・避難所に空調設備がなにもないのでムシ暑くて大変だった．
				●					・避難時において，車が渋滞して全く動かず，避難先にいけないのではないかとすら思った．
			●						・自宅から指定避難場所が遠い．
					●				・ハザードマップの予想浸水深については，どこを見れば良いのかがわからない．
	●								・治水整備の進展が遅すぎる．61.8.5水害の時から堤防の工事（高くする）がつい最近まで行われていた．ギリギリ間に合ったもののもし終わっていなかったら逢瀬川が決壊していたのは確実．61.8.5水害から１２年も経っているのに何をやっているのか!!
		●					●		・（避難勧告・指示について）発令してみたり，解除してみたり，当事者は喜んだのもつかの間でまた避難させられるのは，とてもしんどい．
		●					●		・住宅地の水を汲み上げるポンプを住民がみんな避難してしまうと止めてしまうのはひどい．確かに人命が一番だが，家財がどうなってもいいというのはひどい．
68					●				・（HM指定避難所について）豪雨の中，幼児を伴って2km以上の徒歩避難は過酷と思う。
					●				・（HM予想浸水深について）括りが大きすぎて不適当である。
		●			●		●		・（HMその他の意見）61年8月洪水の破堤箇所の位置が異なっている。＝逢瀬川河口よりの中央卸売市場の防災無線の位置が異なっている。＝この装置からの放送は古町地域では非常に聞き取りにくく，ほとんど役に立たなかった。
	●								・前回破堤した箇所が再び破堤しそうだという情報が流れ，修理工事と監督行政への不信が起こり，一時パニックを感じた。
		●					●		・情報放送は良く聞き取れず，町内会長へのFAXも全て２時間遅れで信用できず，現場に出向いて自分で判断しなければならなかった。

		●					●		・避難指示の発令も，解除も，どの情報網からも確認できず，電話で本部に連絡しても正確な答えが得られなかった。
		●					●		・一斉放送による”山彦現象“が放送内容をいっそう聞き取りにくくした。
		●					●		・強制を伴う避難命令が出た地区は，一般にテレビ等により周知されるため，空き巣被害が危惧されるので，強い危険を感じるまでは全員避難はしたくないと思った。一軒毎に危険度が違うので，地区一括の避難命令は不当である。（他地区で空き巣被害が発生した噂があった）

５．冨久山町久保田　古坦・下河原・太郎殿前

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
1			●						・（避難所での生活について）避難所の方々には大変親切にしていただき、感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。
	●								・今回の水害は、いわゆる「内水」水害であると認識しています。これに対しては、排水作業が主に被害を最小限にする一つの手段であると思いますが、この排水作業については、充分になされていなかったように思います。
		●					●		・勧告・指示ともに適切であったと思います。しかし、情報の伝達が余りスムーズではなかったように感じました。
	●								・家の周辺はもともと土地が低く、水が溜まりやすいのは承知していましたが、排水を行っていると聞いて安心していました。しかし、その排水が間に合わないほどの水が溜まり、今回の被害につながったと思います。今後、この状況調査が生かされ、そういった設備の充実、対策の実施につながってほしいと願っています。二度と同じことの内容に対策を練ってほしいと思います。
4	●								・（治水整備の状況について）非常に悪い。
	●								・今回は水門を閉めることによる洪水と認識しております。一日も早い解決を願う。
12					●				・（ハザードマップについて）洪水の深さは種々違い家は床上１３０ｃｍでしたし、大分差があること。
	●								・昭和６１年にも洪水がありました。再度大洪水が来たのに対し、前の洪水から１０年も過ぎているのに二度と洪水になることに対しもっと市は手を打つべきだったと思う。
	●								・二度、三度と過ちを繰り返すことは許しがたい。
13			●						・（避難所での生活について）４人で一枚の毛布しか与えられなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）水が襲ってきた。
		●					●		・きちんとした情報が伝えられなかった。
	●								・内水の排水を出来るだけ早くしてほしい。
		●					●		・発電器式のポンプ４台で排水をしていたが、避難命令が出され、しばらくしてポンプを動かしている人たちが逃げてしまった。
		●					●		・スピーカーから流れる声が反響してよく聞き取れなかった。
14	●								・逢瀬川は前回の洪水の後に工事を行ったので、今回は無事で大変助かりました。
15			●						・（避難所での生活について）毛布が４人に一枚といわれ私の世帯２人、娘の世帯４人（内２人子供）に２枚しかもらえず、子供に一枚ずつ大人は体育館の床の上に何も引かず、何もかけられないで眠れなかった。そのため、３０日は我慢したが、３１日は市内のホテルで眠るしかなかった。
					●				・（ハザードマップの避難所の指定について）もっと分かりやすくしてほしい。
					●				・（ハザードマップについて）例えば、どれくらいの雨量、川の水量でどの場所でどのような水防活動をし、どの程度になったら水防が間に合わない（危険なのか）のか？
	●								・大手会社や重要施設近く等の施設を先にして、本当に洪水の恐れのある、又は少ない雨で増水する場所が後回しになっている。事実８．５水害の教訓が生かされていない。
		●					●		・（避難勧告・避難指示について）だれしも自分の家から離れたくないと思うが、本当に必要になった場所だけ発令してほしい。一回目で避難した人が、全然大丈夫だったため、家財を高いところからおろし、二回目で被災した人が結構いると聞く。
		●					●		・今回は水門を閉めた後の排水作業の不備による増水であって、事実堤防からの水の噴き出し等は見られず、市内で決壊した堤防はないと聞く。人的被害がなければ良しとする早すぎる発令は考えてもらいたい。「何かあったときの逃げのために発令を出しておけば市の責任は少なくすることが出来る」との容易な発令だったと思う。尚、等町内会で市に対してしかるべき行動を起こしています。
16			●						・（避難所での生活について）情報が全くない。
		●					●		・水門を閉めた後にポンプアップを中止してしまいょうないが水災にあった。人災だと思う。
17		●					●		・８／３０の夕方まで排水作業を行っていたが、ＰＭ５：００過ぎ頃になって、勝手に排水を終了して帰ってしまった。その他の地区はまだ行っていた。排水をしていれば床上浸水にはなっていなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）増水した川を渡ったとき。
	●								・次の洪水に備えて早めに無人の排水設備を作ってほしい。町内会では「天災」ではなく「人災」であると言っている。
34	●								・（治水整備について）少量の雨でも、床下・床上浸水などいつも被害が出る地域があるにもかかわらず、対策をとっている気配がない。８．５水害を教訓として考えていないのではないか？対策は不十分。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）２度目の避難命令は唐突であった。市の消防防災課は、この地域（南田）は命令が出ていないと言い続けていたが、突然消防団の方々が避難命令が出たと告げに来られたときにはかなり混乱した。市の姿勢に疑問を感じる。

		●					●		・広報車で告知している内容が全く分からなかった。地域のすみずみまで認知させる必要があるとすれば、広報車の台数を増やすなどの対策を検討すべき、情報はラジオのみの状況であった。
38		●					●		・２度目の避難勧告は友人より連絡があり知った.
	●								・横塚地区（阿武隈川）にポンプ建設中とのことですが，完成したとしても果たして安心できるのか．不安.
	●								・冨久山町久保田古坦は，土地が低いため大雨で道路にすぐ雨水がたまり通行できなくなるほど…早く何とかして欲しい．（冨久山町久保田古坦は）今回の被害で最後に水が引いたところ．床上浸水１ｍ５０ｃｍにもなった．どうにかならなかったのか…
	●								・都市計画で内環状線道路につながる道路が予定されているとのことですが，道路建設よりも，まず２度と水害を受けないよう早急に対策を実施して欲しい．安心して生活できる土地にして欲しい.
39								●	・川が決壊するのではないかと不安でならなかった.
	●								・水を汲み上げるポンプをしっかり取り付けもらいたい.
40								●	・布団，食料品を２階及び階段に並べて仮置きした.
	●								・現在阿武隈川流域にはたくさんの水門がありますが，これらは逆流防止の水門とのこと．洪水のときは水門を閉めますので，その時の排水ポンプの設置が不備ではないか.
	●								・各町内の側溝，水路等の整備を専門的に見直して欲しい．町内会の清掃では手に負えない.
41	●								・（治水整備について）12年前から比較して特に改善されたと思われる点は少なく，特に冨久山地区（逢瀬川，阿武隈川合流地点近く）の治水整備の遅れ，不備を感じる.
		●					●		・避難勧告・指示については発令基準が不明瞭であり，伝達方法も不明確であった．広報車の声は反響して聞き取りにくかった.
	●								・堤防決壊や水位に注意が向いていたが，実際には下から水が湧いてきたり，食品団地の水が回ってきたりしたことが被害につながったと思われる.
44								●	・道路から1.2mの盛土がしてあるため自宅家屋に被害はなかったが，道路から1m位冠水したので，駐車場部分が水没した.
								●	・和室の畳・障子戸をはずし，２階へ上げた.
69			●						・（避難先で感じたこと）食事はおいしく頂きました。
			●						・（避難先で感じたこと）各地区の水害の状況が知りたかった。
	●								・阿武隈川の堤防をもっと高くして欲しいです。
		●					●		・スピーカーがはっきり聞こえなかった。
71			●						・（避難先で感じたこと）毛布が足りない。
	●								・（治水整備の状況について）おくれている。遊水地を造るなどして，川にポンプを使い上げるのではなく，ためておく場所を造ってもらいたい。
		●					●		・防災スピーカーでは家の中にいると聞こえない。数が少なすぎる。
	●								・横塚地区の排水ポンプは24時間止めずに動いていたのに久保田のポンプは故障した理由で排水をやめた。
		●					●		・他県からかりたポンプがあったのに稼働させなかったのはなぜなのか，理由を知りたい。
72	●								・排水ポンプ（内水）を早く完成して欲しい。
	●								・それまでに今回のようなことが起きるかもしれないので，移動式でも良いから確実に内水をコントロールして欲しい。
		●					●		・防災スピーカーの音量を非常時は高くして欲しい。普通と同じだったので雨などの音で良く聞こえなかった。（キンコンカーンは聞こえて後はムニャムニャ）
81	●								・（治水整備状況について）越水，漏水場所が多かった。
	●								・漏水も考えて工事したのか？
	●								・最善の対策をしたのか？
87				●					・（避難中に感じた危険）途中での通行止めや道路わきの法面などの土砂崩れ等
	●								・（治水整備状況について）前回の水害を教訓に整ったところと，未だ整ってないところがあるように思えます。また来年同じことにならないように整備を進めていただきたいです。特にこの辺り（太郎殿）の排水ポンプの整備を望む。
	●	●					●		・（今回の避難勧告・指示について）私は町内会に入っていません。入っていない世帯には電話連絡は勿論，回ってきませんし，広報も窓を閉め切っている状況でははっきり聞こえません。ようやく近所の人から聞いたほどです。町内会に入っていない人や独身者，アパート住人など連絡の取り方，知らせ方等の工夫をして欲しい。
								●	・水害の後始末にもっと相談に乗って欲しいです。相談してもたらい回しでした。
90		●					●		・日中会社勤め（他の町村）をしているので避難情報など確認できず，自主的に避難していた。
91	●								・この地区は雨が降る度に洪水になるので一日も早くポンプを設けて欲しい。また，下水道を完備して欲しい。
		●					●		・スピーカーの音が早口であまりよく聞くことができなかった。ゆっくりはっきりして欲しかった。
	●								・西の内にナントカの小道などを造る予算があるのなら，冨久山地区は何の恩恵もない。皆に平等に。
94	●								・小田原屋北東部が最近の台風などの雨量ですぐに湖水のようになってしまい，不安を感じます．今，工事が進められている設備の早急な完成を願いたい.
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）発令を出すのには問題ないと思うが，細かな情報が得られないのはいらいらする.
		●					●		・防災スピーカーの音が割れてとても聞き取りずらかった.

６．冨久山町久保田　石鼻・郷花・中台

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
3					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）陣場地区は小規模でも近くにほしい。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）非常に役に立った。
	●								・（治水整備について）阿武隈川だけでなく、他の排水方法を考えてほしい。阿武隈川一箇所だけに集中しないような方法。
18			●						・（避難所での生活について）サンライフに避難したんですけど、みなさん疲れて休んでいるのに子供達が床を走り回ったり、ボール遊びをしていてうるさいです。
	●								・ポンプを早く作ってもらいたい。排水対策が全然なっていない。
	●								・この土地を選んだときには排水整備が整っているといわれて選んだが、排水がなされてなかった。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）全然なっていない。
19	●								・（治水整備について）市内の流れている大小の水路をもっとどうにか増やさないと不安はいつもあります。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）車で知らせている様でしたが、家の近所は遠くに聞こえる程度で、ハッキリ聞き取れなかった。
	●								・消防団の方が一軒ずつ知らせてくれて、命令がわかりました。
42	●								・今回はポンプの未完成ということで床上浸水の被害にあいました．避難勧告によるポンプの引き上げのため被害が拡大されたと思います．
	●								・ポンプの早期完成，無人によるポンプ排水など今後の対策に力を入れてほしい．
	●								・被害を防ぐための避難勧告・指示であるが，そのためにポンプ排水のポンプ車も引き上げになってしまい，被害が拡大しました．
		●					●		・避難勧告・指示が適切であったか疑問です．
43	●								・排水ポンプ場の整備が遅れている．足りない．（低い土地にたまった水を阿武隈川への）
	●								・遊水地の設置など総合的な治水がなされていない．
		●					●		・避難勧告・指示が分からなかった．分かりづらい．
		●					●		・ラジオでの情報が一番入りやすかった．それ以外からの情報はほとんど入らなかった．
45			●						・避難所においては，下にござが敷いてあればよかった．（初めてなので何も携帯しなかった）
	●								・（治水整備について）阿武隈川より低い位置にあるため，多数の堰から流れる水が，このようなときに止まってしまうため溢れるのが難点である．水の流れがスムーズに行くことが先決ではないか．
		●					●		・避難勧告・指示について，市の適切な対応には感謝しています．
		●					●		・（避難勧告・指示について）NHKのラジオの情報がすばらしい．それぞれの地域への方の連絡が正確でした．TVを見るより耳で聞くのが身近に感じたことをうれしく思った．
47			●						・避難所での情報が少ない．
			●						・避難所は町内会別にまとめた方がよい
			●						・避難所で子供たちが走り回ってうるさい．
			●						・避難所にテレビを設置してほしい．
			●						・冨久山地区の避難所指定は全て適切だった．
					●				・ハザードマップの予想浸水深は，よく示されている．
					●				・ハザードマップは浸水地帯ごとに区分し，身近なものにすべきだ．
	●								・治水整備が遅れている．浸水地帯であることは分かっているので，速やかに適切な措置が必要だ．
	●								・阿武隈川や逢瀬川の堤防決壊の場合に気をもんだ．
48	●								・（治水整備の状況）ポンプを取り付けているところですが，今回の雨で昭和町に取り付けていたポンプが間に合わなく，昭和町も被害を受けたと聞きました．ポンプを取り付けても心配あり．引越を考えていますので，早急に郡山市としての対策を考えてほしい．
		●					●		・ポンプを引き上げ排水を中止にしたことに対して不思議である．郡山市はどう考えているのか答えてほしい!!
		●					●		・今回ホースで水を引き上げていましたが，休みながら吸っていた．原因は分かりませんが，不満があります．
								●	・先日，冨久山町行政センターに行き，罹災証明書を頂きに行き，石鼻のポンプはいつ頃までかかるのか聞いた．答えは，「建設省の仕事だから分からない」と言われ，冨久山町のことなのにあんな言い方はないと思った!!!建設省まで電話をしないと分からないのかと思った．もっと親切に答え，対応してほしい．市に税金を払っている市民ですから…（答えたのは管理職の方だそうです）
67			●						・（避難所での生活について）子供が走り回りうるさかった。
			●						・（避難所での生活について）床に引くものが足りなかった。
			●						・（避難所での生活について）指定場所以外でタバコを吸う人がいた。
			●						・（避難所での生活について）犬を中へ入れていた。
	●								・排水ポンプを増やしてほしい。
70			●						・（避難先で感じたこと）初体験の２日間でしたが，助かりました。しかし，本当に浸水被害で何日も帰宅できないことを考えると問題がある。
	●								・（治水整備の状況について）まだ不安アリ。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）良かった。
				●					・市内の交通で，いたるところで車がつまり困った。この時決壊したらと思いぞっとした。
				●					・（避難中に感じた危険）浸水に対する危険

73	●								・（治水整備の状況について）なにもやっていない。61.8.5水害から12年も経っているのに未だに何の手だてもしてくれないので大変腹立たしく思っています。
	●	●					●		・石鼻地区で水門を閉じたときには必ず一戸々々に知らせて欲しい。又，水門を閉じると同時にポンプ車で排水をして欲しい。
74	●								・排水ポンプの設置が遅かった。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）適切に思われた。
		●					●		・臨時のポンプ排水で無人でもできた作業を早々と切り上げてしまったのはなぜだろうか？
75				●					・（避難中に感じた危険）橋を渡るとき水位が高いため流されるのではないか不安だった。
	●								・排水のためのポンプ場をもっと早く作って欲しかった。
		●					●		・テレビ等でももう少し細かい状況を報道して欲しかった。

■ブロックＢ（非浸水エリア）

７．冨久山町久保田

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
2			●						・（避難所での生活について）毛布や、食事の支給もきちんとされており、感謝している。
	●								・Ｓ６１年の８．５水害以降、重点地区については常設排水設備が行われたが、未だ未設備の箇所も多いと思う。
		●					●		・私共の石鼻地区は、ここ数年で急激に住宅が増加した地区であるが、市職員など関係機関の認識不足で、今回の水害の際も消防車のパトロールなども殆ど無く、市や消防本部など現状をつかんでいないのでないかと思われる。
20					●				・（ハザードマップの避難所の指定について）距離が遠い。
	●								・（ハザードマップ予想浸水深について）６１．８．５の時は堤防決壊のため自宅は床下浸水で痛んだが、再び決壊するようなことがあったら床下ではすまないと思う。
					●				・（ハザードマップについて）予想浸水深は年月の経過とともに変わると思われる。堤防近くでの開発埋め立てのため。
	●								・揚水（排水）ポンプ場が少ない。その能力が弱い。常に浸水するところにすんでいる人は気の毒に感じる。
		●					●		・防災スピーカーが近所の建物群により反響して殆ど聞き取れなかった。３０日の避難命令の時は広報車で地域をまわってくれたので、分かりやすかった。
		●					●		・食肉センターの排水ポンプが３０日の命令時に発電器共に撤退したのは、後に浸水箇所が拡大した原因であると思う。職員の身の危険があったなら発電器を載せた車両はそのままにして、発電器が動かなくなるまでは作動させておくべきであった。
21			●						・（避難所での生活について）避難先での情報が分からず不安であった。
					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）地域により避難先の見直しをしてほしい。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）前回の経験から作成したと思うが、雨量により、もしもの時の浸水深がかなり変わると思う。見直しが必要と思う。
	●								・（治水整備の状況について）早めに整備をしてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）各戸に確実に伝わるようにしてほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）避難先まで距離があり、車での避難となり渋滞し、避難先までかなりの時間を費やした。
		●					●		・防災無線の内容が反響しわからない。戸別に受信装置があれば家の中でも情報が確実に伝わると思う。
22			●						・（避難所での生活について）毛布が少なく、床もかたい。寒いので、夏はともかく、冬は大変。
	●								・（治水整備の状況について）予算前倒しするなりして、きちんとした治水整備なり、ポンプ設置なりをしてもらいたい。（ましてや、過去の経験を生かしていない。）
		●					●		・防災スピーカーがハモって聞こえづらかったので、増設等を望む。
			●						・自衛隊等について、又役場（市役所）職員を有効に動かしていないのではないのか。忙しかった市役所職員の方には感謝しています。
23		●					●		・防災スピーカーでの放送が建造物に反響し、とても情報が聞きにくかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）避難途中河川堤防が決壊するのではと不安があった。
		●					●		・古町地区にもう１カ所スピーカーを取り付けてほしい。
24	●								・（治水整備について）水門を閉めたときに溜まる水の処理。
25	●								・愛宕川の築堤と、治水設備工事の早期完成。二度と被害に遭わないようにしてほしい。
	●								・浸水危険地域に住宅地の建設を認めた以上、洪水対策を敏速にキチッとやってほしい。再び同じ被害は絶対困る。
27	●								・ポンプ場を作ってほしい。
29					●				・（ハザードマップの避難所の指定について）活動地域の範囲内で時々利用しています。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）予想浸水深の基準条件が記入されていません。
					●				・（ハザードマップについて）郡山市阿久津測量所の堤防計画高水時決壊か？又、溢水時か内水の時の浸水深さかが良く解りません。
	●								・（治水状況について）昭和６１年８月５日災害時、河川が整備され安心しております。内水の件も揚水ポンプが増設され、治水は良き方向に整備されているものと思っております。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）それぞれ適時と思いますが、防災スピーカーの間近では話が良く理解できますが、少し離れると話が良く理解できません。農村部のように各家ごとに設けるような方向はないのですか。

	●								・逢瀬川堤防決壊同場所に今回も洩水がありました。この所だけに雑木が数本直線に並んでいます。なんか不思議に写っています。洩水には関わりありませんか？
30		●					●		・空き巣狙いの情報が入り、市の担当者と警備について協議したが、避難地域が広範囲にわたっていることから無理と分かり、町内会でも交代で（１時間おき）見回りを実施した。（市の職員は危険であることから賛成しなかったが）
31	●								・（治水整備について）水門を閉めたため汚水などが近所に流れ込んだ。閉めなければ下流の人が被害にあるのだが、どっちかが被害に遭わなければならなくなるということを無くしてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）スピーカーで放送するものは全く聞こえない。
32			●						・（避難所での生活について）体育館にて二晩過ごしました。毛布等はありましたが、徐々に数が少なくなり他の方へ回しました。また、敷物が無く体が痛く仕事に行くのも大変でした。
			●						・（避難所での生活について）子供のしつけを親は責任を持って行うことが必要です。（うるさい子供がいた）
	●								・（治水整備の状況について）以前の水害の時、今度発生するのは約５０年後という話を聞き、更に今回もその話を聞きました。それが１２年目で発生し整備もかなり良くなっているのでしょうが、今回の現実を見ますと、まだまだ整備の必要性は大きく残っていると考えます。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）２度目の勧告・命令は１度目のことがあったため即行動をとりましたが、１度目は大丈夫という気持ちが強く、すぐに行動をとりませんでした。場所によっては防災スピーカーが正確に聞こえない場所があったようです。
33	●								・（治水整備について）早くポンプ等の完備を
		●					●		・初めの頃テレビから情報をもらえずいらいらした。
50			●						・（避難先での生活）避難所では全然情報が入ってこないため，自宅に戻っていいのか，悪いのかはっきりしなかった.
		●					●		・（避難勧告・指示について）自宅まで避難勧告・命令の広報車の言葉がはっきり伝わらなかったので，もう少し早めに近くまできて伝わるようにしてほしい.
51			●						・（避難所での生活について）昼食が午後２時頃となった。（交通渋滞とのことであったが、事前対応で対応できると思われる。）
					●				・（ハザードマップの避難所の指定について）分かりやすい。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）必要ないと思う。
					●				・（ハザードマップについて）用紙を半分にして、地域を細分して、マップをもう少し大きくして見やすくする。
		●					●		・防災スピーカーが聞きづらい。
53			●						・（ハザードマップ指定の避難所について）行健小学校の庭がドロンコでとても車を置けなかった。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）堤防工事が完成したと聞いていたので、浸水の予想を見なかった。
					●				・（ハザードマップについて）地図を見ても、自分の家がどこの部分か分からないので、今後もっと自分でも調べておこうと思った。
	●								・（治水整備について）一時的な大雨でも、市街地は水があふれる状態である。ほとんどの道路がコンクリートなのだから、低い方に水がたまるのは仕方ないのだが、雨に対する抜本的対策が必要なのではないかと思われます。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）最小の勧告を留守宅で妻が一人で聞いたため、かなり焦ってしまったようだ。二日目ではかなり冷静に対処できたが、これは経験してみないと勧告も指示も区別がつかないように思う。
					●				・ハザードマップを最初に見たとき、これはとんでもないところへ建てたと思ったが、万が一あるかもしれないという覚悟ができて今回に至った。覚悟かあるとないとでは大違いでした。
54		●					●		・私の住んでいる前田は防災スピーカーが聞こえない。もう少し近い場所に設置してほしい。
55			●						・（避難所での生活について）初めての経験でしたが、何不自由なく生活することができ、一緒にいた人たちも冗談混じりにもう一晩泊まりたいというほどでした。
		●					●		・「自然の下に人間の力は無いに等しい」とはいうものの、ポンプで揚水をしたり、土嚢を積んだり、堤防の警戒など関係者の皆様の力があればこそ被害がこれだけで済んだのではないかと思います。心より感謝を申し上げます。
56		●					●		・住宅の水を阿武隈川に排水させる作業車をなぜ引き上げさせたか。
57		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）巡回車で放送していたが、走りながらのため聞き取れなかった。
58			●						・（避難所での生活について）夜９時は過ぎていたが、子供たちが騒いでいた。注意しない親も悪いが、酒を飲んでいる中年のおじさんが怒鳴っていて、すごく不愉快な思いをした。
			●						・（避難所での生活について）犬、猫を連れてきている人がいた。アレルギーの子もいるのでやめてほしい。
	●								・（治水整備の状況について）１０年くらい前にも同じ様なことがあったのに、全然状況が変わっていない。２度とこのようなことが無いようにすぐに川を整備してほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）広報車が狭い道を入ってきてくれないので聞こえない。人から口伝いに聞くので正確でない。
59	●								・（治水整備について）排水ポンプ（河川の内から外への）設備の早期設置。
	●								・（治水整備について）危険エリアでの建築規制、基準等の修正。
	●								・（治水整備について）排水・用水の整備。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーは全然聞き取れなかった。

					●				・公園等地振等の避難地が少ない。特に冨久山地区は避難地が適当な場所（公園etc）が少ない。又、道路の整備計画が遅い。
60					●				・（ハザードマップについて）見づらい点がある。
	●								・（治水整備について）堤防の強化、高く、川への排水設備。
	●								・（治水整備について）内水の対策（水門が閉じる）。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）聞き取りにくい、ハッキリきこえるよう。
	●								・中小の川があふれないように、堤防の内水がたまらないように。
62			●						・（避難所での生活について）サンライフ郡山へ避難したのですが（二日間）、生活においては食べ物等も不自由せず良かった。ただ、もっと情報を頻繁に入れてほしかった。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）スピーカーがとても聞き取りにくい。広報車が家の前を回ってくれないので、発令がよくわからない。
			●						・避難所での情報がこまめにほしかった。
63	●								・（治水整備の状況について）１２年前にも洪水になっているにも関わらず、大きな川だけ良くなっているが、小さな川については大変遅れている。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）スピーカーが反響して聞きづらい。何とかしてほしい。
	●								・裏の工事中のポンプ場を年内に完成させてほしい。
	●								・阿武隈川（冨久山近辺）堤防をもっと高く、川をもっと深くしてほしい。
64	●								・（治水整備の状況について）早急に整備を。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）広報車で発令を知るのですが、聞き取りにくい。（音が反響したり、速すぎて全部聞き取れなかったり）
65					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）問題はどこの堤防が決壊したら、どの辺までくるか。
		●					●		・（ハザードマップについて）各避難勧告、家庭への連絡→防災スピーカーと広報車ではよく聞こえない。
	●								・（治水整備の状況について）堤防が決壊しないように整備し、定期点検を。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）今のままで。
77	●								・平成10年8月にポンプ小屋ができるというので安心していたが，平成11年にのびたのも今回の災害につながったと思う。
		●					●		・スピーカーが遠いため，声が割れて聞き取りにくく，よく分からなかったのが現状です。
	●								・石鼻地区は近年できた新しい地区なので，市の方も良く把握できていない地区で，いろいろな市の防災課，道路維持課，その他の機関も分からずなようで，この度の災害ではこの件について非常に残念に思っております
78	●								・（治水整備の状況について）全くなっていない。
		●					●		・発令の対象場所が明確でない。
		●					●		・防災スピーカーが全く聞こえない。
		●					●		・情報の入手が難しかった。
79				●					・（避難中に感じた危険）親戚宅などに行く道路が止められている。
	●								・私の居住地については低地のため川の水位が上がると自然排水ができないので，大容量の排水ポンプの設置が必要。
80	●								・（治水整備の状況について）不完全なところが多い。
	●								・洪水が予想される地域であるのでいつ，どこにいても情報が伝達されるような体制を整えていただきたい。
83				●					・（避難中に感じた危険について）道路状況（通行止めなど）で危険を感じた。
	●								・（治水整備状況について）今後も洪水が起こることが考えられるので，ますます，予防策の検討をして欲しい。
		●					●		・勧告，指示は適当だったと思うが，その後の状況を随時知らせて欲しい。
	●								・支流の排水用ポンプの常設を望む。
84			●						・（避難先で感じたこと）皆さんに良く気配りをしていただきました。
			●						・（避難先で感じたこと）もう少し情報を詳しく教えて欲しかったです。
85			●						・（避難先で感じたこと）役所の人たち（事務系）の対応が見下すものが表情からもうかがえて憤りを感じた。情報もなし，全くのお役所仕事としか言いようがない。
				●					・（避難中に感じた危険について）移動する際，全く車が渋滞で，動けなかった。
					●				・（HM指定避難所について）市役所の人たちは全く何を考えているのか分からない。
					●				・（HM予想浸水深について）あたっている。
	●								・過去の経験を全く生かせず，治水整備は遅々として進まず，何を考えているやら。
								●	・（今回の避難勧告・指示について）本部の人たちも他山の石みたいな考えでいたのでは。
		●					●		・行政とはなんぞや，役人とはなんぞや。郡山市の役人根性，なっていない。好きにしてくれ。
86	●								・（治水整備状況について）逢瀬川，阿武隈川の川端の泥の排除を市，建設省に要望する。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）適正であったと考える。
89	●								・当地域は阿武隈川に近く，市街上流での土地開発，U字溝設置，舗装工事などにより下流へ水が流されているので，増水はごく当たり前であり，川沿いの各地域に緊急用ポンプ等設ける必要があると思う。
93		●					●		・近くへ来る広報車，防災スピーカーが少なく，遠くでは聞き取れないことが多かった。
		●					●		・大雨の雨音で広報車のスピーカー音などが聞こえないに等しくもう少しみんなが耳を傾けるような方法（何か大きな音を出すetc.）を考え，市民に伝達してみては….

95	●								・自宅は川の近くのため，いずれそういうこともあると思い（ここに）越しましたが．「治水整備が進んでいる」とのことで，内心安心していましたが…．12年くらい前にも経験のあることですので是非整備を早急に願いたい．
96					●				・（HM指定避難所について）たぶんこの地域はサンライフだと思ったが，近所が皆，行健小学校だったのでそちらに避難した．
					●				・（HM予想浸水深）特に参考にはならない．
					●				・（HMその他の意見）今回の被害をわかりやすく色分けし，もっとわかりやすい避難場所の記載が必要．
	●								・（治水整備の状況について）61年に決壊した逢瀬川の堤防と同じ場所が危険だと聞いて，あれだけ整備したはずなのに，と感じた．
	●	●					●		・一回目は広報車がきたが，二回目は分からなかった．自分で市の河川課にTELして確認した．この団地にはスピーカーがない．

■ブロックＣ

８．向河原町

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
101			●						・（避難所での生活について）避難して来た人が少なかったため、大変丁重に扱われた。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーによる内容が聞き取りにくかった。（女性の声は比較的聞き取れたが、時々流れた男性の声が聞き取れなかった。）

９．佐野良

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
40					●				・「ハザードマップ」など，わからない言葉は使わないで欲しい。
76			●						・（避難先で感じたこと）駐車場が少ない（場所が狭い）。
			●						・（避難先で感じたこと）避難場所が教室のため，情報が聞かれなかった。（テレビ等設置要望）
	●								・堤防の危険区域（地割れなど）は早急に整備して下さい。護岸工事をしっかりして下さい。
					●	●			・高齢者の方は避難場所へ行く足がないように思われるので，避難車等を手配した方がよいと思う。
					●	●			・体の不自由な方のために名札（身体不自由等を示す）を付けて上げた方がよい。避難所が混雑するので怪我人がでる可能性がある。
98				●					・（避難中に感じた危険について）道路の低いところに水が溜まっていたこと。
			●						・（ハザードマップ指定の避難所について）避難所に行ったのですが、車を置くところが無くて実家へ。
	●								・（治水整備状況について）土手の上からの水ではく、土手横からわき出る水が怖い。整備して。
	●								・（治水整備状況について）低いところに水が溜まって、排水できない状態も怖い。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）アパート住まいの方々にも、排水させないために避難させるべきです。
135			●						・（避難所での生活について）一人一人のスペースが狭いため、足をのばして寝れない。
		●					●		・災害発生時の被害に対する補償を明確にする。
143					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）避難所が遠い。
					●				・（ハザードマップの予想浸水深について）避難路の選択に役立つ。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災行政放送が非常に聞き取りづらく勧告発令を知るまでに時間がかかった。
	●	●					●		・防災無線放送装置設置を改良し、放送内容がよく聞き取れるよう改善すべきだ。
144	●								・（治水整備の状況について）堤防の決壊、水漏れ、水路の水たまりが不安である。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）近所の口づたいで無く、もっと早めに徹底してほしい。

１０．北畑・古屋敷

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
23	●								・横塚地区のポンプ場が一日も早く完成されますことを望んでいます。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）戸を閉め切っているとよく聞こえない。
	●								・どんなことがあっても阿武隈川の堤防が破壊されないように日頃強固なものにしておくとか川底を掘り下げる等していただきたい。
				●					・美術館通りは，水があがると近隣の道路が狭いために車がスムーズに通れないので，すぐ渋滞になってしまう。
38		●					●		・防災スピーカーが少ないと思う。
52					●				・（指定避難所について…13，橘小学校を選択）２回目は金透小といわれた。どちらが正しいのでしょうか。
					●	●			・（HM指定避難所について）老夫婦だけのところが近くにいますが，避難所が遠すぎていけない，といっていた。
				●					・美術館通りの北畑のところが通行止めになり，迂回をさせていたが，細い通りを通行させるのに誘導してくれる人が誰もいなかったため，混乱が激しかった。誘導してくれる人が欲しかった。

		●					●		・防災スピーカーがしきりに話していたが，どの地域が命令になっているのか全然解らなかった。
		●					●		・２回目の命令のときは県内の全域に命令があったためか，テレビでの放送をしなくなりどの様な状態になっているのか全然解らなかった。この地域に合った特別な放送（地域・有線テレビ）のようなものがあったら良かったと思う。
83			●						・（避難所での生活について）他の避難所に比べ人数が少なかったので、思ったほどのストレスはありませんでした。食事やジュースまで用意してもらい、初めての経験でしたが、いい経験でした。
	●								・（治水整備について）６１年以来、川の整備はされていたと思う。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）市の方は被害を少なくしようと、早めに避難の指示を出すのでしょうが、あまり早くスピーカーで夜中ガンガンやられると精神的に参ってしまいます。
106			●						・（避難場所での生活について）指定された所は遠くなので、近くの芳賀小へ避難した。夏でも夜は毛布一枚では足りなかった。
146					●				・（避難所での事について）最初避難勧告の時には金透小とのことでしたので、遠いので家にいました。避難命令に変わってからは芳賀小に行くよう案内があったので、芳賀小の校庭まで車で行きました。水門町の人たちの方が優先だなと思い、中には入らなかったのです。
					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）私共の地域は金透小ですが、遠いと思います。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）他の地域はよく解りませんが、私達の地域（北畑）については、まあまあ当たっていると思います。
					●				・（ハザードマップについて）その時、その時でいろいろな場合があると思うので、あまり参考にはならないと思う。
	●								・（治水整備の状況について）６１年洪水後、良く整備されてるように思っていたので、これからの事を考え直す必要があると思う。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）早かったので、大変良かったと思います。
151				●					・避難先へ車で向かう際，すごく強い雨で前が見えず，危険を感じた.
					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」の指定避難先は，歩いて避難するには遠い。
	●								・少し強い雨が降ると畑に水が上ってしまうから、芳賀池の泥をはらって水がたまりやすくしたり、御玉が池も前の大きさにしたら良いと思う。
160					●	●			・「郡山市洪水ハザードマップ」の避難先が学区外のため、お年寄り夫婦等は、避難するのに足がなく、避難したくてもできない人々もいた。
					●	●			・老夫婦だけという家庭が多くなっていて、車もなく足が思うにまかせずという人もいるので、もう少し避難場所について考えてほしい。

１１．横塚一丁目

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
8		●					●		・伝達は早く的確にして欲しい.
		●					●		・防災スピーカーが聞こえない．広報車とテレビ，ラジオを活用すべきです.
22			●						・（避難先で感じたこと）避難所があまりに遠いので近くの芳賀小に避難しましたが、係りの方が大変良くしてくれました。
			●						・横塚から郡山二中に行くのに車しかないので、できたら家の近くがいいです。
		●					●		・防災無線が流れていても全然聞き取れない。もう少しはっきり聞こえるようにして欲しい。
	●								・横塚でもポンプ場ができているみたいですけど、もう少し早くやっていればハウス小屋とかもっと防げると思いました。
62			●						・（避難先で感じたこと）避難地の対応は適切だった。
		●					●		・（避難先で感じたこと）伝達が不適切。勧告や命令が不明で直接市へ電話して確かめた後避難した。
		●					●		・勧告,指示の伝達が通り一遍の感。できればラジオローカル番組に緊急通報として組み入れていただけないか。
				●					・（避難中に感じた危険）堤防の決壊
92					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）水門町は芳賀小となっているが、駅西方面でないと危険と思われる。
					●				・（ハザードマップについて）大変良くできていると思う。
	●								・（治水整備の状況について）郡山市横塚２丁目、３丁目地区（阿武隈沿線）の畑が１５haほど冠水し大きな被害（ハウス　露地野菜）を被りました。現在着工中の揚水ポンプ場を早急に（１１年度中）に完成してほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適当と思う。特にファックスによる町会への伝達は大変良かったと思う。市広報車の台数を増やしてゆっくりとまんべんなく広報していただければ尚結構と思います。聞き取れない部分もあった。
115	●								・（治水整備の状況について）O.K.
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）O.K.
147		●					●		・避難勧告・避難指示の発令においては，もう少し細かい情報が欲しかった。
		●					●		・消防団の人たちのがんばりに胸をうたれました。
164	●								・集中豪雨時に農水路、支流等、内水の氾濫が起こるので、水門に排水ポンプを早急につけてほしい。
	●	●					●		・避難指示の発令時は、防災スピーカーや広報車にて、メーン道路だけでなく全ての家々にわかるように放送してもらいたい。

	●								・集中豪雨時に農水路の田んぼに水を入れるため、水入れを半分だけ開いていたため流れが悪く、上流部が、度々氾濫寸前になる。

１２．横塚二丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
86			●						・（避難所での生活について）毛布二枚では少ないと思う。体育館は板の間で、朝毛布一枚で体中が痛む。
			●						・（避難所での生活について）子供達は運動会をやるし、報道関係が多すぎて困る。
		●					●		・（避難所での生活について）市役所側の対応が遅い。最初の食事は夜半１０時頃だった。情報が送れ気味だった。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）ほぼ良い状態だったと思います。ただ避難勧告を無視していた人もいたようです。
	●								・高台の学校や大型の駐車場の地下に地下タンクを設置して大量の雨水をためればよいと思います。
111					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）誰にでもすぐ一目で分かるよう、もう少し図面を大きくしてください。
					●				・（ハザードマップについて）図面を大きくして、避難所への順序をすぐ分かるように書いてもらいたい。
	●								・（治水整備について）早く横塚ポンプ場を完成させてください。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）勧告の放送が、「こだま」してだぶって聞こえます。とても聞き取りにくく、いくら放送しても分かりません。早く改善してください。私共では放送局までTELして改善するようお願いしました。

１３．横塚三丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
28	●								・S61の洪水の際，阿武隈川から何カ所か水がしみ出ていたが，今回も同じ場所から水がでてきて危険だった。
78			●						・（避難先で感じたこと）避難先での生活は職員の方が親切だったので特に不満はない。
			●						・（避難先で感じたこと）ただ，もう少し詳しい情報提供が欲しかったように思う。
				●					・（避難中に感じた危険について）阿武隈川が氾濫，もしくは堤防が決壊するのではないかと思った。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）ある程度，適切な指示だったと思う。
88	●								・（治水整備の状況について）放水ポンプ設置（予備も）
90				●					・（避難中に感じた危険について）道路の冠水
	●								・（治水整備について）道路の排水設備を早く。
	●								・下水道の設備を一日でも早くお願いしたい。
108	●								・（治水整備について）逢瀬川と阿武隈川に挟まれたところなので、堤防をしっかりしたものにしてほしい。
			●						・指定された避難場所に来るまで行っても、駐車場があるか心配だった。
169	●								・近くの道路が毎年冠水しているが、少しも改善されない.
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令時においては，広報車に何回も回ってほしい。
174			●						・洪水ハザードマップの指定避難場所は駐車場のある所が望ましい。
					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」に記述されている予想浸水深ついて、逢瀬川と阿武隈川の「８０年に一度」と、「１５０年に一度」の違いが判りにくい。
	●								・阿武隈川の川幅を広げるべきだ。また、旧阿武隈川の流れを研究すべきだ。昭和６１年水害の場所では、今回も地下水が噴き出した。ここは昭和初期には阿武隈川の本流だったことを知っているのか？
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令に際しては、昭和６１年水害時とくらべて、スピーカーの広報があり良かったが、やや聞き取り難かった。

１４．横塚五丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
87	●								・（治水整備の状況について）十分かわからない。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）結構早めの避難勧告・指示だったので、自分で危険かどうかは見に行って判断していた。
105			●						・（避難所での生活について）洪水の状況の正確な状況が伝わってこない。
			●						・もっと情報伝達をスムーズにしてほしい。（避難場所で）
113			●						・（避難所での生活について）情報不足
			●						・（避難所での生活について）避難者指名などの受付をすることが不徹底
119	●								・（治水整備の状況について）道路の整備には浸水による通行止めのないように十分気をつけて工事をお願いしたい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）広報車による情報の伝わりがなかなか分からないので、屋外放送での情報連絡をすることが出来ないのか。（広報車の移動が早いので伝わりが分からない）
				●					・（避難中に感じた危険について）橋が崩れる。堤防が切れる。
					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）避難場所が遠い。

137					●				・（ハザードマップの予想浸水深について）思ったより深い。浸水深はどのような想定で出した数字か分からない。
					●				・（ハザードマップについて）地区の排水河川の経路が分かると雨水による浸水についても予想できると思う。
	●								・（治水整備について）河川内の樹木、泥の清掃が必要
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーによる情報が他のスピーカーと重なり合って、よく聞き取れない。
148		●					●		・広報車のスピーカーがよく聞こえなかったので避難するのが遅くなった。
162		●					●		・防災スピーカーが風向きによって良く聞こえなかった。音量を高くするか、広報車でもっとはっきり言ってもらいたい。
173		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は，もっとテレビで放送してほしかった(明確に)。

１５．横塚六丁目

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
30			●						・（避難先で感じたこと）芳賀小へ避難したが足の踏み場もないくらいの人混みで入り口には案内する人もいないため，自宅へ戻った。２度と行くまいと思った。
		●			●		●		・28～29日の市の広報車では芳賀小へ避難せよと放送した。しかし30日1:30すぎには橘小へ避難せよと放送した。私の自宅の指定避難所は金透小である。2転，3転は如何か。放送担当者は生命に関わるという認識はなかったのか。
				●					・避難するための経路をあらかじめ指定しておき，避難車両を優先的に走行させるように明示するべき。
46		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）比較的スピーディな対応に安心できた。
		●					●		・テレビでの指示に，テロップによる危険個所や町内名がスポンサーの協力などで出れば，より明確にどこへ避難すればよいか対処できたと思う。
48			●						・一晩の避難でしたが，係りの人は充分にやっていただいたと思う。むしろ避難した人のモラルの問題だと思います。
55		●					●		・もっと広報車を出して欲しい。
77				●					・（避難中に感じた危険）水が迫ってきて歩けなくなる。
	●								・前回の水害の教訓が生かされはしたが，内水のポンプアップ，河川の拡張など今回の水害の状況から改善を望む。
		●					●		・やむを得ないとは思いますが，広報車は良しとするが消防車のサイレンを鳴らしての移動は恐怖をあおり，問題点が多い。
80			●						・（避難先について感じたこと）避難をしたのはたった一晩だけだがとても疲れた。しかし，お世話をして下さった市役所の方達には不満はありません。
		●					●		・防災スピーカーの音が良く聞き取れなくて，いったいどの様な状況なのか把握できなかった。もっと確かな手段で情報が伝達されればよいと思う。
					●				・（HM指定避難所について）収容人数の関係もあると思うが，近くの方がよいと思う。
82			●						・（避難先で感じたこと）周りがうるさくて良く休めない。
					●				・(HM指定避難所について)避難場所が遠いと思います。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）早くて良かったと思う。
84	●								・（治水整備について）逢瀬川の堤防は、藪の状態で水漏れが確認できない状態である。このことは建設省に責任があるのではないか？
			●						・（今回の避難勧告について）芳賀小学校と石淵地区とは、同一地域にある。高低の差など全くない平坦地である。この小学校への避難勧告が、水門町その他の地区住民に出された。だが、石淵町内の住民にも避難勧告は出されたのである（橘公民館へ）。一方では芳賀小学校に避難しなさいと指示をしておきながら、また一方では芳賀小と同じ地区にすむ住民に他の場所へ避難をしなさいと指示するのはおかしい。机の上の空論の典型的な例である。もっと、地域住民の話を聞くべきである。
94	●								・（治水整備の状況について）現在あるポンプ場、又建設中のポンプ場が同じ様な水害（洪水）があった時に機能するのか、させるのかが疑問に感じる。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）問題は感じなかった。
96		●					●		・スピーカーが聞き取りにくい。風向きなど関係なく聞き取れるようにしていただきたい。
114		●					●		・家の中にいると全然広報車の声が聞こえず、隣人より電話で知らされた。
			●			●			・車のないものは遠くの避難所へ行くことは出来ないと思った。まして、足腰の弱い老人は歩くのは大変だと思いました。
149					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」に示される予想浸水区域は，避難勧告時には大丈夫ではないかと思った。
		●					●		・防災無線、放送が聞き取りづらかった。
153	●								・堤防の補強をもう一度見直して安全にして欲しいと思います。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は適切だったと思う。

１６．横塚

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
10			●						・（避難先で感じたこと）情報はラジオまたはテレビでしか伝わらないため，伝わってこないこともあり不安だった．避難所から情報が知りたかった．
			●						・今後，またこのような洪水に遭わないとは絶対に言い切れないので，整備をしっかりして欲しい．避難場所に使われる小学校の体育館等の設備など．
33		●					●		・昭和61年洪水の教訓で，勧告・指示がスピーディでよかった。
					●				・（HM指定避難所について）自宅に近い方がよいと思った。

37					●				・（HM予想浸水深について）間違いないと思う。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）適切な指示だったと思う。
44				●					・道路が水をかぶり車が通れないところがあって進むのに時間がかかった。
		●				●	●		・車を止めて放送していただかないと年をとっている人にはよくわからない。
58		●					●		・広い道路より入ったところに家があり，広報車がいろいろ言っていることは良く聞き取れなかった。
		●					●		・しかし，２度目のとき（29日)指示があったときには家の裏の細かい道路にも入ってきたので良く聞き取れた。
	●								・咲田一丁目に避難していたとき常にスピーカーからいろいろな放送がされていたが，危険な場所，または河川の周りの地域にも付けて欲しいと思いました。
					●	●			・私の家の裏には老人とその息子（身体障害者）がおり，避難をなかなかしなくて聞きに行ったら娘さんが来るというので安心しましたが，こんな場合市の方とかで何か方法（避難に関して）がないかなと思いました。
			●	●					・避難場所も，芳賀小学校へ行合橋を渡っていく地区ですが，渡らないで，高いところ（養護学校とか美術館とか）にして学校の近所の人たちの避難場所にできないものかと思います。
			●			●			・避難場所が遠すぎて老人は大変だと思います。
60		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）大変良いと思う。
61								●	・（避難する前の対策，その他）家財を車に積み，実家へ運ぶ。
	●								・61年に被害を受けたところが，その後のポンプ場の設置により被害がなかったと聞いた。一度でも被害を受けたところはすぐに手を打って欲しい。
	●								・公共事業もいろいろあると思うがこういう点を真っ先に考えて欲しい。２度までも被害を受けた方は本当にお気の毒だと思う。
67					●				・（HM指定避難所について）適切だと思う。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）適切
		●					●		・防災スピーカーや広報車から流れる言葉が不明瞭で聞き取りにくかった。
95				●					・（避難中に感じた危険について）橋の強度に不安を感じた。
	●								・（治水整備の状況について）テレビ・新聞では６０年に一度とか、１２０年に一度とか言っていますが、１２年に一度来ており、現在の川の堤防の高さをすべて２m上げる必要があると思う。建設省の考えはあまい。
	●								・ポンプ場を建てているようですが、着工から完成までの時間が余りにかかりすぎていて、今回の下行合ポンプのポンプ場は役に立っていない。しかし、建築費はすでにかかっていた。
	●								・現在の橋の上に橋を架け、堤防の高さすべて２m以上あげる様にすることが至急の問題。
			●						・芳賀小学校もよいが、近くで高いところへの避難場所の建設が必要。体育館の人が多くいましたが、畳の所へ避難した人がおり、少しおかしいのでは。芳賀地区内（横塚）に新しい建設が必要。
	●								・熱海地区にユラックスなど建てている遊びがあるのなら、今回の問題が大事である。
109		●					●		・通勤に関わり、通行止めとなっている道路などの詳しい情報を得ることが難しかったため、情報の提供がほしいと感じた。
121			●						・（避難所での生活について）毛布が少ない。
			●						・（避難所での生活について）犬がうるさくて寝ることが出来ない。（体育館の近くにつなぐ）
			●						・（避難所での生活について）電話を早めに設置してほしい。
	●								・（治水整備について）下河原町内会での地域ではポンプがほしいです。
138					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）遠すぎる。
								●	・（ハザードマップ予想浸水深について）実際に浸水しなかったので、何ともいえない。
					●				・（ハザードマップについて）避難所までの所要時間と、安全なルート。
	●								・（治水整備の状況について）やむを得ないレベル
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）TV・ラジオを活用すべき。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）スピーカーは何を言っているのかまるで分からない。
	●								・吉塚建設（横塚地内）のわきから、堤防上の車道へ上がるスロープを至急補修してください。
140					●				・（避難所の指定について）市の指定避難所は橘小学校でしたが、第一回の勧告時にはパトロールカーの放送は芳賀小でした。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が通行止めになって、水が上がっていた場所を見たとき。
141				●					・（避難中に感じた危険について）道路に水が溢れていた。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーは風向きによって聞こえたり、聞こえなかったり、地区によってまちまち
	●								・堤防を人だけでなく車も走れるようになっているともっと強く強化されると思う。
142	●								・（治水整備の状況について）非常に悪い。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーが聞こえない。今後広報車の台数を多くし、広報をお願いする。
168					●				・洪水ハザードマップの指定避難先まで所要時間は車で１０分くらいなので近くて良かった。
					●				・洪水ハザードマップの予想浸水深は大変役に立った。
		●					●		・避難勧告を告げる広報車の音が聞き取りにくかったのでもう少し音を高くしてほしい。

172	●								・郡山市における現在の治水整備状況は，まだまだ不備である。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は適切で良かった。

１７．芳賀一丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
15					●				・（HM指定避難所について）あまり役に立たない。もっと具体的に。
					●				・（HM予想浸水心について）役に立たない。
					●				・（HMその他の意見）具体性に乏しい。
		●					●		・情報を知らせてもらえなかった。
		●					●		・広報車の走行中に放送では具体性を望めない。
	●								・洪水対策は、市、市民とも不十分。痛い目に遭っていない人が多いからだと思う。
17	●								・ポンプを３箇所に欲しい。
19	●								・洪水になりやすい地域がある程度決まっているので、改善及び対策にあたって欲しい。
				●					・道路の通行止めの時、まわり道（迂回路）を詳しく表示して欲しい。
26		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）聞こえにくいところがあった。
	●								・このアンケートを生かして欲しい。結果を知りたい。市の広報誌などで読みたい。
68		●					●		・広報車の呼びかけでしたが，家の中では聞こえず，あわてて外へでて聞きましたが雨の音で聞こえませんでした。広い道路ばかりでなく家の密集地まで入って来て欲しい。何を言っているか分からないうちに行ってしまう。
75				●					・（避難所が不適切な理由，その他）途中の交通混雑。
	●								・一級河川はよいとして，市町村管理の準用河川と遊水地（公園等の）設置等を望む。
								●	・昔から川の側と崖の下には家を建てるなといわれている。天災は天災。行政や人間の責任は程々にして天災としてのPRを。
	●								・都市化が進む中，ＪＲ線とか国道，県道をとおる川幅が小さすぎるので，留水が多くなると思いました。
97					●	●			・（ハザードマップ指定の避難所について）避難場所まで遠い（特に老人には）無理と思う。
					●				・（ハザードマップについて）「気象情報、避難情報の伝わり方」確実な方法を考慮してほしい。今回はテレビ・ラジオに頼るのみであった。
	●								・（治水整備について）河川の整備については建設省、市当局へ専門的な視野に立って再検討を早急にお願いし、再度これらには対応できるよう検討・処置をお願いしたい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）速やかに各戸へ連絡徹底を図ってほしい。広報車の役割が果たせなかったように思う。この周辺は一度も通過することがなかった。遠くからかすかにスピーカーの音が聞こえるだけ。すべてラジオ・テレビに頼って過ごした。

１８．芳賀二丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
14		●	●				●		・（避難先で感じたこと）不満はない。その後の情報がもう少し詳しく欲しかった。
			●						・避難場所は清水台公民館といわれたが、なぜ200m以内の芳賀小学校を利用することができないのか。
			●			●			・雨の中、清水台まで歩いて避難せよとのことであったが体の不自由な老人には全く無理な指示であった。
16			●						・（避難しなかった理由・その他）自宅から一番近いところにある避難所（芳賀小体育館）と安全性はあまり変わらないと思ったから。
		●					●		・防災スピーカーが非常に聞き取りにくかった。
31		●					●		・古川地区の排水ポンプのおかげで浸水しなかったと思う。
	●								・安積・小原田地区の排水ポンプの設置をのぞみます。
	●								・最高水位があと70cmで堤防が越えるかもしれないといった事態があったようですが，築堤工法の見直しが必要ではないかと思う。
54		●					●		・防災スピーカーが聞こえないので良く聞こえるようにして欲しい。
136		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）避難指示が遅く家具等を２階へ上げる様な時間もなかったと聞いた。

１９．芳賀三丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
24					●				・（HM指定避難所について）住所で区分するのではなくブロックを作ってそれごとに行ったらよいと思う。
					●				・（HM指定避難所について）すぐ近くに芳賀小がありながら遠くの橘小では車のない私には大変不便です。
		●					●		・防災スピーカーが遅かったように思う。阿武隈川の水位がどんどん上がっているのに防災スピーカーの流れが遅く，近所に連絡して歩きました。
63		●					●		・前回は近くの用水路が水門を閉めたため溢れたが，今回はモーターを利用し水を流したので改善されて大変素晴らしい。
		●					●		・車の放送は聞き取りにくいのでできたなら各家々に緊急用の有線等を入れられればと思う。
			●						・（避難先で感じたこと）特に不満はありませんでした。こんなものだろうと思っていましたから。

81					●				・（HM指定避難所について）適切だと思います。
	●								・逢瀬川においては（整備したにもかかわらず）61.8.5水害と同じ場所が決壊の恐れがあったりとまだまだ整備が十分とは思えません。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）大事をとってのことですから……。適切であったと思います。
								●	・今回,上流での堤防決壊のため，郡山市での被害が多少免れたように思います。白河，須賀川など一日も早い復旧を願っております。
104					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）今回と避難場所が違かった。
					●				・（ハザードマップについて）水門を閉めたときの水の上がる場所などを、もっと細かく書くようにしてほしい。
	●								・（治水整備について）水門を閉めたときに水の上がる場所に揚水ポンプの設置をお願いしたい。
107				●					・（避難中に感じた危険について）道路が洪水になったり、土砂崩れが多かったため、どの道路が安全かわかからなかった。
	●								・（治水整備について）芳賀三丁目地区は昭和６１年の洪水後にポンプ場が取り付けられ、大雨ごとに放水していた。今回の大雨もそれが役に立ち洪水を免れた。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）仕事の都合上情報を知る期間が少なかったが、適切に行われていたと思う。
		●					●		・市の職員のみならず、地域での情報交換や協力体制の必要があると思う。
159					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」の文字が小さくて見えない。めがねが必要。色別のめりはりをはっきりした方が見えやすい.
		●					●		・広報車のスピーカーがよく聞こえなかったので避難するのが遅くなった。
					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」の予想浸水深は，浸水の目安がわかりにくい。
	●								・芳賀地区にできたポンプ装置は非常に役に立って助かった。
	●								・小原田地区にもポンプ装置を早急に作るべきだ！

２０．芳賀

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
7		●					●		・当地区の排水ポンプの雨水の除水効果は大きく，被害はなかった.
			●						・指定避難場所は早く浸水した人たちで占められ，市の命令の橘小は遠く，浸水地域もあり危険が多い.
18			●						・（避難先で感じたこと）設備が整っていない。何回も避難所に行ったが利用しなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）交通渋滞に危険を感じた。
		●				●	●		・各地の民生委員は必ず区内を巡視すること。特に一人暮らしの家庭等々。
	●								・普段から河川・避難所に親しむ必要あり。（例：堤防にジョギングコースの設置、イベントなど）
73	●								・（治水整備の状況について）今後も又このような洪水は予想されます。一刻も早く安心できるよう整備していただきたいと思います。
79	●								・堤防が弱いのでは。
116		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）広報車はもっとスピードを落とすか、停止して放送しないと聞き取れない。
122	●								・（治水整備の状況について）Ｓ６１年８月５日の洪水が起きてから堤防も高くなったせいかあまり心配はしませんでしたが、その分川の水が溢れたときの事を考えたら少し恐怖を感じました。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）たびたび防災スピーカーや広報車が今の状況を知らせてくれたので、いつも耳を傾けていました。とても助かりました。
								●	・電話が混線していてかかりづらくなったので、困りました。

２１．石渕町

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
5					●				・（HMの指定避難場所について）自宅からとても遠く，まして駐車場もないため歩きで避難せよとのことでした．小さい子供がいたのでつい自宅で待機していました.
				●					・東部幹線が通行止めになってしまうのはとても不便なのでもう少し考えて欲しい.
		●					●		・（今回の避難勧告．指示について）適切だったと思う.
			●						・やはり避難場所が遠かった．また，歩きでの行動はとても無理．自宅で寝ずに阿武隈川を見張っていました．近くに芳賀小学校があるので，そちらの方へ変更して欲しいと思いました.
					●				・今回の洪水に先立って渡されたﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟは大変役に立ちました．ありがとうございました.
85	●								・（治水整備の状況について）ポンプ場の設置を早急に。
		●					●		・（避難勧告・避難命令の発令について）早め早めに出されて良かった。
89	●								・土砂等堆積物により川底が高くなってきているように思う。
124		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）石渕地区は向かい側の水門町とは反対に、防災スピーカーが全くといっても良いほど聞き取れず、今度の事でも何を騒いでいるのかと思うくらい遠くにしか聞こえませんでした。
					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）避難所が多すぎる。駐車場が狭い。

128					●				・（ハザードマップについて）避難所の再検討　水門町→ニュータウンの学校　石渕町→芳賀小　（橘公民館は遠すぎる）
	●								・（治水整備について）国と市の管轄がよく解らない。一級河川は国で支流は（一級河川）は市の管轄なのか？
		●					●		・避難勧告・避難指示の意味が良く理解されていない。市では命令といっているが、報道は避難指示といっている。命令と指示がどう違うのか、法令で発令されているのか、その辺も不明。
	●								・今回の被害は河川の堤防の決壊ではなく、内水による被害が大きいので、一級河川より逆流する恐れのある地区は、排水ポンプの設置が必要である。（逆流防止のために水門を閉鎖するため、被害がでる）
134		●					●		・防災スピーカーが聞きづらく、もう少し近くにあった方が良いと思った。
150					●				・洪水ハザードマップに示される指定避難所は遠すぎて困る。車の使用は禁止されていているが，足の悪い私には避難は無理です。
	●								・水のかぶる所はいつも決まっている．この度の水害で、小原田方面では、水門をしめたことによる冠水が多かった。
170		●					●		・被害状況等について各テレビ局が同じことを放送していたようだが、地域ごとの情報を部分的にテロップでも良いから出していただきたい。

２２．古川

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
29			●						・（HM指定避難所について）避難所が遠く，わからない。公民館や小学校などわかるところにして欲しい。
					●				・（HM予想浸水深について）S61，８月５日は屋上50cmだったが，このたびは被害なしだった。
	●								・一級河川より小さな川の整備をしないと度々水害の心配あり。
		●					●		・遠いところから勧告されてもよく聞き取れずにただ心配だけが多くなりうろうろするだけ。
47	●								・（現在の治水整備について）安心できない状態。
		●					●		・スピーカーの音が聞き取れない。
		●					●		・的確な内容の情報が欲しい
57			●						・（避難先で感じたこと）不満はありませんでした。市の職員の避難者に対するお世話には心から感謝しています。
					●				・（HM指定避難所について）避難所の指定がはっきりしているので避難しやすい。
					●				・（HM予想浸水深について）絵と数字で示されているので分かりやすい。
		●			●		●		・（HMその他の意見）洪水ハザードマップの位置と今回の避難場所が違っているので一致していると良いと思う。（しかし，防災スピーカーのはっきりとした指示があったので従いやすかった。）
		●					●		・（治水整備の状況について）古川ポンプ場ができたので問題ない。
		●					●		・’今回の避難勧告・指示について）適切なときに適切な指示によって迷うことなく避難できた。
69			●			●			・（避難所を不適切と思う理由，その他）母が体が不自由で，ぼけがあるため。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が通行止めのためこんなに道路まで水が溢れているのかと思った。
		●					●		・防災無線は音がだぶって聞こえずらく，ほとんど聞き取れないです。
		●					●		・とにかく，テレビで少しも情報がなくいらいらした。テレビでは同じ情報ばかりで新しい今の情報がひとつもなかった。テロップみたいなものでずーっと流していて欲しかった。とにかく新しい情報を。
72		●					●		・避難勧告が聞き取れませんでした。言葉がよく分かりませんでした。
93				●					・（避難中に感じた危険について）道路の水が、膝下までたまった。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）発令が良く聞こえない。分からなかった。
102	●								・（治水整備の状況について）阿武隈川洪水は最も恐いが、水門を閉じた後の町の水の浸水（都市型台風）も恐い。古川のポンプは非常に役に立ったと思う。日出山地区にも是非お願いしたい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）雨の降っているときなどは、防災スピーカーは役に立たない。広報車の巡回は非常に助かった。
	●								・東部線の洪水（４９号線～東邦銀行）解決してほしい。
152					●				・「郡山市洪水ハザードマップ」の避難所の指定はとても良い。
	●								・被害にあった地域には早くポンプ場を設けて欲しい。
		●					●		・防災スピーカーが風向きによって良く聞こえなかった。

２３．昭和二丁目

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
9		●					●		・防災スピーカーによる勧告等は建物等の反響により聞こえない．
		●					●		・避難状況，洪水状況等の情報が少ない．
		●					●		・ラジオで聴いていても，福島市等の情報よりも郡山市の情報は少なかった．
11		●					●		・私どもは東武幹線沿いで、少しの雨でいつも幹線道が冠水しています。古川ポンプ場ができ、ポンプの偉力に感謝しています。今回も、何度も何度も見に行き、道路の水の増減を見張り、この勢いで流れているのでは大丈夫と避難の目安にしました。

		●					●		・（今回の避難勧告．指示について）的確だと思う．
12	●								・（現在の治水整備について）前回と比べてあまり良くなっていない。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）広報車や無線に頼りすぎて明確でない。聞き取りにくい。
65	●								・小原田地区に（水門）ポンプ設置を行うなど阿武隈川への水の流れを良くするような施設の整備を要請したい。
74		●					●		・町会によっては組長さんが一見一見歩いて伝えていたのに，うちの町会は防災スピーカーによる情報しかなく，それも車のスピードが速く，全部聞かないうちに遠くへ言ってしまい，とても不安だった。
125	●								・（治水整備の状況について）河川敷の幅を広げたらよいと思う。
132		●					●		・TVやラジオで「警戒水位を○m越えました。」という言い方があったが、それではよく解らない。あと何mぐらいで堤防を越えてきそうだとか、何mぐらいの余裕があるとか、具体的に言ってくれないとちっとも分からないと思った。とにかく、うわさばかり流れて、情報が全然伝わらない。遠方で言っている放送も聞き取りにくいし、TVとかでも郡山に放送局があるのだから、少しどうにかならないのだろうか？洪水騒ぎはこれからもまたあると思います。
155	●								・昭和６１年水害で被害を受け、整備はある程度進んだとは思われるが、まだまだ安心できないと今回は痛感した。
	●								・今後はもっと河川整備に力を入れてもらいたい。
	●								・災害は仕方ないができるだけのことはしてほしい。

２４．小原田二丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
20			●						・（避難先で感じたこと）床に敷物がなかったこと、ペットを連れてきた人がいたことが不満。
	●								・早急な整備を願う。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）適正だったと思う。
100			●						・（避難所での生活について）床がかたくて眠れなかった。
			●						・（避難所での生活について）飲み物が困った（配給が遅かった）。
			●						・（避難所での生活について）ご飯が届くのが遅かった。
				●					・（避難中に感じた危険について）水の流れの中を歩いて避難するとき、足を取られるようで怖かった。
			●						・（ハザードマップ指定の避難所について）避難所によって環境が違いすぎる。小原田小学校とベルビィー郡山とでは全然違っていて不公平である。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）とても役に立った。
	●								・（治水整備について）古川のポンプ場が出来てとても役に立ったが、小原田中学校の辺りにも作ってほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）もう少し早めに出してくれれば準備が落ち着いて出来た。解除の時も早めに出してほしかった。
			●						・避難所にいると情報が全くといってよいほど入ってこなかった。自分で様子を見に行くしかなかった。もっと早く自宅近くの情報など教えてほしかった。

２５．小原田三丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
3			●						・（避難先で感じたこと）早いもの順で，世帯ごとの区切りがなく，雑居で知らない同士の気遣いがあり不安．世帯ごとの概略区切りがあるとよい．
					●				・（HMの指定避難場所について）避難所が遠すぎる．（徒歩では無理）
					●	●			・(HMその他の意見)一人暮らしの老人の対策が必要
	●								・閉門時における溢水の放水には，ポンプ車でなく常設のポンプの設置が必要と思います．
		●				●	●		・防災スピーカーから聞き取り難い．口頭で各世帯に伝達していただければ幸いです．（高齢者は特に…）
35			●						・（避難先で感じたこと）公民館には和室やエアコンがあり恵まれていたが，体育館等は床なのと雨音で，しかも１箇所収容のため眠れなかった人が多かったという。
	●								・堤防補強工事，水門閉鎖時の自動ポンプ場の充実，側溝の汚泥除去などがあまりされていないように感じた。
		●					●		・防災スピーカーはほとんど役立たず。音声が聞き取りにくい。サッシ，テレビの音，道路騒音などのため，戸外にでないとわからない。
	●								・郡山市は西が低く東が高い地形。水は低い方へ流れるのでもっと東側の対策を強化して欲しい。
	●								・駅ビルに多額の金をかける前に「水に埋もれる郡山」にならないよう，市のスローガンにふさわしい公共事業を団結と協力して早々に実施してください。
56			●						・（避難先で感じたこと）食事は乾パンと五目ご飯の缶詰が支給されたが，五目ご飯は20～30分の煮沸が必要なため食べることはできなかった。
	●								・少し強い雨が数時間降ると側溝から水があふれ出てしまう状況にある。側溝，排管を広く，太くすると共に阿武隈川に排水するポンプを設置して欲しい。
		●					●		・当初，防災無線の声が小さく何を言っているのか聞き取れなかった。
		●					●		・防災無線で避難場所を指定して欲しい。
					●				・ハザードマップを見ず，指定場所と違うところに避難した人が大勢いた。

157	●								・６１年水害以降、堤防排水設備等、整備補強が進められていると思う。しかし、小河川の水門が閉じられたことによる浸水が発生しており、この対策が必要と思われる。
	●								・降った雨がストレートに流れない治水整備を望みます。
		●					●		・自宅近くに防災放送のスピーカーがあり、その都度これを参考に移動した。勧告、指示とも適切だと思った。
		●					●		・消防についても早めの指示を出していた。
163					●				・支川の溢水(内水)の予想がない。
					●				・洪水ハザードマップには，ポンプ稼働時の内水の流れ方と水深も記入してほしい。
	●								・揚水ポンプを設置してほしい。
		●					●		・防災無線の声が反響して内容が不明。(特に男性の声は不明。)
		●					●		・勧告、命令、解除等の予想される放送分は、わかりやすく録音しておくと良い。

２６．小原田

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
21					●	●			・（HM指定避難所について）高齢者には遠く感じます。
	●								・川を始め道が池のようになってしまうため、ポンプを取り付けるなり考えて欲しいと思います。
		●					●		・市と消防では災害の時管轄が違うので連絡もできないのかと残念でした。
25	●								・川の深さを下げるか土手をあげるか，または上流で川に水を（？）かして欲しいです。
		●					●		・私は，今の年齢でなにもかもなくした場合は，２度とふつうの生活に戻れないと思うので避難指示を受けるつもりはない。
		●					●		・防災スピーカーで行っている人が中年男性と中年女性なのでなにを言っているのかわからない。高音の女性でアナウンスして欲しい。
27					●				・（HM指定避難所について）避難所が遠くて行かれない。
					●				・（HM予想浸水心について）今回の洪水での浸水はマップより多いと思う。
		●					●		・勧告はわかりやすくはっきりと伝えて欲しい。
34					●				・（HM指定避難所について）車の移動先も多少ふれておいて欲しかった。
					●				・（その他HMについて）配布されたときはあまり興味がなかったためよく見ていない。配布時期も重要だということがわかった。
	●								・（現在の治水整備について）遅れている。阿武隈川に流れ出る堀の門を閉められると，水がたまってくるのがすぐわかるほどです。
		●					●		・（今回の避難勧告・指示について）発令は早かった。
			●						・避難する際に１番大事なことはペットのこと。家におくことは難しいし，つれて行くところもなかなかない。
36					●				・（HM指定避難所について）人命救助のための場所なので，贅沢は禁止である。よって適当な場所と思う。
	●				●				・（HM予想浸水深について）予想以上の被害だった。阿武隈川の堤防の完全化を望む。
					●				・（HMその他の意見）最悪を避けるため，徹底した指示を望む。
	●								・阿武隈川の決壊なぞは絶対許されない。粘土系の土質で幅広い，踏ん張りのある堤防であるよう願いたい。
39				●					・道路が通行できなくなったのは非常に困った。
	●								・治水の整備が非常に悪い。こんな都市が中核都市とはナンセンス。
	●								・河川の整備を早急にすべきだ。
	●								・避難勧告を出す前に洪水にならないように整備するのが先。
	●								・下流の（？）で会社の被害を受けた。（？）国の早急な対策を望む
41		●					●		・防災スピーカーの音がよく聞き取れなかった。
43		●					●		・サイレンを流しながら広報車がアナウンスするのでなにを行っているのか全くわからない。
					●				・避難所に指定された場所は高さがあまりアテにならない。
50	●								・ポンプ車等で排水するような旧式なことをせず，（水門を閉める）逢瀬川，昭和町，水門町よりに排水工事（整？）をすべきです。
		●					●		・勧告・指示はよいと思う。
117		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーは聞き取りにくい。町会長には情報が入るはずだが、それが我々にはなかなか伝わって来ないようです。
127	●								・（治水整備について）下水道
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーが聞きづらい。NHKラジオが参考になった。
133					●				・（ハザードマップについて）ハザードマップを各戸に配ってほしい。
	●								・（治水整備について）小原田ご町内に水揚げポンプを取り付けてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）良かった。
139	●								・（治水整備について）各水門に見合ったポンプを設置してほしい。
154	●								・古川ポンプ場への水路整備がされていない。ポンプ２機増やしても小原田、日出山地区にとっては何の役にも立っていない。
	●								・避難しても災害は残る。要は、水をどうするかどうかだと思う。東京のように地下に集水タンクをつくるとかの対策を考えるのも一案。
167	●								・昭和61年水害の時、昭和町はひどい状況だったのに今回は無事でした。でも今回、小原田地区は昭和61水害の時と同じです。昭和町会同様にポンプを備え付けるように希望します。
		●					●		・(避難勧告・避難指示の発令について)マイクが響いて聞き取りにくかった。

■ブロックＤ

２７．水門町

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
1	●								・今回の避難勧告・避難指示は昭和６１年の避難発令より早かった。大変よいと思う。
2			●			●			指定された避難所では １）身体の障害がある人、病気がちな人は大変であった。 ２）トイレの悪臭に悩まされた。（体力のない者の感じる環境） ３）避難所にはシャワー等の設置は必要と思う。（８．５の時３昼夜） などの不満があった。
		●					●		・８．２７では難しかったと思うが、今後の整備として水位情報、あるいは水害関連情報をデータベース化し、インターネット等で表示（学校には表示設備は設置されている）。水害関連情報提供はボランティア化すれば良いと思う。
		●					●		・今回の気象情報は難しかった。
			●						・当町会の避難所は良かったと思うが、避難所のある住民は別のところへ避難した。芳賀小の近い住民感情に対し、十分な理解と説明が必要
	●								・８．５の水害で阿武隈堤防のかさ上げを陳情しております。前水害で多分市も国も、その必要性を認めていると思いますが、かさ上げのためのエリアが町内では国有地を生活道にしているために、川幅を狭くなることはできないとのこと、国も市も行政は全くおかしい。国有地を生活道と黙認し、住宅建築許可を出している。
	●								・８月３０日夕刻と思う。堤防からの漏水情報あり、町内当事者１名が事実を確認、午後９時３０分～１１時数名で確認と撮影記録。７０～８０mの長さで漏水確認ヶ所２ヶ所（直径５～６センチ穴）、水が溢れ出る個所は数多く（確認は不可）記入者はS16,S23も経験はしているが、堤防の材料が劣質のためと思う。数少ない任での撮影は恐ろしかったが、記録の必要性を情報を得たものの責任として最小限の撮影をした。本資料により再度陳情計画と思う。なお、本堤防は周囲より平均的に約2m低い、増水時は間違いなく当町内会より水害となる。
3	●								・阿武隈川、谷田川の堤防補強、かさ上げをお願いしたい。
				●					・（避難中に感じた危険について）途中の道路が浸水していた。
4	●								・今回は谷田川の堤防が拡張工事のため崩壊しないで助かった。
				●					・（避難中に感じた危険について）川の水が増水したこと。
6			●						・避難所での生活は今回で二度目ですが、今回は良かったです。
7			●						・避難所での生活では①毛布一枚なので眠れなかった。②食事かまちまちであった。③トイレが多人数のため使用できなかった。などの不満がある。
	●								・桁合橋東岸の堤防の補強の早期着工を望む。
		●					●		・防災無線は音量が小さい又、方向によっては聞こえないときがある。サイレンをもう少し長時間鳴らしてもらいたい。
8	●								・61年の洪水の後に谷田川の河川敷は整備されました。ホンプも設置され、このたびは低地での浸水は免れましたが、阿武隈川の堤防の決壊が心配されました。堤防の整備を早急にお願いします。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示は、危険が身近に迫らない早いうちの勧告で、ゆとりを持って避難できた。
9			●						・避難所では係りの方が24時間体制で情報をしらせてくれ、感謝します。
	●								・水門町側の阿武隈川の堤防をもっとかさ上げしてほしい。
		●					●		・防災無線はききにくかった。
10	●								・阿武隈川の堤防を高くしてもらいたいです。
				●					・（避難中に感じた危険について）水で溢れた道路が途中いくつもあり、崖くずれもあった。
11	●								・堤防をコンクリートにして、モグラが歩かないようにしてほしい。今回はまたかと思った。これからは、堤防もしっかり直してほしい。
		●					●		・今回の避難勧告、避難指示は早めに出たため、良かったと思う。
	●								・人の命がかかっている。それを市では捨てることはできない。
12				●					・（避難中に感じた危険について）道路があちらこちらで冠水していた。
15	●	●					●		・８．５水害でポンプが設置されたので、被害から免れたと思う。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路の冠水と土砂崩れ。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示は的確であったと思う。

16			●						・避難所ではペットも同時に避難し、家族の見えないところに置かれているため、不安なのでしょうか。犬などは一晩中吠えていたこともあり、避難者が眠れないこともありました。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防のモグラ穴からの漏水。
	●								・私の住んでいる阿武隈川の左岸堤防はいまだ暫定堤で右岸に比べて1.20m低くなっております。また、モグラ穴などから漏水していたので、いつ堤防が決壊してもおかしくはない危険な状態です。必ず見直しが必要と思います。
		●					●		・郡山市の防災スピーカーの放送は遅かったと思う。阿武隈川の危険水位は5：50であり、放送があったのは7：00近くなってからだと記憶しています。したがって、家財道具を二階へ上げる余裕の時間がほしかったのと、たとえば早朝であれば勤めに行く前に一言あってよかったのではないかと思料されます。
17			●						・避難所では食べ物がいっぱいあって食べきれないくらいだった。
18			●						・避難所では、情報が少なく、遅い気がした。ペットの持ち込み、夜中の泣き声にはマイッタ。食事、寝具の対応は良かった。
					●				・洪水ハザードマップにかかれている避難所は適当と思う。近い
					●				・洪水ハザードマップの予想地域に被害が出たのは残念。
					●				・近年２回目の水害なので、経験上参考にして、洪水ハザードマップを充実でほしい。
	●								・水門町ポンプが今年完成してある程度安心したが、他の支流合流地域の研究が急務と思われる。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示は非常に適切であった。
		●					●	●	・市職員の対応は大変だったと思う。ご苦労様でした。多少経験が少なく指示、報告など遅かった。それよりも自身の災害に対する準備がまったくなく非常持ち出し袋も用意していませんでした。反省してます。今回を期に準備したいと思います。
19		●					●		・今回の避難勧告・避難指示は良い。
20			●						・避難所では便所終始満員、避難日数２～３日が限度
					●				・ハザードマップの避難所は私設の場所で無理が出る。
					●				・ハザードマップに臨機応変の頁があっても（最悪のときを考慮）
	●								・治水整備の内容が明示されない。国県市の分担当
		●					●		・広報を徹底に
21					●	●			・ハザードマップ指定の避難所は大変遠い地域もあり、体の不自由な方、車のない方は大変である。地域にある芳賀公民館が避難所に指定されていないのはなぜかと思う。
					●				・ハザードマップ予想浸水新は、１２年前の８．５水害をもとにしての深さと思うか。
	●								・ハザードマップの９頁に避難行動の基準に「避難準備が出されたら」という項目があるが、今回は準備の放送がなかった。いきなり避難勧告では慌ててしまう。１２年前の経験が生かされていなかった。
	●								・現在の治水整備は不充分である。
		●					●		・いきなり避難勧告を出すのではなく、水位状況を見ながら避難準備を出してほしかった。自分で川を見に行って、避難準備をしたような状況です。いきなり避難勧告では慌てます。
23	●								・阿武隈川を洪水にならないようにしてほしい。現状では土手が壊れて洪水になります。
		●					●		・避難勧告・避難指示は現状で良い。
24	●								・阿武隈川の水門町側の堤防が低く、今回土のうで予防したが嵩上げの工事が必要。早急
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防決壊。
		●					●		・避難勧告・避難指示は適切であった。
25	●								・阿武隈川の堤防が決壊しないようにしていただきたい。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋を渡るとき。
30			●						・避難所では情報があまり伝わらなかった。（水害上流での）
				●					・（避難中に感じた危険について）いつ堤防が決壊するかと言いうこと。
	●								・（治水整備の状況について）水門町の阿武隈川の堤防を高くしてほしい。←これだけは何とかしてほしい。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は大変適切に対応されていたと思う。
31	●								・国へ阿武隈川（水門町側）堤防の改修補強をお願いします。モグラ穴等あり
34	●								・治水整備は進んでいると思うが、多くの河川があるので大変と思う。今後の洪水被害に関しては、一人一人の早急な対応が必要と思われる。現に避難する際にもう少しで車が水につかり走れない状態でした。
				●					・（避難中に感じた危険について）各道路に水が溢れ、車がなかなか進まず通行止めなどにあった。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令をもう少し早く出しても良いと思った。
35	●								・水門町側の土手が桁合橋河流からかなり低くなっているので、谷田川合流点まで1m高くして欲しい、コンクリートで整備して欲しい。
				●					・（避難中に感じた危険について）行合橋の上の渋滞で、流されるのではないかと思った。
36					●				・ハザードマップの指定避難所はほぼ良いと思われるが、山崩れが大丈夫かも検討してほしい。（中にはそうゆう場所があるかも）
					●				・ハザードマップ予想浸水深は良くできていると思う。ただし、今回内水で、谷田川橋上流の右岸地区は浸水している。
					●				・今回の浸水等でエリア等変更になった箇所があればハザードマップの訂正版を発行して欲しい。
	●								・阿武隈川の堤防を高くするか、中の砂、雑木を焼却して欲しい。特に堤防は桁合橋河流右岸（上野山地区）を……。

		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は防災スピーカーで適切に指示されていたと思う。
		●					●		・避難先での防災スピーカーは聞き取りにくかった。（希望　上槻希望が丘地内）
38					●				・ハザードマップ　水門町の住民の避難先は芳賀小で良いと思います。
	●								・洪水が起きたときのみ洪水の怖さを実感し、時期が過ぎて何年もたってしまうと、のどもと過ぎれば暑さをさすれるのことわざ通りついつい油断してしまいます。谷田川や阿武隈川の川底をいつも注意して掘り下げていて欲しいと思います。後、堤防のゆるんでいるところや、漏水ヶ所の至急の改善をしてほしいと思います。
					●				・家族の一人が工業団地内の会社に勤めていて、水門町に住んでいる家族は避難勧告の時家に帰してもらえたが、その他の従業員は帰してもらえなかった。以前、被害に遭って水害の怖さを知っているものはかなりの緊張感があったが、怖さを知らないものは何事もなかった結果だから良かったものの、もし水門町や工業団地が浸水したり建物が水に流されたりしたら従業員の生命はどうなったろうと思うと怖かったです。水門町の住人だけではなく工業団地に勤めている方や責任者の方々にも洪水ハザードマップを配って欲しい。そして、怖さを知っておいて欲しいと思いました。
39	●								・堤防の設備
40			●			●			・避難所の生活では○老人の食事が遅い○ＴＥＬがなく連絡ができなかった。等の問題があった。
				●					・（避難中に感じた危険について）浸水になると思って、前回に水害になっているから。
	●								・水門町の阿武隈川の堤防を早く直してください。
43		●					●		・今回の避難勧告・避難指示での発令では、Ｓ61年時よりも情報が良くなった。
44			●						・避難所では避難とはこんなものかと思い、不自由は当然と思い三日間を過ごした。（シャワーくらい欲しかったかも）
	●								・治水整備は素人ではわからないので、行政でしっかり守って欲しい。
		●					●		・避難指示の方法を統一して欲しい。確実にいつ避難すべきか迷った。
50			●						・避難所のほうが家にいるより安心で、近所の方たちと心強かった。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防の低い方に住んでいるので危険を感じた。
					●				・ハザードマップの指定避難所は距離的に言っても適当だと思います。
					●				・ハザードマップの予想浸水深は予想を上回ることがありそうで心配です。
	●								・堤防が低いので見なおして欲しい。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令が少し遅いと感じました。
51			●						・避難所は多人数のため体育館だけでは入りきれませんでした。
	●								・水門町側の阿武隈川の土手のかさあげを強く望みます。
53					●				・ハザードマップ予想浸水深を見て、自分の住んでいるところが危険ヶ所であることで、防災について考えさせられた。
54	●								・６１年の洪水で谷田川を改修していただき今回は被害を受けなかったと思われるが、阿武隈川の方が危険という話が大変心配しました。阿武隈川の整備も考えて欲しい。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は良かったと思う。
57	●								・水門町の阿武隈川と谷田川、大滝根川の堤防をもう少し1mくらい高くして、阿武隈川のほうをコンクリートで整備して欲しい。
		●					●		・スピーカーの緊急放送（避難）が故障していたため伝達が不充分で、避難命令が伝わらず、不安の連続でした。
59	●	●					●		・桁合橋より河流右岸の阿武隈川堤防の点検と嵩上げ工事を早急にお願いします。Ｓ６１．８．５の洪水で床上１．３ｍの冠水経験あり、今回は排水ポンプ場が整備されその威力を発揮、お蔭様にて提内家屋浸水ゼロ、前回の経験が生かされ感謝している次第です。
60			●						・避難所の体育館が避難者で混雑していたので寝つかれなかった。
					●				・ハザードマップの指定避難所は近いので良いと思う。
					●				・ハザードマップの予想浸水深は雨量によって浸水個所が違うので考えさせられた。
62			●						・病気で食事制限があり、避難所では一般と同じ食事なので困りました。雨が止んだとき近くの食料店から買うことができて安心しました。
				●					・（避難中に感じた危険について）河川が溢れそうになっていたため。
					●				・ハザードマップに書いてあるとおりに、水門町から阿武隈川を渡って避難するのは足の悪いものにとって辛い。
					●				・予想浸水深はいつも同じではないから油断できない。
	●								・町内の役員は常に先頭に立って指揮する。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令がさっぱり通じなくて不安であった。
								●	・指揮にあたる人は絶えず状況を知らせるべきです。どこに行ったか不明では役員の資格なしです。
63		●					●		・各スピーカーがあるのに情報が少なかった。本宮地域では細かな情報だったと聞きました。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は適切だと思います。
64	●								・谷田川の方は安心しています。水門町の方の土手の方を直していただければ安心します。
68			●						・一日目の夜の食事が老人と子供だけにわたって、結局コンビにへ買いに行きました。飲み物が毎日もらえなかった。
					●				ハザードマップの避難場所の指定は詳しく書かれていた。
					●				・ハザードマップの予想浸水深は一般の人にもわかりやすかった。
	●								・郡山市の治水状況は良い
		●					●		・パニックにならないように、早めに勧告してもらって良かったです。
71			●						・避難所では良く眠れなかった。

72	●								・多少の雨で水害の心配をしなければならないと思う。現在の状況はあまりにも雨に弱すぎると思う。
		●					●		・勇気を持って勧告・指示を発令してくれたと思う。評価できる。
	●								・水門町の場合、土地が低いのである程度は仕方ないのかもしれないと思うが、それにしてももう少しどうにかならないか？今回の場合、白河でさえ水害にあったのだから何も被害を受けなかったのは奇蹟としか言いようがない。
74	●								・堤防の決壊がない様、強化してもらいたい。
76	●								・郡山市の治水状況は逐次整備されつつあるようだ。
				●		●			・（避難中に感じた危険について）高齢のため。
		●					●		・今回の避難勧告・指示の発令は適切になされた様に思う。
	●								・昭和６１年８月の大洪水を教訓として阿武隈川及び、谷田川堤防の強化により今次未曾有の大雨被害を防止でき誠に有難く思う。
78			●						・避難した私たちの対応にあたって下さった方々には本当に心から感謝の気持ちでいます。ペットのためにも一室空けて下さって助かりました。本当にありがとうございました。
79	●								・阿武隈川の堤防の嵩上げを早急にお願いします。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防決壊。
	●								・郡山市水門町内は谷田川、阿武隈川に挟まれた町内です。本当にキケンな町内です。堤防の嵩上げが一番だと思います。（８．５水害の時は工業団地側の堤防を切った農家があったからです。）
80			●						・（避難所での生活について）体育館ですので、冷えますね。後で足腰が痛くなった。
		●					●		・市役所から流れるスピーカーの声がはっきり聞き取れない。もっとはっきり話をしてほしい。
81		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）よろしかったと思う。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防決壊の恐れ。
82		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）実家に避難していて、防災無線がよく聞き取れなかった。（横塚一丁目）
83	●								・治水整備が不足していると思う。
		●					●		・水門町町内会のスピーカーは風向によって聞こえないときがある。
	●								・今度の洪水で阿武隈川の上野山堤防付近で堤防の下の方から水があふれてた。
85			●						・（避難所での生活について）避難しても指示してくれる人がいなくて、それぞれ勝手に避難している様子だった。隣組同士でまとまっていた方がいいと思った。防災の担当者がなかなかこなかったことに不満を感じた。
			●						・（ハザードマップ指定の避難所について）避難所の近所の人たちが、また別の避難所に指定されるのはおかしいと思った。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）だいたいは当たっていると思う。
		●					●		・防災スピーカーが家の中にいるとよく聞こえない。
90	●								・（治水整備について）堤防の補強。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）テレビ等による勧告・指示。
93			●						・（避難所での生活について）グループのまとまりがない。増水現場の情報が遅い。
94				●					・（避難中に感じた危険について）水位がかなり上昇していたため、橋を渡れなくなってしまうのではないかと思った。
95		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適切であったかと。

２８．十貫河原

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
5			●						・避難所での生活は最初の晩は大変だったようですが、次からは市係員の適切な対応でした。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防の決壊する恐れ。
	●								・阿武隈川の水門町側堤防の対岸との比較で1.5mの差があり、改善されていない。後60㎝でオーバーした。
13	●								・治水整備は８．５の時に少しは改善されたようだが、やはり河流域の設備が整ったとは言えなかった。
		●					●		・広放車では聞きにくい上に、時間がかかり、スムーズでなかった。（市に問い合わせをした人もいた）
	●								・安心して住める様に一日でも早く改善してほしい。
14		●					●		・防災スピーカーが家付近にあるのだが、発令されてもとても聞こえが悪くはっきりした情報がわからず不安だった。（何を言っているのかわからなかった）
				●					・（避難中に感じた危険について）阿武隈川の橋を渡らなければ避難ができないから。
	●	●					●		・危険個所がまだまだ安心できないと思った。非常にラジオからの情報が役立ち助かった。
22					●				・ハザードマップに関して、市の職員は本当に良くやってくれました。ありがとうございました。
	●								・下水道の完備がすべて完了し大変良くなりました。
		●					●		・各地のスピーカーが良く聞き取れませんでした。
26					●				・ハザードマップでの指定避難所は芳賀小でしたが、実際芳賀小は危険じゃないかと思った。
			●						・避難所では大変良く対応してくださったと思う。感謝しています。
					●				・ハザードマップでの指定避難所は再検討の必要あり。

27					●				・ハザードマップ予想浸水深は予想通りと思います。
	●					●			・町内会の組長は組の家族構成やどこに避難したか、老人・病人はいるか等把握する必要があり、かなり任務が重いので、研修等があっても良いのではないか。ハザードマップを配布するだけではく、地区住民への教育も必要と思う。勧告・指示に応じない方もいた。
	●	●					●		・私たち十貫河原地区は下水道もでき、雨水はポンプアップもされ、今回は被害を免れました。しかし、両岸に川があり、いつでも危険にさらされる地区です。さらに研究していただきたい。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は当然必要だったと思います。適切でした。
	●								・年々河川に流れる水の量は多くなっていると思います。山・田・畑・沼・道路等の開発により、雨水をためるところが少なくなり、一挙に川に流れると思います。調整池のようなものが今後必要と思います。
28	●								・いろいろと問題が山積みにあると思いますが、第一に堤防を一メートル高く。（強くしてもらいたい）
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が洪水。
37					●				・洪水ハザードマップに避難所の見取り図（出入り口、水のみ場、便所等）が欲しい。
41			●						・避難所では、トイレ・洗面所など少なく並ぶような状態、靴、傘、合羽等の置き場所の不備、混雑したときの各家族の住居場所の何らかの整備不足などを感じた。
				●					・（避難中に感じた危険について）丁度工業団地を走っていて、車は全然スリップしてタイヤが水に沈んで危険を感じた。
	●								・６１年の洪水で川の堤防も大変補強されたと聞くが、まだまだの感がぬぐえない。土手の部分の水漏れや、中州の整備、もう一段の堤防の嵩上げなど必要と思う。
		●					●		・どのような伝達方法がとられたのか知らなかった。町に出ていた人やデパートにいた人は何も知らなかった。町中にわかる方法を。
	●								・台風四号が東へ抜けたのが今回の被害を少なくした。上陸したら郡山は水の底だった。もっと雨に強い町作りをお願いしたい。
42			●						・避難所への人員が多すぎた。食事はほぼ満足した。
		●					●		・水門町への水揚げポンプ設置は非常に効果を上げている。
	●								・谷田川、阿武隈川の河床改修と堤防の整備を急いで欲しい。Ｓ61から１２年たってこの今回の洪水現象は早過ぎるし、山間部や町の開発に対して川の安全改修が遅れていると感じている。
46		●					●		・防災無線での情報がぜんぜん聞こえない。
			●			●			・避難場所の指定がされていても老人などで思うようにいかない人は避難場所と違う近い所に避難しているので、人数が大幅に増えてしまい、教室を開放したりしていた。
48	●								・堤防の一部が低い。水門町の強制排水で今回は浸水はなかったが、道路は交通止めとなった。
				●					・（避難中に感じた危険について）河川の増水に伝わる堤防の切れ。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は大変良かったと思っている。
49	●								・治水整備の状況は特に等地点は三河川の合流点となっている。常河床の整備を要望する。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は適切だったと思う。
52	●								・１２年前の洪水時に堤防を整備したそうですが、欠陥工事があったとのことを聞きました。そんなことがわからずに安心して住んでいた方が被害にあわれて、とても気の毒だと思いました。
				●					・勧告が出され、帰宅する際はひどい交通渋滞でいつもは１０分の道が３時間もかかり、大変な思いをしました。裏道を普段から知っておくことは大切だと思いました。
61		●					●		・ハザードマップも良いですが、もっとテレビの情報が欲しい。
		●					●		・もう少し早めに避難勧告・命令が欲しかった。
66	●								・Ｓ61年の洪水時に谷田川の堤防を修繕したので安心したが、今回の集中豪雨ではなんとか助かったが、まだまだ不安な点が多い、もっと高くして丈夫にして欲しい。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が水で溢れてる。
		●					●		・避難指示はスムーズに伝わってきたと思うが、、、、、、、
	●								・とにかく堤防を高くして欲しい。特に水門町側が低くしてあるので改善して欲しい。１０年に一度の割合で洪水が発生するなんとても考えられない！
73					●				・ハザードマップの避難所指定は大変よく気を使ってくれた。
					●				・ハザードマップの予想浸水深はかなり誤差があると思う。また新たに調べて欲しい。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防が決壊すると思った。
	●								・現状の治水で整備はとても不安です。堤防のかさあげと整備（コンクリート施工）
		●					●		・今回の避難勧告・指示の発令はとても適切であったと思う。
86	●								・水門町は阿武隈川と谷田川にはさまれた地域で北側の角には逢瀬川との合流点があります。これからあちらこちらにポンプ場が設置されますが、阿武隈川の土手を強化を第一に考えないと８．５水害の様な結果になってしまうと思う。我が家は当時平屋だったので、屋根まで水がくぐりました。水門町地域はこの様な家が何軒もありました。今回土手が水を含んで決壊寸前の場所がありました。あと１日雨が降っていたら８．５水害の時と同じだったと思う。阿武隈川の西側にポンプ場が出来ました。今回ポンプ場の水の出を見ましたが、自分が住んでいる水門町地区のみじめさを悲しくて、やりきれなくて心の置き所がありませんでした。水門町の住民を守ってください。そして、一日も早く土手の強化工事と嵩上げをお願いいたします。
87					●				・（ハザードマップ指定の避難所について）危険地域から近い場所にあるので（芳賀小）
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防が切れると思った。
	●								・（治水整備について）下水路、川底の整備は特に
		●					●		・防災スピーカーがよく流れない。（場所によって）

88		●					●		・防災スピーカーがひびきすぎて、よく聞こえなかった。
89	●								・大雨が降る度に同じ地域ばかり洪水になる。何か対策をしてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）わかりづらかった。
91	●								・（治水整備について）よくやっている。
		●					●		・（避難勧告・避難指示について）適切であった。

■ブロックＥ

２９．八木橋・八作内

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
12					●				・ハザードマップについて：地域ごとに一箇所の避難場所にするのではなく，避難者が場所を選べるようにはならないか．小原田小学校は避難場所としては不安がある．
					●				・ハザードマップについて：道路冠水で遮断される箇所が示されていると，避難する際，どの道を通ればよいかわかる．
	●								・S61.8.5洪水以来，古川ポンプ場を作ったり，土手の補強をしたり，大分洪水に対しての整備はしたようですが，それ以上の雨が降らないとは限らないので川そのものの容積を深める川底の浚渫工事は無理でしょうか
		●					●		・広報車によるスピーカーは聞き取りにくいので，防災スピーカーで正しく詳しい状況を知らせてください．女性の声よりも男性の声の方が聞き取りやすいです．
		●					●		・消防署員の皆様・消防団員の皆様　徹夜でご苦労さまでした．

３０．安積町日出山一丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
26			●						・避難所まで遠いのに車を”使用するな”ということに疑問を感じる．
					●				・ハザードマップについて：予想浸水深については想像がつかない！！
		●					●		・情報はいろいろな形にしても(広報車・町内会長・住民の情報など)早かった！！
	●								・水門のあるところには必ずポンプ場を設置して欲しい！！また，決壊の恐れのあると判断されるところは早急に工事を！！

３１．安積町日出山二丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
69					●				・ハザードマップについて：避難所の指示内容が聞く人によってまちまちであった．
					●				・ハザードマップについて：増水の内容により水位は違うため一様ではない．
	●								・ハザードマップについて：行政上の情報伝達や危険個所への対応など，前回の体験が活かされていないため災害発生の度に対応していて住民の不満があった．
	●	●					●		・対応が非常に遅れていて，災害時に同じ事を繰り返しているため，住民の不満が出ている．被害は堤防の決壊より水門の閉鎖による川以外の水により起きているので，早急に排水施設を作ることが必要である．
		●					●		・広報では周辺の雑音で聞き難く，避難指示が出るときなどはその地域のみの住民にマイクなどで呼びかける必要がある．

３２．安積町日出山三丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
2			●						・安積町公民館日出山分館は自動車を止める場所がないので避難場所としては不適切だと思う
		●					●		・防災スピーカーがあっても，雨が強く降っているのでよく聞こえない
5	●								・各水門に大きな排水ポンプが必要
31	●								・日出山地域は６１年より水位が上がった．同じ繰り返しに対し郡山市の対応に疑問を感じます．生命と財産を守り安心して住める地域にして欲しい．
		●					●		・１度目の勧告，２度目の勧告では避難場所指示が異なり，２度目は避難場所から，又，別の場所へと対応のまずさがあった．
			●						・今度は市のみで避難場所の選定ではなく，地域ぐるみの要望（場所，対応など）を組み入れたらどうか．
42	●								・治水整備が前の６１年から整備されていなかった．早急に整備をお願いしたい．
76			●						・避難所（安積３小）の消灯がPM８：４０で少し早いかなと思いました．
		●					●		・勧告・指示の発令について：適切だったと思います．
96		●					●		・防災スピーカがとても聞きづらかった．

３３．安積町日出山四丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
10	●								・以前（昭和１６年）にも同じような洪水が発生したにもかかわらず，河川の整備が全然なっていない．今回は行政のミスではないのか！
21	●								・自分の住居は阿武隈川沿いにあり，前回同様水門が閉められ行き場が無くなり，水位が上がり床上浸水になってしまいました．各方面の方々に聞きましたが整備にはまだ時間がかかるとのことです．
		●					●		・一度目の経験？を活かし早めに避難しました．とにかく早めに指示を発令した方がよいと思います．
	●								・この災害を教訓とし，きめ細かな調査を行い次に活かして欲しいと思います．よろしくお願いいたします．
27	●								・当方の洪水は阿武隈川の水位が高くなると小河川の水門が閉じられるので，小河川の堤防整備をはかるべきだと思う．
		●					●		・洪水の勧告・指示の発令はよいと思う．
50	●								・郡山市の治水整備状況について：用地買収のためか工事の着工が遅れている．
	●	●					●		・私は今度のポンプ排水について大変効果があったと思っている（２８日の時点で）．ただし，３０日の場合はもっとポンプの増強を要望したが，ポンプが足りないとの返答であった．これでは人災だと私は思っている．安積行政センターへ電話した．

３４．安積町日出山　南台・旧屋敷・新鍬

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	●								・排水の水門に常時，ポンプをおいて欲しい
7			●						・避難先（名倉地域公民館）について：関係者が親切で感謝している．食料など充分な接待を受けた
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は適切だったと思う．
8	●								・阿武隈川と笹原川に挟まれているため，水門を閉めてしまうと雨水がたまるのでポンプを常備して欲しい．
					●				・病弱なので指定避難場所に避難できず改善して欲しい．
9	●								・日出山・南台地区にポンプを備え付けていただければと願っている
		●					●		・勧告・指示は大変よかったと思う．郡山地区として一人の犠牲者もでなかったことは不幸中の幸いであったと思う．
	●								・笹原川と阿武隈川との両方で水門が閉ざされるので，雨水がたまるのは必然的である．この付近にポンプを備え付けるか，ある程度の水位を超える場合，下水道と平行して道路からの雨水を流す工夫はないものか…
11	●								・昭和６１年の洪水時，ひどかったところは改修されているが，今回の洪水があったところ・浸水しそうになったところ・冠水した道路なども整備して欲しい．
		●					●		・公民館から放送されている情報が遠くて聞こえなかったので，民放・テレビでも放送して欲しい．
		●					●		・避難勧告・命令はすぐに伝わったが解除の情報は遅かった．
				●					・通行止めの箇所・冠水のひどいところを，もう少し詳しく知りたかった．（ラジオ・テレビでも）被害の大きなところは何度も放送されたが，小さなところはわからないで通ろうとして通れないところもあった．
16	●								・水門が閉まったので，ポンプ排水が欲しかった．
17				●					・道路のあちこちで通行止めとなり避難するにも大変でした．
22					●				・ハザードマップについて：案内場所の詳しい看板などが欲しかった．（場所がわかりづらかった）
24					●				・ハザードマップについては全くわからない
					●				・ハザードマップを再度配って欲しい
	●								・S61.8.5の水害の時も，堤防が壊れてとっても怖い思いをした．今回も駅前の堤防が崩れた．早く安全な堤防に改めて欲しい．
		●					●		・避難勧告・指示の発令は，大変よかったと思う．
28	●								・川幅内の整備をして欲しい．
44		●				●	●		・高齢のため発令された内容は聞き取れなかった．
					●				・ハザードマップについて：これからはしっかり勉強したいと思いました．
		●					●		・情報伝達について：もう少しはっきり言葉を聞き取れるようにして欲しい．皆様の意見でした．よろしくお願いします．私たちからもその心算で勉強していきたいと思います．
47					●				・ハザードマップについて：名倉公民館は知っていたが，遠くて一度も言ったことが無く，場所がわからないので初めから行く気はなかった．
73			●						・避難所について：情報が伝わってこない．
			●						・避難所について：座布団１枚，毛布１枚で眠れなかった．（名倉公民館）
					●				・ハザードマップについて：避難場所が遠すぎる．
	●								・ポンプが足りないのではないか．
		●					●		・勧告・指示について：早かったのではないか．
					●				・避難場所として永森小学校など近くてよいと思うのだが．
81		●					●		・勧告・指示の発令は適切であったと思う．
85		●					●		・家の近くの防災スピーカーが同じ事をバラバラに話すため，重なって何を話しているのか聞き取れないことがあるので，「同時に話してくれたらな」と思います．今後このようなことがあったときに聞き取れなかったらと思うと不安になります．

90								●	・前庭が冠水し趣味の栽培が全滅した．
		●					●		・洪水に関する刻々の情報が全くなく，どんな状況に現在なっているのか全く分からず心配だった．
					●				・ハザードマップについて：もう少し実状にあった避難所の指定が望ましい．
					●				・ハザードマップについて：立派な印刷で多大の費用が掛かったと思うが，配布されても活用されず燃えるゴミとして捨てられた場合もあり，今回は全く活用されたとは思えない．あまりに現実離れした感がある．
		●					●		・防災スピーカが非常に聞き取りづらい．もっと安静とかボリュームを研究して聞きやすい方法が望ましい．
		●					●		・私の所はスピーカより１５０ｍくらいの所ですが，全く聞き取れない．必要以外のことをしゃべると分からなくなる．必要なことを簡単にしゃべった方がよいと思う．
92					●				・ハザードマップについて：避難所に行っても満員のため断られた．

３５．安積町日出山

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
51					●				・ハザードマップについて：場所が遠く，判りにくい．また，収容人数が少なく狭い．学校等の開放が望ましい．冠水・通行止などがあり徒歩での移動には問題がある．
					●				・ハザードマップについて：今回の状況から，床上程度は考えられるが２～５ｍというのは少し深刻に考えすぎではないか．（水位の状況とＧＬの状況から）
					●				・ハザードマップについて：徒歩での避難指示には問題．避難路・大規模な避難所（公民館ではなく学校など）の確保が必要．そのため避難場所の再検討，避難路の明示を記載すべき．危険度の高い地域住民に優先して広い避難所を確保して欲しい．
	●								・堤防は決壊していなくても水位が上がると排水の水門が閉じられてしまう．逆流を防止するためとはいえ，これが原因で床上浸水する被害が少なくない．この対策を工夫すべき．消防のポンプ車だけでは間に合わない．各水門に排水ポンプを常設することも必要である．
		●					●		・防災スピーカーでは聞こえにくいケースもあった．もっとメディアを有効かつ頻繁に利用してほしかったと思う．
74					●				・ハザードマップについて：現在の避難所は遠すぎると思う．
					●	●			・ハザードマップについて：土地に不慣れな人や年配の人にはマップは小さすぎで見にくいように思う．個別に避難所までの拡大地図などの配布があれば便利．
	●								・治水整備は不備な箇所が多い．
		●					●		・勧告・指示について：時間事の水位など知ることができ，落ち着いて行動することができました．
		●					●		・他の地区の放送の声が重なり聞き取りにくかった．
103	●								・本流と支流が合流する地区で，本流の水位が上昇すると支流の水門を閉めてしまうので支流そのものが上流の寄り水がたまり，水害となるようです．
		●					●		・勧告・指示は，テレビの文字放送などでも流して欲しい．
104			●						・郡山高等学校へ避難したとき，鍵がかかっており誰もいなかった．
					●				・ハザードマップについて：地域にあった近くの避難所にして欲しい．（郡高は遠すぎ）
					●				・ハザードマップについて：予想浸水深はわからない．
105	●								・日出山地区の落合堀・作内側に排水ポンプを設置して欲しい．
106		●	●				●		・私は日出山分館で水門管理や消防分団の人たち，ポンプで水を汲み上げて夜通し働いてくれている人たちの食事を４日間作っていました．避難所は不適切と市の方から言われ，私たちも分かっていました．浸水して家にいられない人たちも分館に泊まっており食事を出しました．指定された避難所は遠く不適切と分かっていても分館にいることがベストでした．人手の少ない中，避難した人たちも働ける人は，お客様でいないで手伝ってほしかったと思います．
	●								・治水整備は61.8.5より少しはよい．
		●					●		・勧告・指示の発令はとても良かったです．
		●					●		・全体的に何事も遅い．やはり役所だと思う．

３６．笹川一丁目

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
6	●								・各家庭に砂袋（土嚢）を常備して欲しい
		●					●		・避難勧告・避難指示等すべてスピーディーに行って欲しい．消防活動・避難指示等が遅い気がする
33			●						・避難場所に毛布や食事が充分に用意されていたので，安心して過ごすことができた．
					●				・ハザードマップにかかれている避難場所は実際には役に立たなかった．
					●				・ハザードマップについて：自宅よりかなり遠いところに指定されていたのでおかしいと思った．
					●				・マップよりラジオ・テレビ・自分の目の情報の方が確実
					●				・ハザードマップについて：避難場所の指定について疑問を感じる．
		●					●		・今回の避難勧告・指示は一生懸命やっていただいたと思うが，大変聞き取りにくかった．
		●					●		・与えられる情報だけでなく，自分から確認できる情報が欲しかった．後の方になって，消防の問い合わせの電話で情報を聞くことができたのはよかった．

36		●					●		・広報車からの声が聞き取りにくい．
49					●				・ハザードマップについて：笹川１丁目の地域の避難所は不適当と思われます．
					●				・ハザードマップについて：予想浸水深はそのときの状況により相違を生ずるものと思うので，余り意とすることなし．
					●				・ハザードマップについて：何でも人のせいにすることしかしない現代人においては，親切なプリントも余り役立っていないようです．
	●								・日常生活において最も大切な下水・排水の設備は，普段の手入れ・管理ともに要注意の重点だと思う．
	●								・この自然災害においては予算云々ではなく即刻対処すべきと思う．
								●	・役所の方々も地域（各方部）を知ることは本当に大変なことと思うが，地域方部を頭に入れ，情報伝達にも一番大切な真心が必要ではないかと思いました．
54	●								・これからは異常気象により数多くの洪水が予想されると聞いております．今回も水門が閉められたためによる被害が大きかったと思います．河川の近くには住みたくないと思い
		●					●		・勧告・指示について：発表される度に広報車で伝達されましたのでよく伝わりました．
		●					●		・一度目の時は消防ポンプで夜中の１２時まで水揚げをしていただき，水位が低下して助かりました．地元の消防団他地区の消防団員の方には本当にお世話になりました．
55					●				・２９日の勧告・命令は指定避難場所が変わっていた．
		●					●		・指示・命令がわからない．テレビで知るくらいだった．防災スピーカーは反響して全然聞き取れない．
56	●								・堤防法しろ流失箇所の補強と徹底した堤防のチェックをして欲しい．
		●					●		・勧告・指示について：適正だったと思う．
		●					●		・本部より放送の防災スピーカーの声が反響して聞き取れない．
58		●					●		・防災スピーカーの避難勧告・指示が早口なので聞き取れなかった．
60		●					●		・避難勧告の拡声器がよく聞き取れなかったから，よくわかるようにしてください．
62					●				・避難指定場所は遠いし，普段その建物をみたこともない．
		●					●		・広報のスピーカーは反響が大きく，言葉が聞き取れない．どう聞いたらいいのですか．
								●	・プロパンガスのボンベの栓は閉めた方がよいとガス店の方がいいました．
63					●				・ハザードマップについて：避難所が自宅から遠い．
					●				・ハザードマップについて：予想浸水深は実感できた．
					●				・ハザードマップについて：もっと内容を充実させて欲しい．
	●								・郡山市の治水整備状況について：まあまあだと思う．
		●					●		・今回の勧告・指示の発令は適切でした．
77					●				・ハザードマップについて：指定された避難所（約３ｋｍ）が遠く，やむなく親戚の家に世話になった．
	●								・阿武隈川の河原（永盛小付近）にしょうやの林があるが，①あった方が下流の堤防への援護の役目をするのか，②あるいは上流からの流物がたまり付近の堤防損傷の恐れがないのか，など，明確にして付近の住民の疑問に対応して欲しい．
	●								・永盛橋付近の西側堤防で今回土嚢で補修した場所の完全整備を望む．
94		●					●		・勧告・指示の発令について：よく分からなかった．
100		●	●				●		・避難場所の指定について，防災無線や広報車で伝えていたようだがその回数が勧告や指示に比べると極端に少なく，どこに避難して良いのかわかりにくかった．ラジオでもこのへんのミクロの情報は伝えていなかったと思う．（一番知りたかったのだが）（逃げろ逃げろといっているだけだった．）テレビ・ラジオがその情報を伝えるのは大変役立ったが，時としてそれをあおるような感じがした．こういう時こそ落ち着いて放送してほし
101		●					●		・防災スピーカの音が聞き取れなくて困った．

３７．笹川二丁目

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
14	●								・水門の締め切りや開放について大変判断が難しいと思う．担当者の教育に十二分の配慮が必要と思われる．洪水時の対策・判断，どうあるべきか改めて勉強会が必要と思う．
		●					●		・今回の阿武隈川（笹川地区）の場合は，今にして思うにもう３時間は早く指示すべきだと思われた．もう１時間水位が大変なことになったと思う．
		●					●		・防災スピーカーがよく聞こえなかった．（３箇所くらいの防災スピーカーが0.5から0.7㎞の間隔で複数になり，聞き取りにくかった）
	●								・増水すると川辺の状態が全くわからない．まだまだ安心と思っていましたが水位が下がっているのをみると危険箇所が一見してわかる．
		●					●		・水位で避難命令を出すのはよくない．悪いと思う．良い方法はないか？
	●								・水門の締め切りはよく教育されていない．水門締め切り解放の時期が遅かった．
30			●	●					・避難場所の標示がない．避難場所(ｻﾝﾌﾚｯｼｭ郡山(安積))の床が板なのでマットがあるとよい．
				●					・川を渡っての避難所は不適当
				●					・道路で通行止めとなりそうな場所の標示があるとよい．
		●					●		・広報車は走りながら伝えるので聞き取りにくい．郡山地区専用の情報を流してくれるラジオチャンネルがあればよい．
			●						・避難している人にはその地区の情報を危険が無くなるまで連続して伝えてもらいたい．
43	●								・郡山市の治水整備状況について，かなり未整備だと思う．内水が集中しすぎる場所がある．都市開発に調整効果（遅延効果）のある駐車場などが必要だ．
		●				●	●		・防災スピーカーは風向きや気温により聞きづらい．聞きづらかった．勧告・指示は行政の専門用語だと思います．子供・老人でも解りやすい言語に直すべきだと思います．

65	●								・阿武隈川の堤防の件について，以前中部～関東に住んでいたがほとんどコンクリート堤になっていた．もう少しコンクリート製にならないのか．
78		●					●		・情報伝達は広報車の流し放送では始めと終わりがわからない．一時停止してわかるように放送してもらいたい．
		●					●		・もう少しいろいろなところの情報が欲しかった．あまりにも特定のところばかりなので困った．
98					●				・ハザードマップについて：避難場所が遠い．
	●								・今回の洪水時における堤防損傷箇所を早期にコンクリート等により補修を実現してください．
		●					●		・勧告・指示の発令について：適切と思う．

３８．笹川三丁目

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
32	●								・自宅から１００ｍ手前を阿武隈川が流れているが，大分前に堤防が整備され余程のことがない限り大丈夫だと思っていたが，今回初めて一部決壊があり一時不安な夜を過ごしたと町内の方は語っていた．現在の堤防の再検討と決壊箇所の一日も早い復旧作業をお願い
		●					●		・住居地区において，避難勧告が発令されたのは生まれて５０年記憶がない．今回全く災害は受けなかったが，今後絶対に大丈夫と言うことはないと思うので川岸のパトロール等を強化し「人命第一」として早めの勧告・指示をお願いしたい．
52	●								・阿武隈川堤防の早期完全整備をお願いします．地域住人の意見など充分に参考にしていただきたい．
83		●			●		●		・ハザードマップについて：指定避難所があまりにも自宅から遠いため，自宅近辺の情報が入らないし見に行くにも時間がかかりすぎた．
	●								・前回も浸水した地域なのに堤防の改善はみられなかった．今回堤防が削られてしまったのも，何もしなかったからではないか？
		●					●		・ココの笹川３丁目は防災スピーカーが聞こえないので，今回も何を行っているのか全く役には立たなかった．近辺の設置をお願いしたい．

３９．笹川

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
15	●								・永徳橋付近の堤防を早く整備して欲しい
		●					●		・車のスピーカーではよく聞こえない．何言っているかわからない．一軒ずつ回るかもっと近くまできて放送して欲しい．
25		●					●		・避難勧告・指示の発令は，まことに不安だ．
29	●								・堤防決壊の応急措置だけでなく，早く完全な堤防を作ってい欲しいと思う．３度このような事が起こらないように．
		●					●		・自分の家は道路沿いで車が頻繁に走るので広報車が放送しているのが聞こえなかった．
	●								・消防車が一台しかこなくて下水の対処が間に合わなかったことが残念でした．
40	●								・堤防の決壊した部分を応急措置ではなく，一日も早く改善をして欲しい．
46		●					●		・役所事は何事も対応が遅い．
53		●					●		・防災スピーカーがよく聞こえず，風向きの関係でエコーがかかりほとんど何をはなしているのか判らなかった．ラジオ・広報車による情報を手に入れた．
		●					●		・水防本部に電話で問い合わせをしたが話し中でなかなかつながらなかった．テレビの字幕スーパーで流して欲しかった．広報車も通報が速く聞き取れなかった．
57			●						・避難所について：安積公民館は川の側で危ないと思った．体育館では毛布１枚で背中はゴロゴロして寒かった．どんな状況のなのか一切連絡がなかった．物資の援助があったかがどこからというのが一つも連絡がこなかった．
					●				・ハザードマップについて：全然役に立たなかった．
					●				・ハザードマップについて：予想浸水深より深かった．
				●	●				・ハザードマップについて：避難所がわかるようにして欲しい．道路が寸断される前に情報を流して欲しい．
	●								・阿武隈川カーブの堤防を強化して欲しい．
	●								・ポンプ場を多く設置して欲しい．
		●					●		・避難場所をはっきりして欲しい．
		●					●		・広報車がまわって欲しい．
			●			●			・避難場所には身体の不自由な人もいるので畳などがあるといい．
			●						・熱いお茶・みそ汁などがあったらいい．
		●					●		・情報が欲しい．
61					●	●			・ハザードマップについて：老人や体の不自由な人が避難するための足を考えてもらいたい．
					●				・ハザードマップについて：どのような状態での浸水予想なのか全然わからない．
					●				・ハザードマップについて：避難方法及び経路もわかるようにして欲しい．（浸水により道路が使用できなくなるところも考えて）
	●								・川の流れ及び水門を閉めた場合の堤防内の水の排水を考えて欲しい．

		●					●		・防災スピーカーの内容がよく聞き取れない．（全くわからないときがほとんどである）
		●					●		・その地区で被害状況がわかるようにして欲しい．（すぐ上流の堤防が決壊しそうな状態が，全く報道されなかった．非常に不安である）
66					●				・ハザードマップについて：避難所までの距離が遠い．
					●				・ハザードマップについて：本当に予想浸水深まで浸水するのか疑問
					●				・ハザードマップについて：阿武隈川本流の堤防決壊時と水門閉鎖時の内水による増水の浸水の違いがわかればよい．
71	●								・今　下水道の工事が進められているが，水害の受ける地区では下水道より治水を先にやって欲しい．下水は何年先でも我慢できるが水害は一秒も待てない．
	●								・何処に嘆願し続けても，洪水の被害を受ける市民の声には答えてもらえない．公園，３２階建てビルもいいでしょうが，水害を受ける身になって対策を講じてもらいたいのが悲願である．国・市町村を治める人はまず治水からだと信じる．雨の降る夜は心配で眠れな
		●					●		・防災スピーカーは反響してよく聞き取れない．一度聞く人の位置にたち考慮して欲しい．何の役にも立たない．
	●								・水門を閉じ内水がどんどん流れてくるのに消防車はもっとひどいところがあるといって行ってしまった．常にポンプの常設を願わずに入られない．
	●								・市長・水災関係者は実状をよく視察され，できる限りの予算で治水対策に取り組んでいただきたく強く懇願する．実状を視察されれば対策は立ててくださるのではないかと思う．一度や二度の被害でない市民の声を吸い上げて欲しい．雨の音は凶器の音に聞こえるのは水害を経験した人のすべてが感じるのではないかと思う．公園・ビルよりも治水を叫
72	●								・治水整備状況はまだまだ不備である．
91			●		●				・ハザードマップについて：指定避難場所が違う．避難所の受入準備がなかった(毛布など)．
	●								・堤防の強化・整備をしてほしい．
102			●						・ハザードマップについて：指定された避難所の位置がわかりにくかった．
					●				・ハザードマップについて：洪水発生地点を通らずに避難できるように改善すべき．

４７．深田台

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
91	●								・（治水整備の状況について）放水ポンプ場を建設してほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーでは声が反射して聞き取りにくい。
126		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）広報車の声が反響して聞きづらかった。

■ブロックＦ

３５．安積町日出山

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
179		●					●		・水位が見る見る上がり，車庫の中の車が水に浸った．動かすこともできず，ただ見ているだけだったので，マイクを使って車の移動などを呼びかけて欲しかった．（車の避難場所も指示してもらいたかった．）
	●								・自宅の南側に大きな堀があり，いつも水がちょろちょろ流れている程度でしたが，大雨で阿武隈川を閉められたため，みるみるうちに池というより湖化し家から出ることもできなかった．何とか改良して欲しい．
		●					●		・避難勧告・命令が出ても一歩も外へ出ることができず，ボートを浮かばせて呼びかけて欲しかった．

４０．安積町日出山　神明下

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
2				●					・（避難中に感じた危険について）道に水が溢れ、車が水没するかと思った。
3					●				・ハザードマップ上では実際に安全箇所が見つからない。
		●							・今回の避難勧告・避難指示の発令は適切であった。
4		●							・情報伝達のマイクの使い方、山彦現象で聞き取りにくいことが多かった。
6	●								・日出山は治水整備が全くといって良いほどなされていないので、これを教訓にして取り組んでほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）日常通っていた道路が川のように水が流れていた。
		●							・今回はNHK第一ラジオの情報が役に立ちました。
		●							・防災スピーカーが何を話しているのか聞き取れなかった。早口のせいか声が割れてしまい非常に聞き取りにくかった。
20					●				・ハザードマップにはこの地域の避難所は桜小学校になっているが、国道４９号線が途中浸水し通行止めになっているので、現実的に無理である。
			●						・この地域の避難所については阿武隈川を渡らない所の方が良いと思う。
	●								・阿武隈川の水位が上がると、古川の逆流を防ぐ為に古川の水門を閉めてしまうため、古川があふれ浸水箇所が必ず出る。これを防ぐ為には水門を閉めても排水できるポンプ施設を早急に施工する事だと思う。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は問題ないと思う。
	●								・この地域は阿武隈川が大きくカーブするところで、しかも外カーブなので水圧により堤防が切れないかと心配をした。できれば堤防の高さも幅ももう少しあった方がよいと思
25	●								・神明下の旧阿武隈川（馬てい形池）を無くすと大雨、洪水時の水を吸収するところが無くなり、もっと危険になるので、慎重に対処してほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋を渡るとき、古い橋が心配。
28					●	●			・ハザードマップは何分老人のことで、地図が読み取りにくいのですが、虫眼鏡で一生懸命に見させて頂きました。この様にご配慮もお願いできれば幸いです。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋を車で渡るときに怖かった。
29			●						・第一回の避難場所、帝京安積高校は最も危険な場所。そこから田村公民館に避難した。
	●								・８．５（Ｓ６２）水害に続いての水害であり、１０年も経過している割にはお粗末である。危険区域が、他の市町村と比較して多い。
			●						・避難箇所が危険区域であった。もっと現地調査をすべき。（私は二回避難した）
		●	●				●		・避難中の情報不足、避難者の住宅の情報を流すべき。勧告とか指示の報道がよくわからない。
			●						・避難所の待遇は良かった。
80			●						・（避難所での生活について）室内犬をつれていたが、「不衛生だから」と移動を余儀なくされた。ペットを連れた人たちは別の部屋にするとか、何か対策が欲しい。自家用車での移動は禁止されていたのに、車の中にペットを入れていた人たちも多かった。
	●								・今年は梅雨明けが無く、毎日雨降りで「古川」も毎日水位が上がっていた。水門を閉められる前に、適正水位を保っていれば古川があふれることは無かったと思う。早急な古川
		●					●		・防災無線が聞き取りにくい。
		●					●		・帝京安積高校へ避難しようとしたら、バスで田村公民館へ変更になった。最初から安全な場所を指定して欲しい。（遠くないところ）
					●				・（ハザードマップ指定避難所について）避難場所までの距離、交通事情の悪さの影響、手段の有無

120					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）予想通りには行かない。
					●	●			・（ハザードマップについて）車のない年寄り高齢者、病人の避難方法、対応に缺く。
		●				●	●		・寝たきり病人の避難方法、一人暮らしの高齢者の扱い。避難先の環境の相違等。
151	●								・（治水整備について）６１年度の時も知人の家が水害にあい、とても気の毒で声もかけられない程で、なんとかしてほしいです。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）とても聞き取りにくく、なんと言っているのか最初はわからなかったです。
		●					●		・二度の避難命令はいいとしても、あのサイレンの音はとても不安になり、イヤでした。つくづく神戸の方々の苦しさがわかりました。
172					●				・（ハザードマップ指定避難所について）洪水時に阿武隈川を越えて避難できるかどうか、危険と思う。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）神明下の場合２～５ｍとなっているが、３ｍ以上にはならないと思う。
					●				・（ハザードマップについて）避難場所の再調査。
				●					・（避難中に感じた危険について）車で避難するとき、旧河川の道はタイヤの方が水で埋まった。
		●					●		・防災行政無線の放送は家屋の反響により聞き取れず、またスピーカーは急いでいるため、すぐ通り過ぎてしまって前後はなんと言っているか判りませんでした。ただ焦るばかりでした。

４１．安積町日出山　一本松

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1			●						・避難所では自宅周辺の情報が少なかった。
					●				・ハザードマップで指定されている危険な川を越しての避難所は危険に思う。
					●				・ハザードマップの予想浸水深は予想通りと思った。
					●				・ハザードマップは地区と住民と話し合い、避難先を決めてはどうか。
	●								・旧河川に排水ポンプを設置して欲しい。
9			●						・ハザードマップ指定避難所は遠すぎる。知らない人が多い。
12		●					●		・私の住んでいるこの地域は、浸水のおそれはないといわれていたのに、急な避難指示がでてとてもパニックになってしまった。もう少し早めに指示を出してほしかった。
14				●					・自分の所は川の近くで、橋があり避難所以外の所へ避難するのに、経路の情報を早く正確な情報誘導がほしい。
		●		●			●		・今回のような避難勧告・指示の発令状況の場合、最最最悪だったと思う。人間の生命財産を守るため最良の避難誘導経路の確保を最優先させる（ベスト）。
								●	・人民の安寧を一番最初に考えてほしい。
15	●								・逆流を防ぐために水門を閉めたため、増水し浸水したところが多く見られた。水門周辺にポンプ場があったらなも少し浸水箇所が少なくと思われる。５０万都市を目指す市としてもポンプ場を増設して頂きたい。
		●					●		・防災スピーカーからの音声が聞き取れない。広報車はもっと速度を落として伝達してもらいたい。
				●					・日出山字一本松地区から帝京安積高校東側道路より４９号への道路、また同地区より４９号（森永乳業）へ道路が旧河川の所で冠水し通行不能となり、緊急の場合困りますので道路の嵩上げをお願いします。
17	●								・水門を閉めて、平地の水を排水する設備が過去の経験から生かされていないと近所から聞くが。
			●						・避難場所に避難したが、避難場所の変更が１０ｋｍ以上も離れているところに指定されたため、親戚の家に助けを求めた。
50	●								・今回のことが発生する以前から問題箇所はわかっていたにもかかわらず、町内会でも行政でもそれに対処していなかったようである。
66			●			●			・（避難所での生活について）老人にとっては、つらい生活だったと思う。
	●								・（治水整備の状況について）洪水が予想されている特定地区の整備は急務であると思う。
		●					●		・（今回の避難勧告・避難指示の発令について）適切だったと思う。
		●					●		・災害時にはマスコミ等のバラエティー番組は割愛し、いろいろな災害に関する情報を提供していただきたかった。
68			●						・（避難所の生活について）手際の良い市の職員etcの方々に感謝！
	●								・（治水整備の状況について）排水の悪い箇所がいたるところに見受けられ、少しの雨でも昭和町など車での通行に危険を感じます。ゆとりのある公園等の整備の前に安心して暮らせる場所、道路を整備して欲しいです。
		●					●		・（今回の避難勧告・避難指示の発令について）放送が反響して、とても聞き取りにくかった。
		●					●		・帝京高校が危険になり他に移動になったとき、しっかりとした伝達が欲しかった。避難バスの音で初めて危険な状態を知りました。
		●					●		・地元の消防団の活躍にとても心強かった。感謝！感謝！！
70				●					・（避難中に感じた危険について）日大橋を渡るとき堤防がくずれ、テトラポットを投げ入れていた。反対側は水が堤防を越え雑林まで浸水していた。
71	●								・ポンプを設置して欲しい。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が浸水で通行不可能となり、取り残されるような気がした。

81					●				・（ハザードマップ指定避難所について）見直した方がよい。
				●					・（避難中に感じた危険について）堤防決壊の恐れあり。
	●								・阿武隈川の堤防のない所がない様にしてもらいたい。古川の水の排水ポンプの設置。
		●					●		・防災スピーカーの音がこもって聞き取りにくいので、防災無線受信機を各戸につけて下さい。
83	●								・当地は昔のままの阿武隈川が残され古池となっている。埋め立てない限りまた同じ事が起こる。
84	●								・古川池が雨のたびにあふれそうになっていたので、いつも心配でしたが、この池のメリット、デメリットを町民に広報し、理解を得るべき。
98					●				・（ハザードマップ指定避難場所について）遠くていけない。車が動かない。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）その時によりわからない。
					●				・（ハザードマップについて）交通渋滞になるため、見直す必要あり。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）スピーカーが反響して、前半は聞き取れなかった。後半ゆっくり間を取るようになりやっと聞き取れた。
			●						・避難場所へ行くのが遠い。
99					●				・（ハザードマップ指定避難所について）阿武隈川を渡っての桜小学校とは遠く、間違っていた。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）よくやってくれました。
110	●								・（治水整備について）６１年の洪水は５０～６０年振りということで忘れた頃にやってきましたが、今回は忘れないうちにやってきました。前回は水没した地域に排水ポンプ等を設置しましたが、今度の洪水で更に数カ所設置しなければならないことを確認したと思います。現在の治水整備は６０点くらいかと思います。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）その時の状況を判断するのはなかなか難しいと思うので、今回の発令については適当だったのではないかと思います。
		●					●		・近所に防災スピーカーがありますが多方面でいろいろ役に立っていると思います。必要な設備と思います。
113		●					●		・避難場所の異動をしないよう考えていただきたい。
128			●						・（避難所での生活について）避難者の電話連絡を欠いた。
	●								・一本松地域は阿武隈川の旧敷地に位置し馬蹄形になっている。降雨となれば汚水が溜まり、環境悪化させている。早急に排水工事設備、国か県が施工することを望む。
134			●						・（避難所での生活について）情報不足以外特になかった。市の担当職員の応接は非常に良かった。
					●				・（ハザードマップ指定避難所について）住民の意思とはかけ離れた場所である。
	●								・（治水整備について）当町内の古川池については全く手つかずの状態である。６１年８月５日当時全く同じ。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）人命に緊急に危険が迫った状態での勧告とは感じなかった。高齢者、幼児、青年と同じタイミングで避難する必要はないのではないか。（学生などが我先に避難して、トランプ遊びするなど論外である。）
	●								・阿武隈川の水位が一定以上になると水門を閉鎖するので、氾濫するのが判っていてながら手をこまねいて見ていなければならないのは何ともつらい限りである。
139					●				・（ハザードマップ指定避難所について）指定場所が遠く、危険。現実性に欠ける。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）内水害の予想がない。
					●	●			・（ハザードマップについて）避難時の指示系統、一人暮らし老人、足の不自由な人のめんどう。各地域の組織のあり方等々。
	●								・（治水整備について）旧河川の早期の改良。大型ポンプの設置。
				●					・（避難中に感じる危険について）崖崩れ、谷田川の増水。
		●				●	●		・本流の増水は前回より少なく、それほどの危険性はなかったのに、消防、自衛隊、工事関係者の早期の撤退が納得いかない。市民住民を見捨てた方になった。また、安積行政センターの対応の悪さ、非常識、帝京高校へは誰一人、一度も調査にこなかった。老人、子供にも歩いて桜小に行けとしか言わない。結局、行政センターは神明下地域を田村地区としか見ていないのではないか。非常に問題である。
145	●								・神明下の古池は水門が閉じると今回のように水が上がり、泥沼になってしまう。早く古川の改善を願います。
				●					・（避難中に感じた危険について）金山橋を渡って避難した。
		●					●		・防災スピーカーが設置され１２年前は水が上がっても心配しなかったが、今回はスピーカーで騒ぐのでとても淋しく怖く感じました。市役所では桜小へと指示したが、町内会で帝京安積を指示し、紛らわしく、また校舎が水に浸るところへ避難はおかしいと思います。指示と勧告どう違うのかわからないです。命令で避難しました。
148			●						・田村町公民館の方々大変良くして頂きました。ありがとうございました。
	●								・帝京高校のうしろの古川からの水で洪水がまたまた大変だったと思います。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）大変良くして頂きました。感謝いたします。
149	●								・神明下（帝京安積うらの古川池）にも排水ポンプ施設を作ってほしい。阿武隈川の堤防の低い場所を改善してほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）阿武隈川と古川池に囲まれているから。逃げる場所がなくなるので。
		●					●		・防災放送が聞こえない所があるので、広報車で。
				●					・避難するのに、道を早く知りたい。（通れない道も）交通整理が無いのと渋滞で動かないので、なんとかしてほしい。

152	●								・神明下地区は、旧阿武隈川が古川として残っており、回りを囲まれている。阿武隈川の堤防決壊のおそれと同じように、水門を閉めると古川の排水ができなくなると水があふれる一方になる。この度の神明下の浸水（床下）何十軒かも全て古川の増水による。幸い我が家はギリギリの所で免れたが…・。ぜひ、８．５水害の後設置された地域はこの度大丈夫だったという排水機の設備を是非設置してもらいたいと思う。ポンプ車の排水を三日三晩やったがまにあわず、ポンプ車の排水を止めてすぐに避難指示が発令された。それから、徳定地区の阿武隈川の堤防がまだできていない。しっかりした堤防作りと排水機設置、古川をどのようにすればよいのか、ただのどぶ池になっているのでなんとかしてほしいと住民が前々から市に要望しているが、対策を立ててもらえない。至急対策を願いたいと思っている。
		●					●		・（避難中に感じた危険について）避難しているうちに自分の家に水が上がっているんじゃないか。
156			●						・（避難所での生活について）子供（３才～１０才）達が体育館が広い為に走り回り騒ぐこと等と、学生等とランプ等で遊び（騒ぎながら）等により寝ることができない。自分から子供に注意したものの効果はゼロでした。
	●								・阿武隈川流域の洪水被害から逃れる為に小原田地区、安積地区の低地に住んでいる人は、すでに家を売ったり、引っ越した人が多数おります。なぜこのようになったのか考えるには、今後洪水からのがれる手段は引っ越す以外道はないと考えた人でしょう。阿武隈川水面より低地にある工業団地又神明下帝京安積高校裏にある古川が増水したる時、阿武隈川に放水するのは不可能に近いものを感じます。原因は水位が古川の方が低いからです。阿武隈川の水底を下げることは出来ないでしょうね。東京にも川面より低い墨田区等がありますが、東京のようにする為には現在の水害対策の数百倍の費用を要しましょう。人口から見ても不可能でしょう。郡山市が百万以上の都市になれば可能かなと考えます。「水は必ず低地に流れる」を変えることが出来るでしょうか？
				●					・（避難中に感じた危険について）車が渋滞し水の中に車がいる時間が長かった。１２分くらいの所、４０分かかった。
162					●				・（ハザードマップ指定避難所について）今回の水害では役に立たなかった。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）１２年前（昭和６１年８月５日）の水害を基準によるものなので、今回の洪水は予想はるかに上回り、役に立たない。
					●				・（ハザードマップについて）今回の水害で阿武隈川周辺に集中しており、避難場所の見直し、道路冠水情報の公開を明確にしてほしい。
		●					●		・現在古川池（旧阿武隈川）がある為、今回の水害では孤立する状況に置かれました。市で指定された避難所（桜小学校）など道路冠水場所があった為、避難場所の変更の情報が伝わりにくかった。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーによる発令であったが、情報が伝わりにくかった。
	●								・町内会の中には、日大工学部の学生アパートがある為、避難命令が出たにもかかわらず、夜には学生達がアパートへ戻ってきているので、市役所、町内会、日大と合同で検討
163					●				・（ハザードマップ指定避難所について）場合によっては町を越えてもよいのではないか。（安積→田村）
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）不十分
					●				・（ハザードマップについて）避難所、その他、充分検討して改善すること。
	●								・（治水整備について）阿武隈川本流の危険個所の整備（級河川の元入口付近（歩道橋わき）））
	●								・（治水整備について）旧河川（フルカワ）の排水対策
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）自動車による伝達の外、隣組を通して、三重の連絡をすること。
		●				●	●		・災害時の病人・老齢者対策
176		●					●		・自分が組長だったので町内の場合は避難勧告がありましたので、各家ごと電話をかけました。また隣の息子さんが駆けつけてくれて逃げました。家族が駆けつけて家具を二階に上げました。消防隊の方が車で避難するように指示がありました。大変助かりました。
				●					・（避難中に感じた危険について）水がよってきて道路が通れなくなってきた。

４２．安積町日出山　大洲河原

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記　述　内　容
10			●	●					・ハザードマップの香久池避難所へは不可能に近い。今回大槻の親戚への避難でも金山橋を通過（車）するだけで一時間を要した（渋滞のため）。
					●				・ハザードマップに内水増水の危険をもっと強くアピールしてほしい。
	●								・阿武隈川本川の堤防強化と無堤防地区への対策と並んで内水対策。当地は古川（旧河川）が増水する。古川の排水ポンプ所建設を急いでほしい。この内水対策がないがしろにされている。
		●					●		・防災スピーカーは聞き取りにくかった。広報車巡回の必要性を痛感した。しかし、こなかった。
	●								・ポンプ所は現在阿武隈川左岸（西側）の西小野屋旅館付近にあり、さらにその下流（西側）に建設中である。これは付近の清掃プラントを守るためのものと思われる。公共施設の保護も大切だが、まず人命救助を最優先してほしい。※古川ポンプ所建設を強く要望す
	●								・水門町に谷田川排水ポンプ所もあるが、これは昭和６３．８．５日水害で建設された。天災が起こってからでは遅い。
			●						・指定された避難所が最適だとは思わなかった。

13				●					・避難所までの輸送手段に統一化がなかった。
		●					●		・防災スピーカーどうしが重なり合い、情報が聞き取りにくかった。
49				●					・（避難中に感じた危険について）道路の冠水。
54	●								・今回における郡山の場合、ポンプアップできた場所は良いが、消防で放水しても間に合わず浸水したので、内水面の浸水は重要な課題である。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋を自動車で渡るとき。
		●					●		・避難場所の変更には当惑した。あまりのおどろきで
	●								・馬てい池は調整池となっているが、今回のような満水となって、家庭に浸水したことが全く予想外であり、恐怖を感じた。
72	●								・（治水整備の状況について）大雨でも洪水が起きないように、今後整備して欲しい。まだまだ整備する必要があると思う。
				●					・（避難中に感じた危険について）車で避難したのですが、道路が冠水して、通れるかどうか不安でした。
		●					●		・（今回の避難勧告・避難指示の発令について）早めに防災スピーカー、広報車などで何度も繰り返し、呼びかけていたので、良かったと思います。
		●					●		・被災地域がでたらできるだけ早く対策本部を作って欲しい。（連絡や救助のため）
93					●				・（ハザードマップ指定避難場所について）神明下とは言っても、私の所は場所が違うしとても歩いていけない。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）参考になりました。
					●				・（ハザードマップについて）表紙等をもう少し水にも強く、丈夫にして欲しい。
				●					・（避難中に感じた不安について）近くの古池が満水になった。
		●					●		・防災行政無線設置場所が悪いのか、共鳴してとっても聞き取りにくいし、広報車ももっと道路を細かく回って欲しい。
97		●	●				●		・（避難勧告・避難指示の発令について）勧告は適切だったと思いますが、私共の指定された場所（帝京安積高校）はキケンだと思います。場所が川に近く、低いところにあるの
				●					・（避難中に感じた危険について）水の上がっている道路を走ったとき（車で）。
101					●				・（ハザードマップ指定避難所について）大変危険な場所なので、行く気がしなかった。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）大変危険な所に住んでいるんだなって、恐怖感でいっぱいです。
				●					・（避難中に感じた危険について）田村町の方へ向かったが、４９号線の土砂崩れを見た。
	●								・私たち住んでいる所は、阿武隈川の旧河川の中で回りが古川池に囲まれている。阿武隈川の水に古川池の水が一緒に来たときのことを考えたらとても怖い気がする。もう少し考えて欲しい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）もう少し一人一人の声を聞いて欲しい。
	●			●					・古川池の満水で、車がでれない状態で、住民はパニックになった。水上公園が将来できるらしいが、森永側と徳定側の池の所を見直して欲しい。
112			●	●					・住居と避難場所があまり遠く、道路も水に浸かっていた。
119					●	●			・（ハザードマップ指定避難所について）老人を連れて徒歩で４号国道までは歩けない。（勤労身体障害者教育分化体育センター）
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）阿武隈川の水門が閉められたら、古川はこの通りになることがよくわかりました。
	●								・（治水整備について）低い土地の排水、低い堤防の補強など少しの雨でもすぐ水に浸からないように。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）避難をするにも少し時間のゆとりがあり、大変良いと思います。
129			●						・（避難所での生活について）情報が全然入ってこなかった。
	●								・阿武隈川の水位が高くなり、市内の川への逆流を防ぐために水門を閉めてしまうため、市内の川の水があふれてしまうので、阿武隈川の川底を深くしてほしい。また水門を閉めなくても良いようにしてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）今回は良くできたと思う。
		●	●				●		・避難所での情報が入りにくかった。また水位の報告があったが、その地区ごとの細かい情報がほしかった。水位○○mではなく、堤防の高さまで○○mですというふうに。
131	●								・内水対策をもっと進めてほしい。
		●					●		・防災スピーカーは、女の人の高い声はほとんど聞き取れない。川の流域に一律に出すのではなく、もっとこまかく地域によって出した方がよいと思う。
					●				・ハザードマップに指定してある避難所を見直すべき、身近な所の安全な建物をたくさん指定しては。
135		●					●		・２９日朝スピーカーで何かを言っているのですが、雨の音と声が広がってはっきりとした言葉が判りません。細かい情報がほしいと思います。テレビでは阿武隈川が危険と言っていますが、どの辺が危険なのか我々はとても不安で過ごしているのですから、テレビの下にずいじ字幕でいいですから、この辺が危ない、どこが水位が上がったとか、下がったとこ安心するような情報を流してほしいと思いました。まず情報の不足です。
			●						・（避難中に感じた危険について）情報がほとんど入らないため、不安。気分的に落ち着きがなく日々を過ごしました。
140		●					●		・（ハザードマップ指定避難所について）時間がたつにつれて避難所にいると動けなくなるということがわかったので、場所移動には困った。
					●				・（ハザードマップについて）避難場所が載っていなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）家の周りに古川があって、水が溢れていた。
	●								・（治水整備について）下水完備不足。徳定と古川の堤防が低いのが何年も前からわかっているのに、整備してくれない。

４３．田村町金屋

番号	フリーアンサー項目 ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	記述内容
8			●						・ハザードマップには書かれていないが、安積町大州河原の神明下地区帝京安積高校に避難指示したことは反省しなければならないと思う。
					●				・ハザードマップ予想浸水深は大体適切であると思います。
	●								・現在の郡山市の治水整備は良いと思う。８．５水害の経験が生かされていた。
		●					●		・帝京安積高校への避難指示は間違いであって、非常に危険であった。再避難の自衛隊が出動した。
11	●								・現在の治水整備について、、、①それなりの設備があったのではないかと思う。②内水設備（吸い出しポンプ）があれば被害はなかったと思う。
24		●					●		・避難指示が安全地区（金屋宝蔵地域）まで出された。安全地域に出す必要はなかった。
32	●								・今回の洪水被害での阿武隈川の増水で古川等のために水門を閉めたことにより洪水になったので、排水ポンプ等を設置（特に住宅工場等の多いところの安全を確保するため）
42		●					●		・避難勧告最初の日、家族みんなで大切なものだけ持ち出し、雨の中を日大まで行こうとして、川の様子を見ると、他の人たちが「大丈夫べ！」というので、家に戻った。勧告や命令はどの程度のものか、もっと詳しく伝えてほしかったと思う。
			●						・田村町金屋～神明下は、日大まで同じ平地なので、日大に避難しても同じだとみんなが言っていた。他の避難場所へ行くには遠いのでもっと対策を考えてほしい。
47					●				・ハザードマップ指定避難所の他に避難する場所があるのではないか。
					●				・ハザードマップは避難するときに参考になった。
52			●						・避難所では他人への気づかいや、家の事情が心配でねむれない。また、そのことがテレビ・ラジオで話も出なかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）避難場所に向かう間に河川があるため。
53	●								・古川をなくして公園にする話を聞いたことがありましたが、やっぱり古川は必要だと思いました。
	●								・阿武隈川の堤防を高くしてほしいと思います。
55	●								・阿武隈川旧河川（古川）の堤防が低く、水があふれることは予想されていたが、この対応が全くなされていなかった。
		●					●		・避難勧告・避難指示の発令には、テレビ・ラジオをもっと利用すべきと思う。
59			●			●			・避難場所への足の不自由な人への事を考えてほしい。
60	●								・旧阿武隈川は近いうちに親水公園になると聞いていますが、水の管理について不安。
				●					・（避難中に感じた危険について）浸水した道路で車が止まり、動かなくなるのでは？
		●					●		・隣組町による伝達以外サイレンと広報車（？）による音は聞こえたものの、全く内容は不明。ポンプ車による騒音の為もあったが、音は大きいのにかき消され、内容は不鮮明。
		●					●		・徹夜で完備のために働いて下さった消防団の方々にはただ感謝しました。仮眠をとっていただかないと危険のはず。
61	●								・古川の改善を望みます。
		●					●		・関係機関の方々大変ご苦労さまでした。感謝します。
67	●								・阿武隈川の支流域の改善
		●					●		・スピーカーの発言が聞き取れなかった。
79					●				・（ハザードマップ指定避難所について）良
				●					・（避難中に感じた危険について）国道が一部増水のため。
	●								・（治水整備について）一部不満。
		●					●		・（避難勧告・避難指示について）良
95	●								・（治水整備について）私共は平成７年度から現住所に住んでいますが、前の昭和６１年の時には今回のような事はなかった（避難勧告や避難指示など）と近所の方々から聞かされました。その理由として、近くにある古川池があったために助かったという人もいましたが、今回はその古川池からの溜水が仇になったようです。一刻も早い古川池の整備をお願いしたいものです。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）迅速であった。
		●					●		・私の家はなんとか床下浸水は免れましたが、道路からは長靴がすっぽり潜ってしまうくらいの水量でした。まして昔づくりの家は床下が完全に浸水していました。こういった状況の中で車でいきよいよく走って行くドライバーが何台かありました。結果は言うまでもありませんが、そのいきおいで水が家の方へ行きます。そのたび床下へ入っても来ます。私が言いたいのは、心ないドライバーの方達は、この状況の中でよくそんなことができるなと、また面白がっているかのようで、心境は穏やかでなかった。こういった状況になったときは道路は通行止めにするしかないと思います。道路はみなさんの為にあるし、どの周りにはみんなの家があって生活しているのだから。
100		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）阿武隈川流域が水位が増大し、我家までくることはないと思って、避難もせずにいました。消防担当の方はじめ、大変よく接してくれ広報車もいろいろ声をかけてくれて大変助かりました。良い行動だったと思います。
105		●				●	●		・高齢者の避難場所への移動を考えなければならない。我々も。
114			●						・（避難所での生活について）自宅及びその周辺の被害状況の情報伝達が無く不安であった。徒歩で現場視察に行かれた方が、帰ってきての情報のみであった。毛布、食事、飲料水ボトル等の支給、ボランティア団体等の差し入れについては感謝の至りです。
	●								・阿武隈川の水位が上がると、これにそそぎ込む川、堀、側溝等全てが止まり、あふれ出る。特に当地区にある古川の水門が閉じられ貯水池となりそれがあふれて浸水となった。古川に堤防を築く事も一案かと思われる。

		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）非常に適切で、人的被害の無かったことは幸いでした。
	●								・当地区（田村町金屋字上川原）在住の者としては、旧阿武隈川いわゆる古川の整備を水と緑の都市計画に合わせ早急に実施して欲しい。（計画の青写真はあるとか…・）
116	●								・二度とこの様なことのないように川の回りを固めてほしいです。
121			●						・（避難所での生活について）避難所でのお世話して下さった方々はとても親切で、いやな思いは全くありませんでした。でも、これが何日も続けばいろんな不満や不平がでたと思います。
	●								・（治水整備について）治水公園もよいが、もう少し地域に密着した防災計画をしてほしい。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーの内容が聞き取りにくかった。（２カ所からの声が重なって、聞きづらかった）。
	●								・古池は１２年前と今回も役に立っているので、埋め立てはしないでほしい。（古池について十分遊水池的な計画をしてほしい。）
124		●	●				●		・（避難所での生活について）市からの情報などが何も入ってこなかった。（避難勧告の解除などが後から知らされた。）
				●					・（避難中に感じた危険について）避難所行きの道路が、谷田川の橋の上を通るので、橋が落ちるかもという心配があった。
		●					●		・私の家は４９号国道沿いなので防災スピーカーや広報車などの情報がすぐ入ってきたが、道路沿いでない家の方々は、聞こえなかったと思う。
133		●					●		・防災スピーカーの情報で助かりました。
136					●				・（ハザードマップ指定避難所について）いいと思う。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）見ても実際どのくらいだか、ぴんとこない。
141	●								・古池の水に対する対策をしっかり作ってほしい。側溝の整備をしてほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）古池の水が溢れると思った。
			●						・（避難勧告・指示の発令について）場所の検討をする必要あり。
142		●					●		・防災スピーカーで話しているが、声が割れて聞き取りにくかった。広報車で状況等を説明し、地区民に不安がないようにしてほしかった。
143	●								・家の裏にある池をきれいにしてほしい。今回は池の水が上がったため、家の回りが臭かった。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋が壊れるかと思った。
144			●						・（避難所での生活について）中学校の先生方や市の職員の方が親切にして下さったので、助かりました。救助物資なども、いろいろありましたが、一人で多量に持っていく人もおり、各世帯に平均に行き渡るようにしてほしいと思いました。
	●								・（治水整備について）もう少し堤防を高くするとか、側溝から水があふれないようにするとかなどを感じました。
				●					・（避難中に感じる危険について）避難所へ向かう途中、橋を渡らなければならないので。
		●					●		・防災スピーカーの音が反響して聞き取りにくかったです。
154	●								・私の家側と反対側の側溝とは幅がとても違いますので、こちら側は豪雨の度に水があふれますので、同じにしてもらいたいと思います。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）○
158			●						・（避難所での生活について）別に不自由はなかったが、電話が外からかからなく不便に思った。
				●					・（避難中に感じた危険について）途中の道に水があり、車がやっと通れる程度であった。
								●	・家などの被害はあっても、消毒などのどの家にもあってよいと思います。また、私共の家のように池の魚など、ペットへももう少し配慮が必要かと思います。
160			●	●					・（避難所での生活について）河川の水位だけの情報であり、通行止め地区等道路の情報が伝わらない。
			●						・自宅へ帰る（一時）時、又家財等の心配により世帯主（本人）が自宅へ戻る時、関係者の「ダメです」がきびしい。
166			●						・（避難所での生活について）自宅付近の状況が全くわからず、自分で見てこなければならない状態だった。
173					●				・（ハザードマップ指定避難所について）歩いて行けない。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）今回で見直しが必要となる。
					●				・（ハザードマップについて）前回’８６と今回の洪水合致点を表してほしい。
	●								・（治水整備について）①川の深さがたらない。②高水敷が高い。③古川の管理。
		●					●		・防災スピーカーは何を言っているのか判らない。
	●								・古川の水を本川へ放流していたが、（避難指示が出て）途中でやめた。→常設のポンプが必要。
		●					●		・消防団員の方々の苦労に感謝します。
178	●								・旧阿武隈河川（通称 古川）の水門が閉められて、阿武隈川への排水がストップしたため、水位が上がり溢れて隣近所が床下浸水の被害にあった。（自宅は基礎を高くしてあったため大丈夫）自動で排水できるポンプを備えてほしい。当初は消防車のポンプで排水していたが、避難指示発令とともに消防団員も避難しため、排水作業が中止され、一気に古川の水位が上がった。被害にあった人の一部はこれは「人災だ！」という人もいた。古川の増水防止策を考えてほしい。

４４．田村町徳定　下河原

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
7		●							・日大に避難したが危険ということで他の避難場所に送られた。今回は初めてなので、日大に指示したと思う。次回また起きたとすれば、行政（指示）でよく考えて避難場所を指示していただきたい。
	●	●							・水門町は今回水害はなかったようだが、それは大型ポンプが設置されていたためである。前回水害にあった地域は今回全部水害にあっている。なぜ大型ポンプ設置しないのか、郡山市長の責任が問われる問題である。早急に考えてほしい。
	●					●			・下河原町内に水害対策本部を設置し苦情を聞いてほしい。また指示してほしい（一人暮らしの老いた方々の避難について等）
								●	・要望　金山橋下にいつもトラックを止めて（駐車場）にしてある。出入りに土手を痛めるので、管理している行政で注意していただきたい。橋の下になければ土手にある。土手使用をやめさせて下さい。
16			●						・避難所では眠れなかった。
					●				・ハザードマップ指定避難所よりももっと身近な避難所がほしい。
	●								・早々に古川池の改修を願う。
		●					●		・時間が経過するたびに避難場所が変わり、とまどう。
21			●			●			・日大は川に一番近いところで、この辺りでは最も低い土地。なぜここが避難所になるのか？近所の人たちも行かない人が多かった。水が多くなり守山小に移動したが、ここでは学生が年寄りをさしおいて食料をもらいに行っていた。若い人たちのモラルを問いたい。
			●						・避難場所ははじめにごく近くの夜間でも歩いていける場所にしてほしい。（今回は、そうなりまとまって安全地区に移動できたので良かったと思っている。）
	●								・ポンプ場が整備されるなど、８．５水害からその教訓は少しずつではあるが生かされている。郡山市は８．５より雨量は多いように思えたが、被害は少なかったようにも思える。しかし、被害にあった方がいるわけで、今後の対応に期待する。
		●				●	●		・８．５の時は防災スピーカーの音もなかった。今回はあったがとにかく音が聞こえにくい。年寄りにも聞こえるようでないと意味がない。
		●					●		・最初、市で指定していた避難所は安積町。そして、日大・守山小ところころ変わった。きちんと安全なところを以前から決めていてほしい！！
22		●					●		・御代田小学校に避難したが、体育館もどこも鍵があかず大雨の中３０分も待たされ、連絡に疑問を持った。
				●					・（避難中に感じた危険について）自家用車で豪雨の中、狭い道と対向車のため、また脱輪等に神経を大いに使った。何度も車を止め、道路を確認しながら行き来した。
		●					●		・私の町内は日大に平成四年に田村行政センターを通じて市役所と日大で話し合いをし、緊急避難所決定していたのに、８月２７日の田村行政センター広報車では御代田小学校に避難せよとの指示なので、豪雨の中夜道を御代田小学校に行ったら、私の町内は日大講堂とのことで、移動をした。行政の対応に大きな疑問と不信を持っている。
					●				・市役所で河川課作成の地図を見たが、実状の知らない人の作ったもので、全然役に立たない。（私の住居する地区では）洪水が発生してから阿武隈川を越え安積町の日出の山を越え安積町に行くのはどういうことか？
	●								・旧阿武隈川であった安積町日出の山神明下の古川にポンプ場の設置を考えてほしい。
			●						・避難中場所の移動は最小限に考えてほしい。
27		●					●		・避難所へ避難するのは良いが、自宅の状況等の確認が必要で、パトロールして下さると良い。
33	●								・水害を受けた箇所は再び水害の無いようにすることが大切です。行政はもっとこの点に力を注ぐことです。
	●								・市、県、国も結果のみを論じるだけで、本当に地域住民への行政をおこたっている。生命財産に関わることです。
35			●						・避難所では①洪水の情報が全くなかった。②非常用品（毛布・食事などの）配布の仕方、数量に問題がある。③市の職員の対応（マニュアル）ができていると良かった。
					●				・ハザードマップ指定避難場所は、十分に反省し、適切なものへ変更して下さい。
					●				・ハザードマップ予想浸水深は実測するのが難しいので、どの方向へ流出するのかの方が役立つと思う。
		●					●		・防災無線による放送は聞きづらく、よくわからなかった。
		●					●		・避難場所がたびたび変更され行動に困った。
37				●					・（避難中に感じた危険について）各道路が洪水で通行止めになった。
38		●					●		・避難指示の場合三度も変わったので一つの場所にしてほしい。
				●					・（避難中に感じた不安について）家の前の道路まで水が上がってきたので。
41			●						・避難所で大学生の多くが遊び半分で楽しんでいたのは不愉快だ（家族は家の方が心配）
				●					・（避難途中に感じた危険について）水辺近くを車で走った。
48		●					●		・避難勧告・避難指示が発令されても実感が無く、再々発令しているので、発令になれてしまい危機感が無く、逆に川の水位を確認に行く程度！！（夜も周りの住宅が明るいので逆に大丈夫と思ってしまいました。）
69			●						・（避難所での生活について）自宅から多少離れており、自宅周辺の現在の様子や川周辺の水位を含めた情報が少なく、ラジオからの情報のみが頼みでした。川の水位がみれるモニターでもあれば、何回も様子見に行かなくてすむのにと思いました。
	●								・田村町に残る旧河川の古池を早く整地して欲しい！川に堤防がないところ（徳定バス停裏）を工事して欲しい！排水の水門そばはいつも大雨のたびに多少でも水が上がるので、ポンプ等いつも用意して対策して欲しい！
				●					・（避難中に感じた危険について）避難所までの道のりに、道路が冠水しており、もう少し後では車で脱出不可能となるところでした。

		●	●				●		・（今回の避難勧告・避難指示の発令について）適切だったと思う。ただ洪水の怖さを知らない人は、避難せずにいたひとも何人かいました。昼間はいいが夜間は大変心配でした。避難所では毛布も飲食物も支給していただき大変ありがたかったです。
		●					●		・一つ情報が乏しかったのが残念で、ラジオのみだったので、緊急で特設のモニターでもあったら（大雨情報がいつも見られるような）大変いいのになと思いました。
90		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）良かったと思う。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路に水が溢れてた。
96			●						・（避難所での生活について）夕食が２２時頃でした。
					●				・（ハザードマップ指定避難場所について）安積（小）の避難場所では遠く、阿武隈川と笹原川の先で非常に危険であり、自宅の方が安全だと思う。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）堤防が決壊したときとしないときの差が非常に大きいので、予想浸水深は解らない。
					●				・（ハザードマップについて）地域の住民を主に考えて欲しい。市から一方的な感じがする。
	●								・谷田川、逢瀬川の堤防は切れなかったか、小さな川の堰が止められたため、６１年の水害と同じ所が床下、上の被害がでた。６１年の水害が生かされていない。
		●					●		・防災スピーカーは市内全区ではなく、各支所か大字単位でできないか。
								●	・日大から直接守山（小）に自衛隊の車で移動したため、家族との連絡が取れず非常に困った。
		●					●		・避難しているとき自宅周辺の情報が無く、非常に心配で避難所にいても安心して避難していれない。自宅周辺の情報がない。
117					●				・（ハザードマップ指定避難所について）徳定下河原の避難所はハザードマップを見ると安積一小だったのだが、阿武隈川を渡らなければいけない。実態とあっていない。
					●				・（ハザードマップについて）避難所までゆくのに浸水のおそれのあるところを通らなくてはならない。きちんと調べて作成したのか不審感を覚えた。
				●					・（避難中に感じた危険について）池が増水し通れない道が多かった。
			●						・今回の帝京安積高校と日大も避難所になったのだが、阿武隈川のすぐそばなのに避難所になったのが疑問だった。結局、この２カ所も浸水のおそれがあるということで守山小への避難へとなっている。次回この様なことがないよう検討すべきである。
		●					●		・防災スピーカーからのお知らせが流れてしまい、はっきりと聞くことができなかった。
118					●				・（ハザードマップ指定避難所について）避難所が遠いことと、阿武隈川を渡って避難することが疑問。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）浸水を予想するのは難しいと思う。ケースbyケースだから。
					●				・（ハザードマップについて）「車での避難はやめましょう」と書いてあるが、大雨の中とても歩いて避難できないと思った。避難の指定場所がとても遠いから。
	●								・下水道を早く整備して、洪水対策の一つになるよう工夫したらよいと思う。
		●					●		・すぐ近くにスピーカーが設置されてはいるが、大雨の時は雨の音に消されてしまい、全くと言っていいほど聞き取れなかった。
		●					●		・阿武隈川を渡って登下校する子供達にとって安全なうちに下校できたことは、学校の判断が早く、対処がとても良かったと思う。
122		●					●		・（避難所での生活について）もう少し情報源があればいいと思った。（ラジオ・テレビ等）
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）早い時期から勧告をしてくれたことが良かった。
127			●						・（避難所での生活について）情報が適切に伝えられないので不安であった。医療機関の手配は良かった。湯茶の準備ができていない。
	●								・（治水整備について）河川の湾曲箇所、水門の内部箇所の点検。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）はっきりした発音で、スピーカーのボリューム調整
147			●						・（避難所での生活について）自宅にいつ帰れるのか。自宅の被害がでているのか。知人の安否はどうかという不安。避難所の床がかたくて寝られなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）水が堤防を越えるのではないかという危険。
			●						・自分の住んでいるところの避難場所がわからなかった。
164	●								・（治水整備について）浸水する場所はいつも同じ様なのに改善された様子は見うけられない。堤防も整備されていないところもある。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）放送スピーカーで流す他に、テレビにスーパーを出す等、誰でもが見たり聞いたりするチャンスを増やしてほしい。外に出て聞くのは聞き取りにくかった。音が響くため。
168					●				・（ハザードマップ指定避難所について）場所的に不向きです。
				●					・（避難中に感じた危険について）橋を渡ったり、道路の一部通行止めあり。
		●					●		・避難場所が二転三転と変わってどこに行けばよいのか迷った。
175			●						・（避難所での生活について）小学校の体育館は満員になり教室で生活したが、一日だけだったので不満不便は無かったが、夜は床がコンクリート？のため、冷えて寒かった。（毛布は一枚配られたけど掛布用に使ったので、青いシート上に寝た）結局自分たちは市内の実家には行かれず、高瀬町に避難した。
		●					●		・（ハザードマップ指定の避難所について）スピーカーと広報車の避難所が違っていて、どこに行ったら良いかわらなくなりました。市内に実家があるので、そこに移動しようとしました。（指定は安積第一小だが、橋を渡るので危険と思う。）
	●								・（治水整備について）前回の時よりも今回は危機感を覚えましたが、堤防が壊れなくて本当に良かった。

		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適切だったと思う。
				●					・避難場所は（阿武隈川を渡っていくので（永徳橋））危険だと思うのだが（安積第一小学校）
177	●								・（治水整備の状況について）水門閉鎖で阿武隈川の支流があふれる。内水対策に全力を。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適切と思います。
	●								・古川に排水ポンプ

４５．田村町徳定　（下河原を除く）

番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
18	●								・徳定地区の阿武隈川には整備された堤防がないため、今回以上の雨量になれば徳定地区は完全に浸水被害になるところでした。早急に堤防の整備をしてほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）親戚へ避難するとき、永徳橋が通行止めになるのではないかと思った。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は良かったと思う。
		●					●		・市からの指定避難所は決められてあるのですが、災害の種類・状況によって避難所が変わることがあると思うが、先を見通して決めてほしい。
19			●						・避難所では川の水位とか台風の情報がなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）道が水で通行止めになっていないか。
23					●				・ハザードマップ指定避難所は遠く、向こう先の道路状況がわからなかった。
				●					・（避難中に感じた危険について）避難先への道路が水で先が見えず、車が先に進めないかと不安であった。
			●						・徳定地区は高台が無く、遠方の避難先となっていたので、そこまではいけるか心配であった。
	●								・阿武隈川の治水を整備して、今後またこの様なことのない住み良い地区にして下さい。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は適切だったと思う。
26			●						・避難所では情報が少なかった。公民館の人が一生懸命だった。食事の配達が遅かった。
					●				・ハザードマップ指定避難所へは阿武隈川を渡るので無理（徳定→安積一小）
					●				・ハザードマップ予想浸水深は予想通りと思う。
					●				・ハザードマップ指定避難所の見直しが必要。
		●					●		・広報車、防災スピーカーは聞きづらい。
	●								・永徳橋の徳定よりの堤防がないのが心配。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令は良いと思った。
30			●						・避難所の食事では野菜不足等が健康管理上の課題として残った。
					●				・ハザードマップ作成では、一部アンケートも実施されたが専門分野＋市民の声も参考にすべきと考えられる。
31					●				・ハザードマップ指定の芳賀小学校は危険であると思った。
		●					●		・消防車・広報車のサイレンの連呼は心臓に悪く、冷静な状況判断を阻害した。
39			●						・避難所では①食事が遅かった。（２１：００過ぎ）②寝る前飲料水をもらったが、早めに配布してほしかった。
					●				・ハザードマップ指定避難所は、実際避難所に行くには増水した阿武隈川を渡って行くことになるので、避難所指定としては不適当です。（徳定から安積中学校避難所）←御代田小学校であればよい。
	●								・現在当地区において区画整理事業があり、現在の河川が一部変更される事による今後の洪水が予測されますので、阿武隈川取水口水門閉鎖にはポンプアップ等設備をお願いします。
		●					●		・防災スピーカー反響し聞きづらい。家の中ではほとんど聞けない。
43		●					●		・防災スピーカーは音が割れて聞き取れなかった。
		●					●		・広報車の速度が速すぎて何を言ってるかわからなかった。
44	●								・早く区画整理事業を実施して、冠水防止（排水量の限界）の状況を設置してほしい。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が狭く進めないもどかしさ。
		●					●		・防災広報の拡声器の音量が聞き取れないので苦労した。
45	●								・堤防の改築（破壊されたところ）、阿武隈川の川底、川幅の拡張工事
		●					●		・避難勧告・避難命令の発令は大きな声量で、ハッキリと、ゆっくり聞き取れるように指示してほしい。
				●					・交通網の通行止めについて、どこで、何のために、交通再開の予定を知らせてほしかった。
57	●								・郡山市の治水整備の状況については満足している。
		●					●		・今回の避難勧告・避難指示の発令については満足している。
58			●						・避難所に関しては、１も２も受入が不適切だった。その後息子にTELで連絡をし、息子宅へ避難した。
				●					・（避難中に感じた危険について）途中浸水箇所、小河川の橋の通過。
					●				・ハザードマップ指定避難所については、徒歩の場合遠く感じる。
					●				・ハザードマップになぜ予想浸水深なのか？
	●								・今回は内水による浸水が多い。また笹川３丁目の破堤の恐れあり。その場合の旧市内への通行橋を確保してほしい。

		●					●		・避難勧告・避難指示の発令は早々で良
62			●						・（避難所の生活について）情報があまり伝わらず、デマがあっちこっちで飛んでかえって心配でした。
				●					・（避難中に感じた危険について）途中通行止めがあって、知らない場所だったので苦労した。
63			●						・（避難所の生活について）やっと安心して寝れた。食事が遅かった！ここに雨が降っていなくとも下流のここではどのくらいの水位につかっているか解らないし、ラジオテレビの情報では遅すぎたので、何度も川に見に行っていた。
	●								・都市計画ではさらに大きい川を作ると計画に乗っていることがとても心配です。都市計画の説明された方は４０年に１度の災害は災害のうちには入らないと２・３年前の説明会で言っていましたが…・・！と同時に今まで以上の災害が予想されると話していました。何を考えているのでしょう！？？？住民対策としては、今後どのようにしたらよいのでしょう！！？？？
64				●					・（ハザードマップについて）今回の阿武隈川増水において、東から西の方向に移動するとき、交通の混雑が大であり危険が大きすぎる点あります。
65		●					●		・（ハザードマップ指定の避難所について）当地域の避難所は安積町の学校となっているが、実際は御代田小、守山小であった。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）実態と異なっている。
					●				・（ハザードマップについて）今回の水害の実態とかなり異なった内容であるので、見直す必要がある。
				●					・（避難中に感じた危険について）避難経路の一部が低く、水が道路を没していた。自家用車で通り抜けたとき危険だった。
	●								・市内を流れる逢瀬川、笹原川、谷田川他の川の水位は今回のような豪雨となると阿武隈川の水位より低くなってしまうので、浸水家屋が多くでる。この問題を解決しないとだめであろう。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーで放送するが、私の家の地域は言葉が不明で全く聞き取れない。改善すべきである。
73	●								・（治水整備の状況について）家の近くの阿武隈川は堤防がありません。このままの方が良いのか、堤防を作った方が被害が少ないのか？
				●					・（避難中に感じた危険について）交通渋滞。
74					●				・（ハザードマップ指定避難所について）ハザードマップでは避難所が「安積一小」になっていたので、準備していると、そうではなかったようである。（「日大」らしい）あてにならず困った。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）よくわからなかった。
	●								・（治水整備について）遅れている。特に我が家の場合は、広い道路ができる予定で（橋と共に）あり、その時に下水道の整備も同時に行うことになっている。土地買収がうまくいかず膠着状態なのだろうが、下水道とかもう少し早くしてくれたら水の流れとかまだマシだったのではないか。
		●					●		・（今回の避難勧告・避難指示の発令について）よくわからない。
		●					●		・避難場所には行かなかったが、一日目は会社に泊まった。しかし、テレビもなく災害状況や自宅付近の状況が気になって仕方がなかった。みんなが避難場所に行くわけないだろうし、そうでない人の為にも、洪水の心配のない場所にも広報車みたいなものが来て、状況を放送してくれたらよいのになと思いました。とにかく、情報が多く欲しくて、ホテルに移ったくらいですから。インターネットの情報も時間がかかり、また次から次へとすぐ新しい情報を流さないのでいらだちました。
76		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）防災スピーカーの声がはっきり聞こえない。特に女の人の声は悪い。
82	●								・古川池にポンプが必要、雨が降ると心配です。
		●					●		・（避難勧告・避難指示について）早めでしたので助かりました。これからもお願いします。
	●								・区画整理古川池早めに整備必要と思います。また、区画整理の反対している人も、整理が必要と話してました。
86			●						・（避難所での生活について）こんな物と思う。
		●					●		・防災スピーカーの声が何を行って来るか聞き取れない。女性の声が割れてしまう。
	●								・早く堤防を作って欲しい。
87			●						・避難に不自由は常のこと、その中で隣り合った人達で話し合ったり、係りの方々の対応の仕方等、全て満足でした。ただし、床の上にビニール一枚はちょっと困りました。一晩くらいのことだったので、我慢できましたが。
					●				・（ハザードマップ指定避難所について）徳定→安積中学校　遠すぎるし、阿武隈川を越えてゆくのはどうかと思う。
					●				・（ハザードマップ予想浸水深について）昭和６１年８月５日の水高より少な目なのに避難命令かと言う気持ちと、人命を大事にと言うことが最近特にいわれだしたためかという気持ちと五分五分、この前は会社へ行ったのに、今回はおおっぴらに休んだりして複雑な気持ちです。参考になっています。
	●								・阿武隈川の安積永盛驛から一番近い永徳橋の徳定より辺りは、堤防も無いのではないかと思われるのですが、私の勘違いでしょうか。
	●								・昔、沼地であったところに家を建てる許可が降りるというのは何か変に思うのですが。

		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適切であったように思う。消防の皆さまのお骨折りに感謝したい。
			●						・市役所の方が避難されていて（田村町行政センターの隣の建物に避難した）その職員の方々とボランティアの方が、今どの様な状況か　ご飯の時間が遅れているのは　毛布が遅れているのはとか、事細かに説明して下さり、何の心配も不満もありませんでした。すぐ病院の先生、看護婦さんも来て下さり、病気の方も心強かったようです。
88			●						・（避難所での生活について）避難所の施設についての利用の説明や、大雨の情報などがあまりなく、不安だった。犬をつれて避難所の中にいたが、乳児などには不適切ではないだろうか。
	●								・（治水整備の状況について）堤防の整備
		●					●		・防災スピーカーの音が聞き取りにくい。はっきりした発音で伝えて欲しい。
94					●				・（ハザードマップ指定避難場所について）徳定地域は安積中に避難するようになっているが、実際の避難場所は御代田小か日大と指示していた。
					●				・（ハザードマップについて）阿武隈川が増水しているのに橋を渡って安積中に避難するのは危険である。
102		●					●		・消防の方々がまめに指示をよくしてくれました。
				●					・（避難中に感じた危険について）川の水がまして氾濫しそうだったから。
103			●			●			・（避難所での生活について）１．電話が職員室１カ所しかなかったこと。２．子供（乳幼児）年寄り（現に我が家では９１歳の父）に対する配慮が欲しいこと。具体的には、おかゆ、ミルクのお湯などがない。父は須賀川の妹に引き取ってもらった。お子様連れの家では夜中やむなく大雨の中帰宅したのが目立った。
					●				・（ハザードマップ指定避難所について）私たち徳定集落は、阿武隈川を渡って安積町へ避難するようになっているが、はじめから無理と思っていた。もっと地区の状況を知って場所を指定して欲しい。現に日大体育館に行った人は、再度移動し直し（守山などへ）た。
					●				・（ハザードマップについて）「洪水」時なので、橋を渡っての避難は考慮しなければならない。「正直」or「御代田」がよいのでは？ただ、日大生がいるので大変な人数となるので、その調整も考えてとなるのでは。
	●								・（治水整備の状況について）①阿武隈川の川幅が狭いこと。②支流から流れる水の行き場が無くなり、洪水となるので、遊水池があればと思う。※早急に整備をする必要がある。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）①勧告ではなかなか避難しない人が多い。現に私共の地域ではそうであった。今回、この地区は何事もなかったが、命令を早めに出すことが大切なのではないか。
				●					・（避難中に感じた危険について）長雨のために阿武隈川の決壊が心配であった。（どこが決壊しても不思議でない状態と思う。）
		●				●	●		・高齢者がこの地区にはたくさんいる。中には動けない寝たきりの人も向かいにいて、私共だけすまして避難できなかった。９１歳の父をかかえてとても気をもんだ。五日くらい寝ても眠れなかった。斜め後ろには、耳の遠い老夫婦がいて、勧告がでたのを知らなかった。声をかけ合ったが、前の人々（家族全員）のことは避難所に行っても気になり、区長さんや消防の人に様子を見てくれるようお願いした。弱者への早急な対応策無いのか？他地区はどうしたのでしょう。幼児、子供、老人、病人のことも考えた避難について、ぜひ良い策を！
106					●				・（ハザードマップ指定避難所について）避難所が遠い。
	●								・（ハザードマップ予想浸水深について）阿武隈川の東側、西川の堤防を高く整備すればよいと思う。
	●								・阿武隈川の堤防整備を早急に実施すべきだと思う。
		●					●		・防災放送の声が聞き取りにくい。（家の中が特に）
111			●						・（避難所での生活について）緊急避難につき皆不満を言う人はいなかった。これが長期になるようであれば問題は生じるでしょうか？唯、ボケ気味で我儘な老人と一緒の家族の方が集団生活の中でいろいろと苦労していたが、突然なるが故にどうしてやることもできなかった。
	●								・（治水整備について）平地や低地での排水（堀）の設備が欲しい。
		●					●		・降雨最中また雷が鳴っているときには、広報車やスピーカーの声が全く聞こえない。
		●					●		・発令の内容が四方からの（各地域？）雑声とこだまで（ワイワイといった感じ）全く聞き取れなかった。
			●						・避難所での市職員や日直の先生方、係りの方の対応はとても良く感謝して帰宅しました。（消防団員の戸別説明が非常に助かりました。）
125	●								・安積町の古川の流れを良くしてもらいたい。少しの雨で水がたまってしまい、この地区の川があふれてしまう。
126			●						・（避難所での生活について）避難したのだから贅沢は言いませんが、避難人数を確認して弁当が足らないのどうのこうの、弁当がない人はカンヅメの五目ご飯、弁当はおいしそうでしたが、カンヅメはまずかった。
					●				・（ハザードマップについて）避難所が確認できればそれでいい。
		●					●		・勧告・指示・命令・と順をおっていることは知らなかった。徳定地区は高台、低地があり、高台の方は避難は果たして必要だったのか。
		●					●		・指示なのか命令なのかはっきりしてほしい。
130			●						・（避難所での生活について）①救護用の用具がそれっておらず、手際が悪かった。②食事の時の配り方がきちんとしていなかった。③子供が眠っていたりするのに、同じ部屋に
		●					●		・勧告の放送が山彦のようになっていて、聞き取りにくかった。

137					●				・（ハザードマップ指定避難所について）避難所は阿武隈川を渡るようになっていた。
		●					●		・（避難勧告・指示の発令について）１度目は防災スピーカーで（響き）どこの地区までかよくわからなかった。
		●				●	●		・日中は自宅に老人一人で、防災スピーカーはなってもわからず、地域外（勤務地）でも情報がわかればよいと思いました。
146	●								・（治水整備について）阿武隈川堤防の完成（徳定地区には堤防が築かれていない。）
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）適切であったと思う。
150	●								・（治水整備について）徳定側の堤防の整備についての検討。
165		●					●		・防災スピーカーからの声が何をいっているのか聞き取れなくて困りました。（声が反響して）改善できないものでしょうか？
				●					・（避難中に感じた危険について）水位の上昇した川にかかる橋を通って避難するとき。
169			●						・（避難所での生活について）弁当配布、その他などでマナーの悪い避難者がいた。
170	●								・（治水整備の状況について）良くない。
		●					●		・（避難勧告・避難指示の発令について）発令の基準がわからない。
174					●				・（ハザードマップの避難所の指定について）カラーで見やすかった。
					●				・（ハザードマップについて）避難場所の駐車場台数を記入してもいいのではないかと思います。みんな車で移動するから車のことも少しかかれても良いのでは！
				●					・（避難中に感じた危険について）道路に水が溢れ、車が走れなくなった。雨が非常に強く、前が見えなく怖かった。

■ブロック判別不能

３５．安積町日出山

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記述内容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
1	●								・阿武隈川の治水をしっかりやって欲しい．
		●					●		・勧告・指示はもう少し早く知らせて欲しかった．
5					●				・ハザードマップに示される避難場所と指示された避難場所が一致してない．
					●				・ハザードマップに示される予想浸水深があまりにもオーバーに表現されている．
					●				・ハザードマップの指定避難場所を見直して欲しい．
	●								・落合堀・南川ともに常設ポンプ場が必要．
		●					●		・防災スピーカーが聞き取りにくい．
	●				●	●			・避難命令を出す場合，老人・子供・病人などの弱者のことをもっと考えて欲しい．救命ボートなどを町内に整備して欲しい．
11	●								・支流の小さい川にポンプを常設して欲しい．
		●					●		・水門を閉めるときは知らせて欲しい．
	●								・公園などに窪地を作り，水田など水が溜まるようにしてはどうか．
12	●								・昭和61に続く災害だったわけですが，10年の間に又こんなになるとは思っていなかったと知人が言っていた．前回より被害は少ないとのことだが，改めて治水政策を見直す必要があると思う．
		●					●		・勧告・指示は，もっと早く・わかりやすい情報を求めます．特に核家族で住んでいるものは，普段余り近所のつきあいも少ないため情報を得るのに不安があった．（平成10年から郡山に住んでいます）
14	●								・昭和61年水害の時から何も変わっていないから同じような被害にあったと思う．（日出山地区）
		●					●		・勧告・指示について：郡山市からの情報なのか，マスコミからなのか全くわからない．
	●								・家庭排水，公共施設（プール，温泉など）可能な限り制限し，川への放出を抑える指示を出して欲しかった．傍観者が多すぎたと思う．
16		●					●		・勧告と指示の違いをはっきりとわかりやすい言葉で教えて欲しかった．
17		●					●		・勧告・指示の発令は適切であった．
18		●					●		・石灰の取り扱いについての注意点を明記して欲しい．（やけどをしている人がいます．）
		●					●		・消毒・石灰配布などは平等にして欲しい．（消毒されなかった家，石灰配布の量の違いが目立つ）
								●	・水害によって病気・けがをした人の見舞金はないんですよね！！あくまでも床上浸水の人だけですか？
19					●				・ハザードマップについて：避難場所が自宅から遠すぎる．
					●				・予想浸水深は全く違っているように感じた．
	●								・昭和６１年洪水後，他の地区にはポンプ場が設けられ今回は大丈夫のようでした．日出山地区は河川工事とともにポンプ場の設置がないため，今回も又大きな被害に遭いました．安心して住めるよう一日も早く設置して欲しい．
		●					●		・今回の勧告・指示の発令は早い指示でよかったと思う．
		●					●		・被災地へ市長は視察にもこない．市へ土嚢を頼んだが，来てくれず自分たちで作って積んだ．雨が降るととても不安になる．（恐怖心がある）
20	●								・排水ポンプの設置をして欲しい．
		●					●		・勧告・指示の発令は適切だった．
21			●	●					・避難所までが遠く又何処までのルートにＪＲのトンネルを通らないといけないため，危険を感じます．他の道は遠い．
22	●			●					・長雨のため，堤防がどこで決壊するか分からず避難先へ向かう際身の危険を感じた．
23			●						・避難場所を広報車では東高校といっていたが場所が分からないので迷った．
		●					●		・広報車の声が届きにくかった．（聞き取れなかった．）
24	●								・治水整備について：支流の水量処理が適切でなかった．
		●					●		・ＴＶは一番厳しい場所のみを取り上げている．市の近傍の状況も知りたかった．

■地区名無記入

ブロック内番号	フリーアンサー項目								記　述　内　容
	①平常時の行政の洪水対策について	②洪水時の行政の洪水対策について	③避難所について	④避難経路について	⑤ハザードマップについて	⑥高齢者・障害者について	⑦情報の伝達について	⑧その他	
2								●	・避難すると自宅が心配です.
	●								・各水門の所に水揚げポンプが必要です.
3		●					●		・防災スピーカーが聞き取りにくかった。
4				●					・（避難中に感じた危険について）避難に際し、車で行った。その行程の道路が川になっていた。
9								●	・（避難先での生活について）妻の実家でも疲れた。
				●					・（避難中に感じた危険について）道路が通れない。赤の点滅信号を無視して避難した。
10	●								・田村町金屋と日出山にまたがる古川池は、現在のまま調整池として整備してほしい。
14				●					・（避難中に感じた危険について）洪水に巻き込まれるおそれ。
15	●								・今回の水害は阿武隈川沿いの低地の被害が大半であったので、今後はそれらの低地を対象に十分揚水場などの設置を考えなくてはならないと思う。
		●					●		・勧告・指示の発令は適切であった。
19								●	・水門町に昭和５０年より住み、前回（S61.8.5）の水害に逢い、この度改築の予定で７月に転居しました。